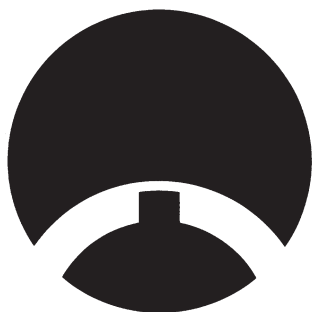




令和元年度 滋賀県立陶芸の森年報

The Shigaraki Ceramic Cultural Park
Annual Report 2019



公益財団法人 滋賀県陶芸の森

ごあいさつ



この年報は、公益財団法人 滋賀県陶芸の森が指定管理者として滋賀県立陶芸の森の運営を行った令和元年度の成果報告となります。

陶芸館、創作研修館、信楽産業展示館の3つの施設の管理・運営を通じて、陶器産業の振興と陶芸文化の向上に寄与するよう、事業を展開してきました。

陶芸館では、特別企画展として「陶の花FLOWERS－春、美術館でお花見」、「交流と実験－新時代の〈やきもの〉をめざして－」の開催、また秋の特別展「北大路魯山人 古典復興－現代陶芸をひらく」では多くの来館者を迎えることができました。春の特別展「リサ・ラーソン－創作と出会いをめぐる旅」はCOVID-19の蔓延に伴い会期の変更が行われました。

創作研修館では、アーティスト・イン・レジデンス事業、ゲストアーティスト9人、スタジオアーティスト59人（日本13人、海外46人）を受け入れました。さらにレジデンスの活動を広く周知するため、受け入れアーティストによる、オープンスタジオ、ワークショップ、講演会等を開催しました。また、文化庁の補助事業として、「滋賀県立陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス国際文化交流促進事業2019」を実施し、アーティスト・イン・レジデンスの国際的なハブ機能を持つ拠点機関としての役割を果たすことができました。また、国内の4つのレジデンス機関及び女子美術大学と共同で「アーティスト・イン・レジデンス研究会」を拡大し国内のレジデンス機関同士のネットワーク強化に取り組みました。

産業の振興に関する事業では、人材育成事業として滋賀県立信楽高等学校への支援事業を行い、地域産業の若手後継者等を主な対象としたトークショー「対話の森」を開催しました。

子どもやきもの交流事業では、滋賀県次世代文化芸術センター、世界にひとつの宝物づくり実行委員会の協力を得て「つちっこプログラム」として、県内の1万人を超える子どもたちに土を素材とした創作活動の指導を行いました。

信楽産業展示館では、信楽焼振興協議会を軸に企画展・常設展の開催をしてきました。陶芸の森の地域連携拠点であるFUJIKIでは、地域団体の若手有志を中心に構成するFUJIKI運営委員会と共にレジデンスアーティストによる展覧会などを開催しました。

こうした事業を通じて滋賀県・甲賀市をはじめ多くの関係機関と強固な連携により事業を推進し、「陶芸文化の世界的拠点」として文化と産業が一体となった多様な機能を持つ文化公園を目指していきます。

今後ともご支援、よろしくお願いいたします。

令和2年4月1日

滋賀県立陶芸の森
館長 松 井 利 夫

目 次

県民に親しまれる施設運営に関する事業

公園機能の充実	陶芸作品の野外設置	1
	陶芸の森ボランティアの活動	1
地域の観光拠点としての集客促進事業		
	しがらき学ノススメ！	2
イベントの開催・誘致		
	第13回 信楽作家市in陶芸の森の誘致	3
	野外音楽イベント「SIVEL WARS2019」の誘致	4
	第24回 信楽セラミック・アート・マーケットin陶芸の森の開催	4
	しがらき森のクラフトフェスタの誘致	5
	2019わくわくウォーキングin陶芸の森の開催	5
財団所有作品の貸し出し		5
利用者拡大に向けた情報の発信		6
地域拠点活用事業		6
施設の管理		8
陶芸の森やきもの振興基金		8

陶芸文化の発信事業

展覧会開催事業	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	9
	細川正廣コレクション寄贈記念「近江やきものの魅力」展	15
	特別企画「交流と実験－新時代の〈やきもの〉をめざして－」展	17
	没後60年特別展「北大路魯山人 古典復興－現代陶芸をひらく－」	24
	特別展「リサ・ラーソン－創作と出会いをめぐる旅」	35
	他館への巡回展	49
	陶芸館ギャラリー企画展	49
	博物館実習	51
	陶磁ネットワーク会議への参加	51
	調査研究活動	52
創作事業	アーティスト・イン・レジデンス事業	54
	スタジオ・アーティストの受け入れ	54
	ゲスト・アーティストの招聘	67
	オープン・スタジオ、講演会等の開催	69
	スタジオ・アーティスト、ゲスト・アーティストによる展覧会活動等	70
	国内外のレジデンス機関との連携	73
	国別・年度別アーティスト滞在回数	75
	種別・年度別アーティスト滞在回数	76
つちっこプログラム－子どもやきもの交流事業－		
	本物と出会う－総合学習プログラム	77
	世界にひとつの宝物づくり	78

産業の振興に関する事業

県内陶器産業の振興	信楽産業展示館の活用	79
	人材育成事業	79
	デザイン活性化事業	81

信楽産業展示館

信楽産業展示館運営事業		
	展覧会の開催	82
	企画展　ギャラリー展示	82

その他の事業

陶芸の森ミュージアムショップ6センス	83
職員の出向	84

資　料

収蔵品収集事業	滋賀県立陶芸の森陶芸館　収蔵品収集実績	85
	令和元年度　陶芸館収蔵作品一覧	86
	収蔵品貸出実績	88
	特別観覧実績	89
施設利用実績	陶芸の森　年度別・月別入園者数	91
	陶芸館　年度別・月別観覧者数	91
	陶芸館展覧会別観覧者数	92
	信楽産業展示館　年度別・月別観覧者数	95
	信楽ホール・会議室利用件数	95
沿革	沿革と記録	96
組織・名簿	組織図	99
	公益財団法人滋賀県陶芸の森役員	99
	滋賀県立陶芸の森収蔵品収集審査会委員	100
	滋賀県立陶芸の森収蔵品価格評価委員	100
	滋賀県立陶芸の森ゲスト・アーティスト選考委員	100
	滋賀県立陶芸の森スタジオ・アーティスト選考委員	100
	公益財団法人滋賀県陶芸の森職員	101

県民に親しまれる 施設運営に関する事業

公園機能の充実

太陽の広場や星の広場などで人々が自由に憩い楽しめるよう公園機能の充実を図り、また施設を安全かつ清潔に保ち、植栽の維持管理に努め、入園者に快適な空間とサービスを提供しました。また、滋賀県南部の観光拠点として陶芸の森を広くアピールし、誘客促進に努めた結果、令和元年度の入園者数は448,557人（平成30年度：346,164人）でした。

陶芸作品の野外設置

作品の保全に努め、また新たに1作品を設置するなど、誰もが緑豊かな自然の中に点在する。作品の魅力を再認識できるよう取り組みました。

陶芸の森ボランティアの活動

来園者に対するサービス向上と陶芸文化の普及のため、展覧会監視補助、子どもやきもの交流事業補助、園内園芸作業などボランティアによる活動をより積極的に推進し、利用者へのきめ細かなサービスを提供しました。

令和元年度登録者

37人（令和2年3月31日現在）

内容と活動実績

・FUJIKI展覧会監視	25人	
・子どもやきもの交流事業／補助	8人	
・園内清掃	6人	
・園芸活動	4人	
・世界にひとつの宝物づくり実行委員会／補助	1人	延べ44人

地域の観光拠点としての集客促進事業

陶芸の森は滋賀県南部地域の観光拠点として、地域資源を活かしながら新規来園者やリピーターをつくることを目的とし、やきものファンに信楽をより知ってもらうために、各種体験講座や陶器市、様々なレクリエーションイベントを開催しました。また、甲賀市やびわこビズターズビューロー、観光協会等と連携し、陶芸の森の魅力発信をおこない、誘客促進に努めました。

しがらき学ノススメ！

初心者から経験者まで、多くの方々に陶芸の魅力を体感していただくことを目的にした事業です。地元信楽の陶芸家を講師に迎え、個別技法を専門的に学ぶ「技法別講座」や、薪窯の魅力に触れる「穴窯・登り窯講座」を開講。講師の行き届いた指導とニーズに即した幅広いメニューで参加者の作陶をサポートしました。

①技法別講座

やきものについて広く学ぶことができるよう絵付けや、ミニ窯づくりなど、初心者向けの講座から、一歩踏み込んだ高度な技術を伴う講座まで開催しました。

開催日	テーマ	講師	参加者数
5月12日(日)	練り込みのうつわをつくる	村田 彩	18人
5月19日(日)	象嵌技法で花のうつわをつくる	谷野 明夫	31人
5月26日(日)	積層彩磁技法で花のうつわをつくる	高間 智子	21人
6月23日(日)	野焼きでうつわをつくる	細川 政巳	15人
8月25日(日)	信楽焼のうつわをつくる	大西 左朗	20人
10月5日(土)	ラク焼の茶碗をつくる	奥田 英山	22人
3月15日(日)	ミニ窯をつくる	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
3月22日(日)	ラク焼の茶碗をつくる	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	



②穴窯講座

中世古窯信楽の伝統技術・穴窯焼成を学ぶ講座。参加者の習熟度に合わせて、初級・中級・上級・焼成の4クラスに分けて実施しました。

初級講座：2kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

中級講座：5kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

上級講座：10kgの粘土で大壺を制作

焼成講座：30kgの粘土で自由制作、窯詰から焼成、窯出しまでを体験

開催日	講座種別	テーマ	講師	参加者数
10月27日(日)	中級	信楽水指、茶碗をつくる	五代 高橋 楽斎	19人
11月9日(土)、10日(日)	上級	信楽大壺をつくる	篠原 希	11人
11月24日(日)	初級	信楽酒器をつくる	小牧 鉄平	12人
12月1日(日)	初級	信楽焼の干支をつくる	八幡 満	15人



焼成クラス

参加者：15人

説明会：9月28日(土)

焼成：新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

③登り窯講座

近世から近代における信楽焼の伝統技術のひとつ、登り窯焼成を学ぶ講座。火袋や一の間を用いた焼成を体験します。習熟度に合わせて、初級、中級、上級の3クラスに分けて実施しました。

初級講座：2kgの粘土を使用、自由制作

中級講座：5kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

上級講座：10kgの粘土で大壺を制作

開催日	講座種別	テーマ	講師	参加者数
8月25日(日)	初級	自由制作	大西 左朗	20人
9月8日(日)	中級	信楽壺、蹲をつくる	神山 直彦	8人
9月28日(土)、29日(日)	上級	信楽大壺をつくる	神崎 継春	14人

④団体受入

・京都造形大学通信学部 スクーリング

開催日：6月29日(土)～30日(日) 講師：藤本 秀（参加者：10人）

穴窯で焼成する作品を制作しました。また町内の見学もおこないました。

・北京大学附属高校生「ラク焼の茶碗をつくる」

開催日：11月12日（火） 講師：大西 左朗（参加者：16人）

ラク焼の茶碗を制作しました。後日、ラク焼の焼成をおこないました。

イベントの開催・誘致

やきものをテーマにした展示即売会を開催・誘致し、県内各地で活躍する陶芸家の個性豊かな陶芸作品を広く県内外の人々に紹介するとともに、来園者と陶芸作家・窯元の交流や消費を結びつける機会を創出することにより、作家活動を支援しました。そのほか、野外ライブ等を開催・誘致することにより、多くの方に来園いただきました。

第13回 信楽作家市in陶芸の森の誘致

内 容

5月の連休に実行委員会形式で開催した。陶芸関係者には来園者の多いゴールデンウィーク中の陶芸作品販売の機会を、また来園者には「市」のにぎわいと雰囲気を提供することができ、好評を得ました。

開催日時

令和元年5月2日(木)～5月5日(日) <4日間>

9時～17時

主 催

信楽作家市実行委員会



出展者、来園者数等

テント数	108張
出展者数	約160人
来園者数	34,179人

野外音楽イベント「SIVEL WARS2019」の誘致**内 容**

8月の集客対策としてイベント誘致を行いました。地元信楽の魅力が詰まったフリーマーケットや飲食ブースの出店、またステージではバンド演奏、BMX、キッズダンスパフォーマンスが行われるなど、信楽では類を見ない「野外フェスイベント」として多く人でにぎわい、入園者増につながりました。

開催日時

8月11日(日) 10時～17時

主 催

SIVEL WARS実行委員会

出展者、来園者数等

ステージイベント	14組
物販ブース	8ブース
飲食ブース	28ブース
来園者数	2,961人

**第24回 信楽セラミック・アート・マーケットin 陶芸の森の開催****内 容**

「作品に触れ作家に触れる」をテーマに滋賀県内に在住、在勤の陶芸をはじめとする作家が、自らが制作した質の高い作品の販売をおこない、作り手と使い手の出会いの場を提供しました。

開催日時

9月21日(土)～23日(月・祝) <3日間>
9時～17時(最終日は16時30分)

出展者、来園者数

ブース数	153ブース
飲食ブース	17ブース
出展者数	151人
来園者数	18,246人



しがらき森のクラフトフェスタの誘致

内 容

信楽にゆかりのある女性クリエイター達による初めての陶フェスティバルを誘致しました。作家自らが制作した作品の販売を通じ、作り手と使い手の交流が行われました。

開催日時

11月16日(土)、17日(日) <2日間> 9時～16時

主 催

しがらき森のクラフトフェスタ実行委員会

出展者、来園者数等

物販ブース 65ブース
ワークショップ 7ブース
ステージ発表 7組
来園者数 13,224人



2019わくわくウォーキングin陶芸の森の開催

内 容

陶芸の森園内および周辺散策路でのウォーキングやニュースポーツ体験を通して、陶芸の森の豊かな自然を満喫していただきました。玉桂寺駅方面へと園外の散策路を歩くコースを設定し、多数の参加者を得ました。

開催日時

12月8日(日) 9時～12時30分

協 力

ぽぽんた倶楽部（総合型地域スポーツクラブ）
甲賀市スポーツ推進員

参 加 者

66人



財団所有作品の貸し出し

県民に気軽に陶芸に親しんでもらえるよう、創作研修館で制作されたスタジオ・アーティストの研修作品やゲスト・アーティストの作品（財団所蔵作品）を、公共施設等に貸出しを行い、陶芸文化の普及向上に努めました。

貸出実績 6箇所 計 25作品

利用者拡大に向けた情報の発信

新聞広告をはじめとした有料媒体のみならず、WEBを中心とした無料媒体への情報提供や読者プレゼントの提供、パブリシティ、ホームページを通して、積極的な情報発信を行いました。

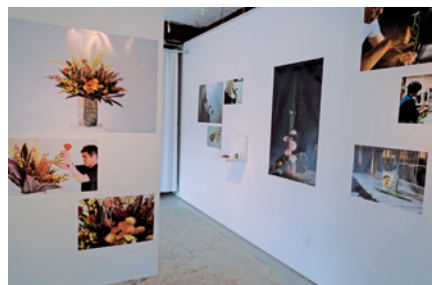
また、SNS（Facebookページ、Twitter）では、桜の開花や紅葉といった四季折々の情報や、薪窯の焼成風景など、陶芸の森ならではのトピックスを頻繁にアップロードすることで、陶芸の森に親しみを深め、来園いただけるような情報発信を行い来園者の拡大に努めました。

【主な掲載・放送実績】

TV・ラジオ 『日曜美術館アートシーン』（NHK） 他
新聞 『京都新聞』
『中日新聞』
『朝日新聞』 他
雑誌 『陶説第793号』（日本陶磁協会）、『大人の初旅行』（株ぴあ）
『月刊GALLERY 9』（株ギャラリーステーション）
『関西ウォーカー』（株KADOKKAWA）
『湖国と文化 秋号』（公財びわ湖文化芸術財団）
『スカーレット Part1』『同 Part2』（NHK出版）
『女性自身』（株光文社）、『和楽』（小学館）
『春ピア』『さんぽ旅』『美術館&博物館の旅』（ぴあ株）
『湖国と文化 秋号』（公財びわこ文化芸術財団） 他
県広報誌 『滋賀プラスワン9・10月号』
『COOL SHIGA』

地域拠点活用事業

25周年記念事業を機に改修を行ったFUJIKI（旧陶喜陶苑）を、陶芸の森地域連携拠点として活用するため、管理運営を地域団体の若手有志を中心に陶芸の森が委嘱した委員で構成する「FUJIKI運営委員会」に委託し、陶芸の森も主体的に参画することで、地域に根差した施設運営に努めました。



【展覧会】

- ・「碳烤哥吉拉佐茶」展（AIR事業）
開催日：令和元年8月17日(土)～8月25日(日)
主 催：公益財団法人滋賀県陶芸の森
出品者：ライアン・ホイ（香港／R1陶芸の森スタジオ・アーティスト）
チェンリャン・リ（台湾／R1陶芸の森スタジオ・アーティスト）

・「しがらき絵画教室 第7回作品展」

開催日：令和元年9月8日(日)～9月14日(土)

主 催：しがらき絵画教室

・「－やきものの花と暮らし－神山清子－“土”と“焼き”のプリミティブ」展

開催日：令和元年9月29日(日)～10月20日(日)

主 催：公益財団法人滋賀県陶芸の森

・「Shigaraki×Photography ～今、ここに生きる。多彩な信楽の風景から」展

開催日：令和元年10月27日(日)～11月24日(日)

主 催：公益財団法人滋賀県陶芸の森

【ワークショップ】

・ミシガン大学“インスタ映え”ワークショップ

開催日：令和元年5月11日(土)

主 催：公益財団法人滋賀県陶芸の森

内 容：まちなかを散策し写真撮影後、観賞会を行う

・うちわ作りのワークショップ

開催日：令和元年6月15日(土)

主 催：社会福祉法人しがらき会 信楽青年寮

内 容：うちわの枠に和紙を貼り、絵を描いた

・“てのひらサイズの庭づくり”ワークショップ

開催日：令和元年9月7日(土)

主 催：社会福祉法人しがらき会 信楽青年寮

内 容：植木鉢に絵付けをし、植物を植えるなどしてオリジナルの“庭”を作る

・旭焼再現実験ワークショップ

開催日：令和元年9月21日(土)

主 催：畑中 英二

内 容：旭焼の再現実験の研究発表と講義

・しめ飾りをつくるワークショップ

開催日：令和元年12月14日(土)

主 催：社会福祉法人しがらき会 信楽青年寮

内 容：既製のしめなわに信楽青年寮が作った飾りを使って、オリジナルのしめなわを作る

・“こびんの中の雪景色～スノードームをつくろう～”ワークショップ

開催日：令和2年2月15日(土)

主 催：社会福祉法人しがらき会 信楽青年寮

内 容：空き瓶からオリジナルのスノードームを作る

【その他】

・ぶらり商店街さんぽ

開催日：平成31年4月6日(土)、4月7日(日)

主 催：しがらき商店街井戸端会議（長野商店街の有志団体）

内 容：信楽の旅館、小川亭の日本酒の会の開催と信楽の食を販売

・「桂優々落語会」

開催日：令和2年1月12日(日)

主 催：桂優々

内 容：落語家 桂 優々による独演会（三席披露）

施設の管理

陶芸の森が、地域の産業振興や文化の創造、環境の拠点として、また来園者にくつろいでいただける場所となるよう、良好な状態を維持することに努めました。

また、台風の接近により各種警報が発令されるとともに、交通機関の運行中止、道路の通行止め等が行われたため、計3日間、災害への警戒と来園者の安全を考慮して休園としたほか、新型コロナウイルス感染症対策として休園しました。

・荒天による休園

令和元年8月15日(木)、10月12日(土)、10月13日(日) 9時30分～12時30分

・新型コロナウイルス感染症対策による休園

令和2年2月29日(土)～3月16日(月)

花木の植栽管理

公益財団法人滋賀県緑化推進会の「ゴルファー緑化協力金事業」よりジンダイアケボノ（サクラの一種）11本の寄贈を受け、園内の道路沿いへ植栽し園内の景観維持に努めました。

施設の維持修繕

県の長期保全計画に基づく建物や設備の保全工事を県および事業者と調整して実施するとともに、園内および各建物にかかる所用の修繕を行い、長期的な機能確保に努めました。



陶芸の森やきもの振興基金

平成25年に創設した「陶芸の森やきもの振興基金」への寄付金をお願いするため、陶芸の森での様々な事業活動を行う中で、ご支援をいただけるよう周知活動を行いました。

陶芸文化の発信事業

展覧会開催事業

特別企画

「陶の花 FLOWERS」展

趣 旨 春から初夏にかけての頃は、わたしたちが花に最も親しみを感じる季節かもしれません。花は、古来より世界各地の様々な芸術のジャンルにおいて表現されてきました。もちろん、やきものの世界でも例外ではありません。東洋陶磁においては華やかな花をさまざまに意匠化した吉祥文様が器を彩り、人々は幸せな人生への願いを込めた花の陶磁器を好まれてきました。また日本では、明治時代に欧米から導入された最新技術や意匠（デザイン）を用いて、建築用タイルやインテリア用品など様々なものが陶磁器で制作されました。中でも最も好まれたのが、西洋と東洋の花を融合させた花のモチーフでした。そして現代陶芸においても、花を表現の源とする作家は多く活躍しています。美しさ、儚さ、生命力、清々しさなど、花のイメージを自己の作品に重ね合わせ、それぞれの思いをもって表現をおこなっているのです。

本展では、「花」を入り口にして近世、近代、現代という様々な時代の陶芸表現の世界を探りました。

- 展示構成**
- 第Ⅰ章 - 現代 - 花咲く器
 - 第Ⅱ章 - 近代 - 近代建築に咲いた花
 - 第Ⅲ章 - 近世 - 古の器に咲いた花
 - 第Ⅳ章 - 現代 - 陶の花は語る



会 期 平成31年3月12日(火)～令和元年6月9日(日)（平成30年度からの継続事業） 78日間
 〔休館日〕 毎週月曜日
 4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館、5月7日(火)は振替休館

主 催 滋賀県立陶芸の森、京都新聞

後 援 滋賀県教育委員会、甲賀市、エフエム京都

観覧料 一般 500円(400円)／高大生 380円(300円)
中学生以下無料 ※ () 内は20名以上の団体料金

入場者数 8,645人(1日平均110.8人)

関連行事 (1)ギャラリートーク 担当学芸員による展覧会解説

〔日 時〕 4月14日(日)、5月26日(日) *両日とも13時30分～(1時間程度)

〔参加者〕 4／14 23人、5／26 21人

(2)子ども向け体験講座

「春らんまん 花のうつわをつくろう！」(つちっこプログラム特別講座)」

〔日 時〕 3月23日(土)

〔講 師〕 田中 哲也(陶芸家)

〔会 場〕 信楽産業展示館 創作室

〔参加者〕 9人

(3)一般向け学体験講座①

「象嵌技法で花の器をつくる」

〔日 時〕 5月19日(日)

〔講 師〕 谷野 明夫(本展出品作家)

〔会 場〕 信楽産業展示館 創作室

〔参加者〕 31人

(4)一般向け学体験講座②

「積層彩磁技法で花のうつわをつくる」

〔日 時〕 5月26日(日)

〔講 師〕 高間 智子(本展出品作家)

〔会 場〕 信楽産業展示館 創作室

〔参加者〕 21人

(4)町内ギャラリーとの連携イベント「信楽まちなかギャラリーでArtな花巡り」

本展会期中に信楽町内の企画ギャラリーでも「花」をテーマとした展示がオープンしました。

・かまーとの森「花の器大集合！お気に入りを見つけてね！」

〔開催日〕 3月13日(水)～令和元年6月9日(日)

・クラフト&ギャラリーきりん「花にまつわる陶のイロイロ」展

〔開催日〕 3月21日(木・祝)～4月21日(日)

・ギャラリー陶園「花・華・HANA」

〔開催日〕 4月6日(土)～4月24日(水)

・陶成アートギャラリー 陶と花の企画「阿伝窯・富増彰良／Craft-K・大原拓也」展

〔開催日〕 4月6日(土)～4月30日(火)

・陶成アートギャラリー 陶と花の企画「巖陶房」展

〔開催日〕 5月1日(水・祝)～5月31日(金)

・ギャラリー陶夢「花ものがたり」展

〔開催日〕 5月16日(木)～6月9日(日)

- (5)陶芸の森のカフェレストランBROWN RICE & WATERで、展覧会会期中の限定メニュー「FLOWER VIGAN RICE BOWL」を提供

団体案内	4月19日(金) 就実大学見学案内	107名
	4月26日(金) 信楽窯業試験場研修生	15名
	5月21日(火) 草津市渋川老人クラブ	20名
	5月22日(水) 小原小学校事前授業	
	5月30日(木) 悠ツアー	16名

掲載記事等

(1)テレビ・ラジオ

- ・FM京都 開催予告および開催中告知放送
- 3月12日 BBCびわ湖放送「きらりん滋賀」 美術館でお花見? 「花」がテーマの陶芸作品展
- 3月31日 BBCびわ湖放送 なるほどミュージアム滋賀
- 4月5日 日曜美術館 アートシーン
- 4月20日 エフエム京都 C'S NAVIGATION
- 4月20日 エフエム京都 a-MORNING KYOTO
- 4月21日 びわ湖放送 滋賀プラスワン

(2)新聞

- 3月6日 京都新聞夕刊 社告
- 3月12日 京都新聞 京都・滋賀版
「花モチーフ・古今東西の陶芸作品ずらり 滋賀・信楽で特別企画展」
- 3月15日 産経新聞 春の特別展花ざかり
- 4月5日 陶業時報 第1875号 「花」で見る陶の歴史 滋賀県立陶芸の森
- 4月7日 週刊滋賀民報 第2459号 焼き物でお花見を県立陶芸の森で「陶の花」展
- 5月17日 京都新聞夕刊 くらしインフォ

(3)雑誌、フリーペーパー等（抜粋）

- 3月4日 トマト倶楽部
- 3月19日 東海さんぽ旅4 信楽から海外まで世界の陶芸を紹介
- 4月25日 月刊『Leaf』6月号 美術館で咲き誇るアートの花を堪能して
- 4月27日 『淡交』令和元年5月号 展覧会スケジュール
- 5月1日 『炎芸術』5月号 展覧会スケジュール
- 5月25日 『月刊アートコレクターズ』今月の展覧会ガイド
- 7月11日 『RuSC』7月号 Entertinmennt Topics
『Duet』第30巻4号
- 季刊『ろうさい』2019春号「春だから、花のやきもの」

(4)インターネット関係（抜粋）

京都新聞アート&イベント情報サイト「ことしるべ」全4回／ぶらり美術館／関西文化Com.／ストリート・アート・ナビ／ミュージアム・カフェ／信楽町観光協会／びわこビジターズビューロー／artspace／大阪芸術大学附属美術専門学校HP／mujam.jp など

■アンケート集計結果

入館者数	8,645人(1日平均198.1人)*79日間		
会期	2019(令和元)年3月12日(火)～6月9日(金)		
回答者数	126人		
回答率	1.5%		
性別	男性	56人	44%
	女性	66人	52%
	無回答	4人	3%
住所	北海道・東北	1人	1%
	関東・甲信越	0人	0%
	首都圏	9人	8%
	北陸	2人	2%
	東海	12人	11%
	滋賀県	47人	41%
	京阪神	31人	27%
	奈良・和歌山	6人	5%
	中国	5人	4%
	四国	1人	1%
	九州・沖縄	0人	0%
	その他(含無回答)	0人	0%
展覧会評価	大変満足	50人	40%
	満足	52人	41%
	普通	20人	16%
	やや不満	2人	2%
	不満	1人	1%
	無回答	1人	1%
再来館	思う	114人	90%
	思わない	7人	6%
	無回答	5人	4%
目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	74人	52%
	陶芸の森のイベント	7人	5%
	町内のイベント	2人	1%
	陶器の購入	7人	5%
	旅行社ツアー	0人	0%
	MIHO MUSEUM	21人	15%
	学校行事	6人	4%
	その他	22人	15%
	無回答	3人	2%

■作品リスト

Section 1 現代 現代作家の花咲く器

No	制作者	作品名	寸法(cm)	製作年	点数	所蔵先
1	中島 清	牡丹文陶花生	高35.0×直径20.0	昭和14年(1939)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
2	熊倉 順吉	釉彩花絵壺	高29.0×直径28.2	昭和24年(1949)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
3	今泉 今右衛門(13代)	色絵薄墨珠樹文蓋付壺	高60.0×直径31.4	平成8年(1996)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
4	廣田 忠美	秋明菊文角瓶	高36.4×幅16.0×奥行16.0	平成13年(2001)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
5	谷野 明夫	黒地堆二彩抜絵花文飾壺	高34.0×直径23.0	平成10年(1998)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
6	谷野 明夫	黒地堆二彩抜絵花小紋飾鉢	高13.0×直径47.6	平成17年(2005)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
7	谷野 明夫	黒地縞堆二彩小花紋陶筒	高6.0×幅36.5×奥行36.5	平成29年(2017)	1	個人蔵
8	赤地 健	赤絵花文蓋物	高18.5×幅28.2×奥行26.6	平成10年(1998)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
9	赤地 健	赤絵花文蓋物	高18.5×幅28.2×奥行26.6	平成10年(1998)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
10	落合 美代子	白地掻落花文大壺	高35.0×直径26.7	平成15年(2003)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
11	林 小六	琺瑯彩薫風飾壺	高23.0×直径32.5	平成10年(1998)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
12	神山 清子	信楽ラスター彩菊花文壺	高36.5×幅27.8×奥行23.2	平成5年(1993)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
13	神山 清子	信楽自然釉蓋物	高15.0×直径16.0	平成5年(1993)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
14	今井 政之	塩窯鉄線壺	高39.0×直径41.0	平成2年(1990)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
15	鈴木 治	爐花	高12.5×直径10.0	昭和52年(1977)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
16	安田 佳代	氷結の花	高51.0×幅51.6×奥行27.4	平成14年(2002)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
17	神谷 紀雄	鉄絵銅彩秋海棠文鉢	高11.0×幅43.8×奥行37.8	平成27年(2015)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館

Section 2 近代 近代建築に咲いた花

No	制作者	作品名	寸法(cm)	製作年	点数	所蔵先
18	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜風車に蝶＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
19	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜葡萄＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
20	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜紫陽花飾＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
21	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜流水に杜若と沢瀉＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
22	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜樹上に鳩(緑羽)＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
23	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜紫木蓮に大鷹＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
24	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜枝垂桜に山雀二羽＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
25	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜吊り鉢に桜花と鳥＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
26	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜雪囲いに薔薇＞	高60.4×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	4枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
27	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜流水に萩＞	高60.4×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	4枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
28	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜岩に大鷹＞	高60.4×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	4枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
29	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜滝に松＞	高60.4×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	4枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
30	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜夕日に薄＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
31	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜檜扇＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
32	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜松に鳥＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
33	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜樹上に鳩(青羽)＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
34	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜流水に花菖蒲と河骨と沢瀉＞	高60.4×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	4枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
35	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜柳に鳥の子＞	高60.4×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	4枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
36	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜網代に菊＞	高60.4×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
37	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜菊に鳥＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
38	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜竹と辛夷に雪雀＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
39	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜流水に桃花と枯れ芦＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
40	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜流水に萩と千鳥二羽＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
41	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜菊に蝶＞	高60.4×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
42	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜実南天に鳥＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
43	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜椿と笹に鶴＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
44	ゴットフリート・ワグネル／ 旭焼製造組合	袖下彩装飾タイル ＜阿蘭陀海芋に鳥三羽＞	高75.5×幅15.1×厚み1.0	明治23-29年 (1890-1896)	5枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
45	農商務省陶磁器試験所	宝相華文装飾レリーフタイル	高67.0×幅67.0×厚み3.3cm	大正10年-昭和初期頃 (1921-1930年頃)	4枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
46	農商務省陶磁器試験所	彩釉松蔭文装飾レリーフ陶板	高62.0×幅137.3×厚み3.2	昭和4年 (1929)	22枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
47	農商務省陶磁器試験所	彩釉花鳥図装飾レリーフタイル	高72.5×幅144.5×厚み5.7	大正10年-昭和初期頃 (1921-1930年頃)	18枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
48	農商務省陶磁器試験所	金彩布目花唐草文タイル	高18.8×幅16.0×厚み1.8	大正11年頃 (1922年頃)	4枚組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
49	農商務省陶磁器試験所	四つ兎装飾電燈飾	高100.3×幅35.0×奥行35.0	昭和5年 (1930)	2点組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
50	農商務省陶磁器試験所	秩父宮邸陶器製装飾電燈台	高245.0×幅30.3×奥行26.0	昭和2年 (1927)	5点組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
51	農商務省陶磁器試験所	伊羅保釉透彫花文タイル	高23.5×幅23.5×厚み4.0	昭和4年 (1929)	1	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
52	農商務省陶磁器試験所	色釉透彫花文タイル	高16.3×幅16.3×厚み3.0	昭和4年頃 (1929年頃)	1	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
53	滋賀県立窯業試験場	透彫花唐草文ストープカバー	高78.5×直径47.4	昭和4-19年 (1929-1944)	3点組	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
54	淡陶株式会社	花文様のマジョリカ・タイル	高15.0～15.6×幅15.0× 15.6×厚み0.9～1.1	明治後期-昭和10年頃 (20世紀前半頃)	19	個人蔵

Section 3 近世 古の器に咲いた花

No	制作者	作品名	寸法(cm)	製作年	点数	所蔵先
55	湖東焼	染付梅花図水鉢	高24.8×口径38.8×底径19.8	江戸時代後期 (19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館
56	門平焼	鉄絵梅花文小鉢	高3.4×口径10.5	明治時代-昭和初期 (19世紀後半-20世紀前半)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館
57	圓山湖東焼	染付梅牡丹文茶心壺	高11.3×直径9.2×底径6.4	明治時代初期 (19世紀後半)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館
58	圓山湖東・耕堂絵付け	染付梅牡丹菊花文建水	高8.7×口径9.0×奥行10.7×底径6.3	明治2年 (1869)	1口	個人蔵
59	古伊万里焼	染付桜花文輪花皿	高3.6×直径21.4×底径14.4	江戸時代中期 (18世紀)	1口	喜楽コレクション
60	三井御浜焼	桜花文楊枝置	高3.1×幅8.9×奥行6.3	江戸時代後期 (19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館 (伊賀三男コレクション)
61	三井御浜焼	桜花文徳利	高5.5×口径19.4×底径9.0	江戸時代後期 (19世紀)	2口組	個人蔵
62	三井御浜焼	桜花文徳利	高5.5×口径19.4×底径9.0	江戸時代後期 (19世紀)	1口	個人蔵
63	梅林焼	三彩桜花形鉢	高8.5×口径16.3×底径7.5	江戸時代 (18-19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館 (伊賀三男コレクション)
64	梅林焼	二彩三つ唐子桜花形鉢	高5.6×口径12.4	江戸時代 (18-19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館 (細川正廣コレクション)
65	山之上焼	黄釉色絵桜花文手焙り	高4.6×高15.1×幅14.8×底径8.4	大正時代-昭和時代前期 (20世紀前半)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館
66	湖東焼	色絵牡丹図四方平鉢	高5.4×幅16.0×奥行14.1×底径6.1	江戸時代後期 (19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館
67	古伊万里	銕釉色絵唐獅子牡丹文八角皿	高2.1×口径16.2×15.0底径.	江戸時代前期 (1670-90年代)	1口	喜楽コレクション
68	古伊万里	染付牡丹花弁文皿	高3.4×口径21.2×底径13.2	江戸時代前期 (1670-90年代)	5口組	喜楽コレクション
69	湖東焼・自然斎絵付け	赤絵金彩玉堂富貴図皿	高8.3×口径23.0×底径7.9	江戸時代後期 (19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館
70	湖東焼	色絵菊花図平鉢	高5.5×口径19.4×底径9.0	江戸時代後期 (19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館
71	湖南焼・永楽保全	金欄手内染付雲鶴文鉢	高9.1×口径12.2×底径4.7	江戸時代後期 (19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館
72	湖東焼・可水絵付け	色絵草花文鉢	高8.3×口径23.0×底径7.9	江戸時代後期 (19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館
73	湖東焼	染付花卉文段重	高6.7×幅10.5×奥行6.7	江戸時代後期 (19世紀)	1口	滋賀県立陶芸の森陶芸館

Section 4 現代 陶の花は語る

No	制作者	作品名	寸法(cm)	制作年	点数	所蔵先
74	杉浦 康益	陶の博物誌 箱根山椒バラの実	高60×幅76×奥行60	平成26年(2014)	1	個人蔵
75	杉浦 康益	陶の博物誌 ランの花	高27.0×幅16.6×奥行16.6	平成19年(2007)	1	個人蔵
76	杉浦 康益	山法師の花	高39.7×幅45.8×奥行40.4	平成30年(2018)	1	個人蔵
77	田嶋 悦子	Cornucopia 97-Ⅲ	高21.0×幅16.1×奥行16.1	平成9年(1997)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
78	田嶋 悦子	Cornucopia 97-Ⅳ	高41.0×幅26.0×奥行13.5	平成9年(1997)	1	個人蔵
79	田嶋 悦子	Cornucopia 01-Ⅶ	高92.0×幅42.0×奥行22.5	平成13年(2001)	1	個人蔵
80	長谷川 直人	Plant	高54.0×幅41.5×奥行17.5	平成9年(1997)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
81	長谷川 直人	Plant	高31.5×幅22.0×奥行12.5	平成9年(1997)	1	滋賀県立陶芸の森陶芸館
82	長谷川 直人	Plant	高15.3×幅16.0×奥行8.1	2010年代(2010's)	1	個人蔵
83	秋永 邦洋	恒久切花 チューリップ	高41.0×幅26.0×奥行13.5	平成26年(2014)	1	個人蔵
84	秋永 邦洋	恒久切花 向日葵	高92.0×幅42.0×奥行22.5	平成26年(2014)	1	個人蔵
85	秋永 邦洋	恒久切花 木蓮	高54.0×幅41.5×奥行17.5	平成26年(2014)	1	個人蔵
86	秋永 邦洋	恒久切花 バラ	高31.5×幅22.0×奥行12.5	平成26年(2014)	1	個人蔵
87	大石 早矢香	Pied	高42.8×幅13.5×奥行7.7	平成29年(2017)	1	個人蔵
88	高間 智子	はなことば	高10.5×直径32.6	平成25年(2013)	1	個人蔵
89	高間 智子	はなことば	高10.5×直径32.6	平成25年(2013)	1	個人蔵
90	高間 智子	はなことば	高10.5×直径32.6	平成25年(2013)	1	個人蔵
91	高間 智子	はなことば	高10.5×直径32.6	平成31年(2019)	1	個人蔵
92	高間 智子	はなことば	高10.5×直径32.6	平成31年(2019)	1	個人蔵
93	熊倉 順吉	道化の華	高47.0×幅27.0×奥行14.0	昭和52年(1977)	1	個人蔵
94	熊倉 順吉	華	高47.0×幅27.0×奥行14.0	昭和47年(1972)	1	個人蔵

細川正廣コレクション寄贈記念「近江やきものの魅力」展

趣 旨 細川正廣コレクションは、大津市在住の細川正廣氏が「滋賀の地で生み出されたやきものの歴史と素晴らしさを後世にまで伝えたい」という思いから滋賀県立陶芸の森に寄贈された滋賀ゆかりの古陶磁コレクションです。新発見の印銘がほどこされているものや、これまでの定説を変える作風のものなど、貴重な滋賀の古陶磁が多数含まれています。平成19年度より続けてご寄贈をいただき、平成29年度末には100点を数えるまでになりました。本展はこれを記念し、細川正廣コレクションの中から約40点を選びご紹介しました。

展示構成 信楽焼／湖東焼／圓山湖東焼／長浜湖東焼／小富士焼／姥餅焼／梅林焼／八田焼／下田焼／門平焼／復興膳所 陽炎園

会 期 平成31年3月12日(火)～令和元年6月9日(日)
特別企画「陶の花 FLOWERS」と同時開催（平成30年度からの継続事業）

掲載記事等

(1)雑誌、フリーペーパー

4月1日 陶説 第793号 細川正廣コレクション寄贈記念展「近江のやきものの魅力」紹介
Duet 第30巻4号 細川正廣コレクション寄贈記念展「近江のやきものの魅力」紹介

■作品リスト

No	窯 名	作品名	寸 法	製作年	点 数	銘
1	湖東焼	色絵蓮葉形置物	高5.1×幅24.2×奥行21.8	江戸時代後期 (19世紀前半)	1 基	楕円印刻銘「湖東」
2	湖東焼	染付藻魚文手塩皿	高2.0×口径4.9×底径5.9	江戸時代後期 (19世紀前半)	5 口	染付銘「湖東」
3	湖東焼	緑釉鉄絵夕顔図瓢 足付瓶掛	高19.2×口径28.2×直径33.2	江戸時代後期 (19世紀前半)	1 口	亀形印刻銘「湖東」
4	湖東焼	染付赤壁賦蓋付碗	高8.7×口径10.9×底径5.9	江戸時代後期 (19世紀前半)	5 合	染付銘「湖東」
5	湖東焼・山口窯	黒釉金彩松文段重	高26.1×幅15.6×奥行15.6	明治時代前期 (19世紀後半)	4 段 一組	色絵銘「大日本西京清水 湖東洲山口製」
6	圓山湖東焼	染付龍文煎茶器	急須 (Teapot): 高6.0×幅10.5 ×奥行9.7×口径5.9×直径8.3× 底径5.1 / 茶碗 (Tea cup): 高5.2×口径6.0×底径3.2	明治時代初期 (19世紀後半)	1 合 5 口 一組	染付銘「湖東」
7	長浜湖東焼	盛絵花貝殻文鉢	高8.3×口径12.8×底径6.3	江戸時代末期-明治時代前期 (19世紀後半)	1 口	赤絵銘「湖東」、鉄絵銘 「杏屋寫」
8	梅林焼	交趾釉手付鉢	高10.3×直径12.7	江戸時代後期 (18世紀後半-19世紀前半)	1 口	
9	梅林焼	交趾釉瓢箪手付盃	高4.1×幅9.9×奥行7.3	江戸時代後期 (18世紀後半-19世紀前半)	1 口	
10	梅林焼	交趾釉蜜柑形水滴	高3.6×直径8.2	江戸時代後期 (18世紀後半-19世紀前半)	1 口	
11	梅林焼	交趾釉繫鉢	高7.7×幅22.4×奥行21.1	江戸時代後期 (18世紀後半-19世紀前半)	3 口 1 基	
12	姥餅焼	赤楽鉄絵句入火入	高10.0×口径11.1×底径10.4	江戸時代後期 (19世紀前半)	1 口	丸形印刻銘「姥餅」
13	門平焼	赤楽近江八景文蜆形 足付向付	高4.3×幅12.8×奥行11.4 / 高4.3×幅13.1×奥行12.6	大正時代-昭和時代初期 (20世紀前半)	2 口	
14	門平焼	白釉梅花貼付文筒花生	高24.2×口径10.0×直径11.2 ×底径10.2	大正時代-昭和時代初期 (20世紀前半)	1 口	鉄絵銘「セタ」
15	門平焼	飴釉屋形舟形蓋物	高4.9×幅18.6×奥行8.7	大正時代-昭和時代初期 (20世紀前半)	1 合	印刻銘「せた」
16	門平焼	鉄絵漁夫図葛屋形蓋物	高8.9×幅12.1×奥行11.1	大正時代-昭和時代初期 (20世紀前半)	1 合	印刻銘「門平」
17	門平焼	乾山写色絵老松皿	高3.4×幅18.5×奥行13.0	大正時代-昭和時代初期 (20世紀前半)	1 口	印刻銘「せ多」
18	門平焼	鉄絵瀬田唐橋文桃形鉢	高4.8×幅8.5×奥行6.0	明治時代後期-昭和時代初期 (20世紀前半)	1 口	鉄絵銘「夕照」

No	窯 名	作品名	寸 法	製作年	点 数	銘
19	八田焼	染付鉄絵草花文鉢	高7.9×口径24.3×底径12.3	明治時代後期-昭和時代初期 (20世紀前半)	1 口	
20	八田焼	鉄絵石山秋月文徳利	高23.5×直径7.5	明治時代後期-昭和時代初期 (20世紀前半)	1 口	鉄絵銘「八田」「かじ寅」
21	八田焼	鉄絵梅花文徳利	高24.5×口径4.5×4.0 直径8.5×底径8.5	明治時代後期-昭和時代初期 (20世紀前半)	1 口	印刻銘「八田」「 
22	小富士焼	褐釉捻梅形小皿	高1.2×口径8.8×底径5.3	明治時代後期 (20世紀前半)	5 口	印刻銘「小富士」
23	小富士焼	緑釉掛分蓋付碗	高8.3×口径9.0×底径1.8	明治時代後期 (20世紀前半)	5 口	楕円印刻銘「小富士」
24	小富士焼	灰釉掛分鶴首花瓶	高27.8×口径4.2×直径9.9 ×底径6.2	明治時代後期 (20世紀前半)	1 口	印刻銘「小富士」
25	小富士焼	鉄絵蟹図雲芝形手付碗	高5.4×幅9.0×口径9.1× 底径3.7	明治時代後期 (20世紀前半)	5 口	印刻銘「小富士」
26	小富士焼	灰釉割山椒向付	高7.0×口径12.0×底径4.6	明治時代後期 (20世紀前半)	5 口	角棒印刻銘「小富士」
27	小富士焼	灰釉瓢形皿	高3.8×幅13.2×奥行18.5	明治時代後期 (20世紀前半)	1 口	角棒印刻銘「小富士」
28	復興膳所焼・陽炎園	鉄釉四方瓶掛	高20.2×幅26.0×奥行28.3	昭和時代前期 (20世紀前半)	1 口	
29	復興膳所焼・陽炎園 (山元春拳絵付け)	白玉椿図筒茶碗	高7.8×口径9.3×直径19.1 ×底径5.0	大正時代末期-昭和時代初期 (20世紀前半)	1 口	琵琶形印刻銘「せゝ」、 鉄絵銘「春拳（花押）」
30	下田焼	鉄絵染付松に月図蓋付鉢	高10.5×口径19.3×底径9.1	明治時代後期-昭和時代前期 (20世紀前半)	1 合	
31	信楽焼	腰白茶壺	高48.9×口径12.7× 直径39.2×底径19.6	江戸時代前期 (18世紀前半)	1 口	
32	信楽焼・信光山	あられ茶壺	高22.2×口径11.5× 直径20.2×底径12.0	江戸時代後期 (19世紀前半)	1 口	印刻銘「信楽」「信光山」
33	信楽焼・奥田信斎	灰釉飛葉茶壺	高30.0×口径10.8× 直径21.0×底径13.2	江戸時代末期 (19世紀後半)	1 口	壺形印刻銘「叶」、楕円 印刻銘「壺信」
34	信楽焼・奥田三右衛門	白釉掛流茶壺	高32.0×口径10.8× 直径27.0×底径13.4	明治時代-大正時代 (19世紀後半-20世紀前半)	1 口	印刻銘「信楽長野／  製」 「別製」、墨書「 
35	信楽焼	瑠璃釉掛流茶壺	高28.0×口径12.2× 直径22.6×底径12.6	明治時代-大正時代 (19世紀後半-20世紀前半)	1 口	
36	信楽焼	銅青磁釉茶壺	高28.0×口径16.7×直径22.6 ×底径11.6／高27.2×口径 11.6×直径22.6×底径11.6	江戸時代末期-大正時代 (19世紀後半-20世紀前半)	1 口	丸形印刻銘「志製」「馬」
37	信楽焼	三彩掛流茶壺	高27.6×口径12.0× 直径21.6×底径11.2	明治時代-大正時代 (19世紀後半-20世紀前半)	1 口	
38	信楽焼	青簾茶壺	高48.4×口径13.5× 直径32.2×底径14.4	江戸時代後期-明治時代 (19-20世紀前半)	1 口	

特別企画

「交流と実験—新時代の 〈やきもの〉をめざして—」展

趣 旨 作陶に関わる人であれば、一度は訪れてみたい憧れの聖地信楽。滋賀県立陶芸の森では1992年の開設以来、国際文化交流の拠点として、53カ国1200人余りのアーティストが創作活動を繰り広げてきました。その取り組みは広く国内外で認知されるとともに、産地信楽の動向と関わりながら、新たな〈やきもの〉文化の創造に大きく寄与しています。

陶芸の森ではこうした国際性豊かな実績を活かして、情報化とグローバル化の急速な進展に対応すべく、近年は海外のレジデンス機関との連携強化に努めています。とくに、国際的なネットワークを活用した、交換プログラムの導入は、時代を見据えた取り組みといえるでしょう。海外での制作経験と、交流の機会を求めるアーティストを支援しています。

異国での〈交流と実験〉で、作家たちは何に興味や関心を持ち、どのような成果を得てきたのか。本展では、その取り組みを作品と彼らの言葉などを介して紹介。また、国内外の作家が信楽で制作した作品も交えつつ、現代の多様なやきものを展望しました。



展示構成

陶芸の森レジデンス作家40人の作品と参考品5件を、下記のテーマから紹介。

セクションⅠ 陶芸の森から海外へ

迫能弘／高橋由紀子／藤田真理乃／武村和紀／藤本秀
／篠原希／白木千華／工藤玲那／山田浩之／田中哲也
／大谷工作室／岩村遠 <順不同>

セクションⅡ 信楽での交流のなかで

清水卯一／今井政之／和太守卑良／柳原睦夫／橋本知
成／金理有／近藤高弘／森野彰人／桑田卓郎／黒川徹
／小出ナオキ／塩谷良太／アラン・ワット／アリソン・
ブリトン／ヨリス・リンク／ナタリー・ラーデンマキ
／ヴィクトル・マヌエル・ファレス／リチャード・ノ
トキン／キャサリン・サンドナス&宮本ルリ子／トシ
コ・タカエズ／ジェニファー・リー／マルタ・パッチョ
ン・ロドリゲス／トニー・ナツラス／ヴィルマ・ヴィ
ラバーデ／マティアス・リーマタイネン／リチャード・
ショー／マリリン・レヴィン／ウォーレン・マッケン
ジー <順不同>



会 期 令和元年6月18日(火)～9月6日(金) 69日間
〔休館日〕月曜日 7／15、8／12は開館、7／16、8／13は振替休館
＊8月15日(休)は台風のため休館

主 催 滋賀県立陶芸の森、京都新聞

後 援 滋賀県教育委員会、甲賀市、NHK大津放送局

観 覧 料 一般500円（400円） 高大生380円（300円） 中学生以下無料

*（ ）内は20人以上の団体料金

入場者数 4,552人（1日平均65.9人）

関連行事

(1)ギャラリートーク 担当学芸員による展覧会解説
各作家の信楽での活動と交流など、作品制作の背景を
交えて見所を解説しました。

〔日 時〕 7月14日(日)、8月11日(日)

*両日とも13時30分～（1時間程度）

〔参加者〕 7／14 24人、8／11 12人



(2)陶芸館ギャラリー 特別企画 交流と実験展 第二会場 田中哲也 - HIBIKI -

会 期 令和元年6月18日(火)～7月7日(日) 18日間

(3)親子向け特別講座

夏休み子どもやきものシリーズ〈陶芸家の工房訪問と作陶体験〉

①粘土の板からカップをつくろう！

〔日 程〕 7月20日(土) 〔講 師〕 神山清子 〔参加者〕 26人

陶芸家 = 宮本ルリ子、津守 愛香、岡田南央、松本恵理香 案内 = 三浦弘子

②葉っぱのお皿づくり

〔日 程〕 7月21日(日) 〔講 師〕 神山清子 〔参加者〕 27人

陶芸家 = 橋功一郎、岡田南央、灘さとみ、松波曜子 案内 = 三浦弘子

③お団子ねんどからお皿ができる！

〔日 程〕 8月3日(土) * 7月27日(土)は台風により中止、

〔講 師〕 神山清子 〔参加者〕 19人

陶芸家 = 宮本ルリ子、木ノ戸久仁子、松波曜子、松本恵理香 案内 = 杉岡容子

④お花の器づくり！

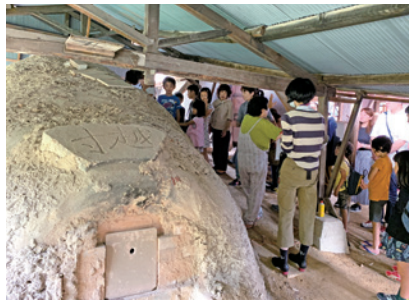
〔日 程〕 7月28日(日) 〔講 師〕 神山清子 〔参加者〕 34人

陶芸家 = 橋功一郎、灘さとみ、松本恵理香、木ノ戸久仁子 案内 = 三浦弘子、杉岡容子

⑤ハンコで押して簡単お皿づくり！

〔日 程〕 8月4日(日) 〔講 師〕 神山清子 〔参加者〕 24人

陶芸家 = 岡田南央（案内）、灘さとみ、松波曜子、松本恵理香



団体案内 *印は世界にひとつの宝物づくり事業・子どもやきものの交流事業関連

6月20日(木)	奈良芸術短期大学 学外授業	26人
7月7日(日)	守山市焰魔堂町すこやかサロン	30人
* 7月12日(金)	関西大学第一中学校	251人
7月20日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学 学外授業	50人

紹介番組・掲載記事

(1)放送関係

7月15日(月)～21日(日) あいコムこうか EYEこうかNOW

(2)インターネット

①京都新聞連載 アート&イベント情報サイト [ことしるべ] 全7回

第1回この展覧会が新たな実験です / 第2回自然を投影する作家「迫能弘」

第3回土と灰が噛み付き合う窯変を求めて「篠原希」

第4回出品作家の作品が購入できます！

第5回陶をフィールドに幅広い表現活動を展開「山田浩之」

第6回〈やきもの〉の呪術的な性格を現代の造形に「岩村遠」

第7回キャサリン・サンドナス&宮本ルリ子～二人の作家を結びつけた新素材

②その他

陶芸の森web / ARTLOGUE展覧会 (アートログ) / Hotel21web / 滋賀・びわ湖観光情報 (びわこビジターズビューロー) / 展覧会ニュース (CAFE Voyage) / イベントスクランブル (産業経済新聞社) / ほっとする信楽イベント情報 (信楽観光協会) / InternetMuseum (丹青社) / MusCa (株式会社B#) / 滋賀文化のススメ (滋賀県文化振興事業団) / 47News (全国新聞ネット) / Artscape (大日本印刷) / いこーよ (アクトインディ) / Dokkaおでかけ探検隊 (Dokkaエンタープライズ) / 美術館Navi (読売新聞) / 陶耀会web / 彩里陶材 / 陶芸ZANMAI.com / Street Art Navi / やきものPLAZA (工芸ぶんか舎) / 滋賀イベントガイド (全国イベントガイド協会) / Tomio Tomio Gallery (小山藝術企画) / 京都造形芸術大学通信教育部陶芸研究室 / Gallery Sokyō (現代美術艸居) / KOKOワーク滋賀 / 多摩美術大学工芸学科 / C/Laboratory (MANGO ART COMPANY) / SNOW Contemporary (KUBOTA KENJI ART OFFICE) / 塩谷良太公式サイト / PICNAO (Sonic Team)

(3)新聞・雑誌など (抜粋)

①新聞

5月21日(火) 京都新聞 朝刊 (社告) 特別企画 交流と実験 展 (カラー)

6月15日(土) 京都新聞 夕刊 (社告) 特別企画 交流と実験 展 (カラー)

6月19日(水) 京都新聞 朝刊 (社会) 海外の風 感性豊かに

8月2日(金) 京都新聞 朝刊 (情報) 新時代のやきものを考える

読売新聞 しが県民情報 展覧会情報 特別企画 交流と実験 展

8月14日(水) 中日新聞 朝刊(滋賀) 交流で生まれた斬新アート(カラー)
 8月17日(土) 京都新聞 朝刊(美術) 陶芸と世界の交差点(カラー)
 ・京都新聞 半五段有料紙面広告 * 6 / 18は京都・滋賀共通面、他滋賀版に随時掲載

②雑誌・その他

6月20日(木) 生活の友社 『美術の窓』 7月号 (No.430) 「話題の展覧会」(カラー)
 7月25日(木) 地域創造 『地域創造レター』 8月号 (No.292) 「今月の情報」
 10月1日(火) びわこ芸術文化財団『湖国と文化』 10月秋(169号) 「ニュースの小箱」
 その他 『陶工房』 6月号 / 『月刊ギャラリー』 7月号 / 『炎芸術』 8月号

■アンケート集計結果

入館者数	4,552人		
回答者数	99人		
回答率	2.2%		
性別	男性	46人	46%
	女性	50人	51%
	無回答	3人	3%
地域	滋賀	42人	46%
	京阪神	19人	21%
	奈良・和歌山	5人	5%
	東海	8人	9%
	北陸	1人	1%
	首都圏	9人	10%
	関東・甲信越	2人	2%
	中国・四国	1人	1%
	九州・沖縄	1人	1%
	その他(含無回答)	3人	3%
展覧会評価	大変満足	29人	29%
	満足	42人	42%
	普通	11人	11%
	やや不満	5人	5%
	不満	5人	5%
	無回答	7人	7%
再来館したいと思いますか	思う	87人	88%
	思わない	9人	9%
	無回答	3人	3%
信楽に来た目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	42人	38%
	陶芸の森のイベント	8人	7%
	町内のイベント	1人	1%
	陶器の購入	10人	9%
	旅行社ツアー	0人	0%
	MIHOMUSEUM	8人	7%
	学校行事	6人	5%
	その他	32人	29%
	無回答	4人	4%

■作品リスト

セクションⅠ 陶芸の森から海外へ

No.	作者名	国名	作品名	制作年	寸法(cm)	備考
特別 出品	張 清淵 (チャン・チンウエン)	台湾	錯置の母体 2011-3	2011/ 平成23年	高26.0×幅31.0×奥行27.0/ 高22.0×幅36.0×奥行36.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館 で制作／FW-176
1	迫 能弘	日本・滋賀	試作/ 焼締め輪花鉢・向付	2017/ 平成29年	高7.3×幅20.6×奥行18.2	台南芸術大学で制作／個人蔵
2	迫 能弘	日本・滋賀	焼締め輪花鉢	2017/ 平成29年	高6.3×幅17.8×奥行16.7／底径8.8	台南芸術大学で制作／個人蔵
3	迫 能弘	日本・滋賀	焼締め甕コップ	2017/ 平成29年	高9.9×口径7.2・8.0×胴径8.7・8.3×底径4.7	台南芸術大学で制作／個人蔵
4	迫 能弘	日本・滋賀	焼締め鎗茶碗	2017/ 平成29年	高9.1×口径11.2・12.0×底径4.8	台南芸術大学で制作／個人蔵
5	迫 能弘	日本・滋賀	焼締め片口形櫛目花器	2018/ 平成30年	高14.1×幅27.5×奥行24.6×底径9.0	個人蔵
6	迫 能弘	日本・滋賀	焼締め湯呑	2018/ 平成30年	高7.5×口径7.0×底径4.6	個人蔵
7	迫 能弘	日本・滋賀	焼締めぐい呑	2018/ 平成30年	高6.5×口径5.2・5.6×底径3.3	個人蔵
8	迫 能弘	日本・滋賀	焼締め小皿	2018/ 平成30年	高2.2×口径14.1・13.9×底径7.3	個人蔵
参考1		日本・滋賀	陶土 甲南ずりんこ	2018/ 平成30年	高1.1×幅6.0×奥行3.6	個人蔵
9	高橋 由紀子	日本・滋賀	練込葉紋皿	2017/ 平成29年	高3.0×幅22.7×奥行28.3	台南芸術大学で制作／個人蔵
10	高橋 由紀子	日本・滋賀	練込輪花鉢	2018/ 平成30年	高5.8×口径8.7・8.5×底径2.5	個人蔵
11	高橋 由紀子	日本・滋賀	練込花紋茶器揃	2018/ 平成30年	急須=高8.2×幅14.9×奥行8.4(×口径×底径)、湯冷まし=高6.5×幅9.0×奥行7.4(×口径×底径3.7)、茶碗=高4.2×口径9.3・9.1×底径4.0、茶托=高1.4×口径9.1・9.3×底径4.0	個人蔵
12	高橋 由紀子	日本・滋賀	練込花鳥紋皿	2018/ 平成30年	縦26.5×横25.5×奥行3.2	個人蔵
13	高橋 由紀子	日本・滋賀	練込桜花紋カップ	2019/ 平成31年	高11.4×口径8.0・7.8×底径4.9	個人蔵
14	藤田 真理乃	日本・埼玉	無題	2017/ 平成29年	高9.5×幅・奥行9.5(球形)／ 高13.5×胴径10.0／高18.5×胴径8.5	台南芸術大学で制作／個人蔵
15	藤田 真理乃	日本・埼玉	無題	2017/ 平成29年	高23.3×幅14.0×奥行5.7／ 高21.5×幅12.5×奥行5.0	台南芸術大学で制作／個人蔵
16	藤田 真理乃	日本・埼玉	無題	2017/ 平成29年	*焼成中に倒壊したもの	台南芸術大学で制作／個人蔵
17	藤田 真理乃	日本・埼玉	光と影が遊ぶとき	2019/ 令和元年	高107.0×径35.0(1点)	個人蔵
18	武村 和紀	日本・京都	Growing - 響 -	2016/ 平成28年	高56.2×幅87.5×奥行86.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館 で制作／個人蔵
19	武村 和紀	日本・京都	旋	2018/ 平成30年	高31.5×幅19.0×奥行18.0	個人蔵
20	武村 和紀	日本・京都	蠢動	2017/ 平成29年	高36.5×幅67.5×奥行27.0	台南芸術大学で制作／個人蔵
21	武村 和紀	日本・京都	旋	2018/ 平成30年	高51.0×幅18.5×奥行21.0	個人蔵
22	藤本 秀	日本・滋賀	ツインタワー	2000/ 平成12年	高48.0×幅17.0×奥行18.0／ 高44.5×幅16.0×奥行18.0	個人蔵
23	藤本 秀	日本・滋賀	聞く	2015/ 平成27年	高16.0×幅147.0×奥行42.0／ 高15.0×幅105.5×奥行42.0	個人蔵
24	藤本 秀	日本・滋賀	類円柱	2018/ 平成30年	高11.0×幅・奥行27.5	個人蔵
参考2	藤本 秀	日本・滋賀	テストピース(19点)	2018/ 平成30年	――	台南芸術大学で焼成／個人蔵
25	篠原 希	日本・滋賀	ワイルドクレイー輪挿し (ライルズビルクレイ)	2017/ 平成29年	高13.6×幅10.6×奥行7.9	クラフトスクール USで制作／ 個人蔵
26	篠原 希	日本・滋賀	ワイルドクレイー引出黒茶碗 (ライルズビルクレイ)	2017/ 平成29年	高8.1×口径10.6・11.0×胴径10.0・9.5× 底径5.5	クラフトスクール USで制作／ 個人蔵
27	篠原 希	日本・滋賀	ワイルドクレイー引出黒酒盃 (ペンランドクレイ)	2017/ 平成29年	高5.0×口径6.3・6.7×胴径7.2・6.8×底径4.0	クラフトスクール USで制作／ 個人蔵
28	篠原 希	日本・滋賀	スリッ酒盃 (ヘイスタック)	2017/ 平成29年	高5.7×口径6.3・6.0×胴径5.1×底径3.5	クラフトスクール USで制作／ 個人蔵
29	篠原 希	日本・滋賀	スリッツボガラ (ヘイスタック)	2017/ 平成29年	高4.2×幅・奥行15.7・13.2	クラフトスクール USで制作／ 個人蔵
30	篠原 希	日本・滋賀	須恵土平鉢	2018/ 平成30年	高4.5×口径17.9×底径6.6	クラフトスクール USで制作／ 個人蔵

No.	作者名	国名	作品名	制作年	寸法(cm)	備考
31	篠原 希	日本・滋賀	須恵土平鉢	2018/ 平成30年	高5.5×口径18.0・17.7×底径6.0	クラフトスクール USで制作/ 個人蔵
32	篠原 希	日本・滋賀	窯変大壺	2017/ 平成29年	高39.3×口径14.2×頸径11.0×胴径31.9× 底径14.2	個人蔵
33	白木 千華	日本・三重	THE WORLD	2016/ 平成28年	高45.0×幅46.0×奥行34.0	個人蔵
34	白木 千華	日本・三重	秋天一碧	2017/ 平成29年	高45.0×幅46.0×奥行34.0	個人蔵
35	山田 浩之	日本・滋賀	Floating Radish	2017/ 平成29年	高60.0×幅100.0×奥行130.0	個人蔵
36	山田 浩之	日本・滋賀	漆黒の神々シリーズ 大根神	2017/ 平成29年	高43.0×幅19.4×奥行15.6	個人蔵
37	山田 浩之	日本・滋賀	とらとら オクトパス	2018/ 平成30年	高27.2×幅31.6×奥行20.6	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
38	山田 浩之	日本・滋賀	とらとら 小壺	2018/ 平成30年	高8.2×口径4.6×胴径7.4×底径2.9	個人蔵
39	山田 浩之	日本・滋賀	ぶらつく たいがー 小壺	2018/ 平成30年	高9.2×口径4.4×胴径7.9×底径2.9	個人蔵
40	山田 浩之	日本・滋賀	とらとら 茶碗	2018/ 平成30年	高8.9×口径11.2・10.2×胴径10.8・10.5× 底径6.6	個人蔵
参考3	山田 浩之	日本・滋賀	テストピース(5点)	2018/ 平成30年	——	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
41	山田 浩之	日本・滋賀	流紋蓋物	2018/ 平成30年	高10.6(蓋付)×幅26.4×奥行20.0	個人蔵
42	山田 浩之	日本・滋賀	流紋茶碗	2019/ 平成31年	高9.1×口径10.5×底径5.4	個人蔵
43	山田 浩之	日本・滋賀	茶碗	2018/ 平成30年	高10.0×口径10.4・9.8×底径6.0/腰径10.5	個人蔵
44	山田 浩之	日本・滋賀	とらとら 茶入	2018/ 平成30年	高8.5(蓋付)×口径3.4×胴径6.3×底径4.2 高8.4(蓋付)×口径3.2×胴径7.0×底径3.0	個人蔵
45	田中 哲也	日本・滋賀	輝器 建水	2016/ 平成28年	高10.3×幅16.9・15.7×底径9.5・10.0	個人蔵
46	田中 哲也	日本・滋賀	輝器 水指	2016/ 平成28年	高18.0(蓋付)×口径20.5×底径12.9	個人蔵
47	田中 哲也	日本・滋賀	輝器 棗	2016/ 平成28年	高6.7(蓋付)×口径8.2×底径4.2 高5.9(蓋付)×口径8.2・8.4×底径3.5	個人蔵
48	田中 哲也	日本・滋賀	輝器 ヘキメンノシコウ	2018/ 平成30年	縦27.3×横27.2×奥行8.2	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
49	田中 哲也	日本・滋賀	永遠の炎	2018/ 平成30年	高21.0×幅8.0×奥行4.5	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
50	田中 哲也	日本・滋賀	輝器 茶碗 ホワイトブ ルー	2018/ 平成30年	高6.0×幅12.0×奥行12.5	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
51	田中 哲也	日本・滋賀	輝器 茶碗 グリーンイエ ロー	2018/ 平成30年	高6.5×幅12.5×奥行12.5	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
52	田中 哲也	日本・滋賀	輝器 - Cocoon	2018/ 平成30年	高55.0×幅32.0×奥行32.0	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
53	田中 哲也	日本・滋賀	輝器 - NOAH	2019/ 令和元年	高24.0×幅85.0×奥行13.0	個人蔵
54	大谷工作室	日本・滋賀	flower	2017/ 平成29年	高56.5×幅23.2×奥行23.2	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
55	大谷工作室	日本・滋賀	sleeping girl	2017/ 平成29年	高28.8×幅29.4×奥行26.6	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
56	大谷工作室	日本・滋賀	skull	2017/ 平成29年	縦6.4×横5.9×奥行4.3	ヨーロッパ・セラミック・ワーク センターで制作/個人蔵
57	岩村 遼	日本・滋賀	Neo Jomonシリーズ: Child/Child(Square) /Fever/Hat/Head /Falcon	2019/ 令和元年	高22.4×幅19.2×奥行19.6/高23.4×幅25.0× 奥行21.2×底径11.6/高22.3×幅23.7×奥行 22.6/高23.6×幅21.2×奥行19.8/高19.2×幅 27.8×奥行20.1/高19.8×幅24.6×奥行23.7	個人蔵

セクションⅡ 信楽での交流のなかで

No.	作者名	国名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
58	清水 卯一	日本・滋賀	信楽 壺	1999／平成11年	高33.5×胴径30.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FSC-004
59	今井 政之	日本・京都	象嵌彩闘鶏信楽壺	2000／平成12年	高57.5×胴径23.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FJ-041
60	和太 守卑良	日本・茨城	ワタシガラ器	2000／平成12年	高60.0×幅59.0×奥行51.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FJ-044
61	アラン・ワット	オーストラリア	マツモト青のツインピークス	1997／平成9年	高60.0×幅20.0×奥行11.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-036
62	アリソン・ブリッ	イギリス	未完	2010／平成22年	高21.2×幅30.9×奥行18.2	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-166
63	ヨリス・リンク	オランダ	トライボッド	2017／平成29年	高23.0×径30.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-220
66	城山陶器商事 (ナタリー・ラーデン マキ デザイン)	日本・滋賀	土鍋 “PATA”	2006／平成18年	高9.9×幅30.4×奥行24.0／径24.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FC-022
67	柳原 睦夫	日本・京都	終りからの始まり	2000／平成12年	高7.5×幅53.5×奥行36.5(1点)	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FC-008
68	橋本 知成	日本・滋賀	Untitled	2019／平成31年	高82.0×幅78.0×奥行50.0	個人蔵
69	ヴィクトル・ マヌエル・ファレス	ペルー	恋する鳥	2015／平成27年	高78.0×幅70.0×奥行40.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-188
70	リチャード・ トキン	アメリカ	20世紀の解決	2002／平成14年	高19.5×幅38.5×奥行36.5／高37.5×幅52.0×奥行35.5／高37.0×幅39.5×奥行35.5	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-125
71	キャサリン・ サントナス& 宮本 ルリ子	アメリカ／ 日本	日本とアメリカ合衆国の 協同制作	2013／平成25年	高4.0×幅23.0×奥行17.4／高3.4×幅20.7×奥行16.7／高3.0×幅23.0×奥行16.5／高5.0×幅20.5×奥行16.3／高4.2×幅21.0×奥行17.1	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FSC-069
72	トシコ・ タカエズ	アメリカ	信楽	1993／平成5年	高45.0×径42.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-012
73	ジェニファー・ リー	イギリス	色浅い3つの光の筋	2015／平成27年	高24.8×幅34.8×奥行33.9	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-189
74	マルタ・パッチョ ン・ロドリゲス	イタリア	信楽の風景	2016／平成28年	高19.0×幅28.0×奥行18.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-201
75	トニー・ ナツララス	アメリカ	アメリカン・タヌキ・イン・ジャ パン	2006／平成18年	高69.4×幅66.8×奥行39.2	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-150
76	金 理有	日本・ 神奈川	Shigaraki Mutation	2019／平成31年	高129.0×幅54.5×奥行51.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／個人蔵
77	ヴィルマ・ ヴァイバーデ	アルゼンチン	チェロの女の子	2017／平成29年	高80.0×幅39.0×奥行29.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-213
78	マテイアス・ リーマタイネン	フィンランド	イキバウラ	2017／平成29年	高60.0×幅40.0×奥行35.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館にて制作／FW-221
79	リチャード・ ショー	アメリカ	立つ婦人	1998／平成10年	高65.0×幅27.5×奥行37.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-048
80	マリリン・ レヴィン	アメリカ	ウォーターツ	2000／平成12年	高15.2×幅19.5×奥行9.5	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-077
81	マリリン・ レヴィン	アメリカ	シガ	2000／平成12年	高15.2×幅19.3×奥行10.4	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-078
82	ウォーレン・ マッケンジー	アメリカ	大皿	1999／平成11年	高8.5×幅44.0×奥行43.5	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FW-054
参考4	神山 三春	日本・滋賀	リーチ式蹴轆轤	1999／平成11年	高99.0×幅100.0×奥行84.0	公益財団法人滋賀県陶芸の森
83	近藤 高弘	日本・京都	Black & White Mist	2007／平成19年	高136.5×幅14.5×奥行14.5	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FJ-096
84	森野 彰人	日本・京都	方のかたち(青)	2009-2010／平成21-22年	高182.0×幅48.0×奥行48.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FJ-107
85	桑田 卓郎	日本・岐阜	無題	2016／平成28年	高195.0×幅42.5×奥行42.5	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FJ-116
86	黒川 徹	日本・京都	ψ(プシー)面体	2012／平成24年	高170.0×幅12.0×奥行76.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／FJ-110
87	小出 ナオキ	日本・千葉	Nursing Mamma	2011／平成23年	高127.0×幅47.0×奥行82.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作／J-394
88	塩谷 良太	日本・東京	物腰 (2018-4)	2018／平成30年	高190.0×幅117.0×奥行201.0	滋賀県立陶芸の森創作研修館で制作

没後60年特別展

「北大路魯山人 古典復興—現代陶芸をひらく—」

趣 旨 明治時代以降の日本の陶磁器は、江戸後期に発達した技巧を引き継ぎながら次第に近代的な個性のある作風を目指しました。大正から昭和戦前期にかけての時代には中国、朝鮮および日本の古陶磁に注目する陶芸家たちが現れるようになります。それはちょうどヨーロッパにおいてギリシア、ローマの古典を復興しようとしたルネサンスが新しい芸術世界を開いたことと同じであるといえるでしょう。陶芸家たちは近世から続く考証や新しい陶磁史の視点などを背景に、古陶磁の作風や過去の技法の復元を目指し、それを自からの足場とすることで、次第に新しい造形を築き上げました。

京都に生まれた北大路魯山人（1883-1959）は、はじめ書や篆刻の分野で活動し、30歳代終わりの1922（大正11）年に、生来の食に対する関心から「料理の着物」としての作陶に向かいます。それは単なる食器づくりではありませんでした。彼は中世以来日本文化の核となっていた茶道を基軸とするわが国の伝統に触れ、一挙に陶芸の古典復興を代表する存在となりました。その活動はまさに＜『美』を食す人＞と形容できるものです。かつて中国大陆や朝鮮半島からもたらされ、日本人によって守り伝えられたやきもの、そして日本で生み出された素朴な焼締めのやきものから鮮やかな色絵まで、長い年月をかけて積み重ねられてきたやきものの様々な美をすくい上げた魯山人の制作は、絶えず同時代の陶芸家たちを触発しました。本展覧会では、魯山人を中心に同時代の陶芸家たちの作品と、中国、朝鮮、日本陶磁など古典の名品も併せて展示し、現代陶芸の礎となった昭和時代を展望しました。

展示構成 I はじまりの中国陶磁—色絵・染付・青磁
 II 朝鮮半島のやきものへ—朝鮮陶磁、そして唐津・萩
 III 桃山陶へのあこがれ—織部・志野・黄瀬戸など
 IV 名工との対話—日本陶磁 色絵・染付など
 V 書・漆・画
 VI 枯淡の造形・土にかえる—信楽・伊賀・備前
 VII 現代陶芸をひらく
 特別展示・魯山人と信楽

会 期 令和元年9月14日(土)～12月1日(日) 67日間
 ※会期中に一部作品を展示替え
 前期：9月14日(土)～10月20日(日)
 後期：10月22日(火)～12月1日(日)

主 催 滋賀県立陶芸の森、中日新聞社、京都新聞



後 援 滋賀県教育委員会、甲賀市、NHK大津放送局

特別協力 世田谷美術館、八勝館

観 覧 料 一般800円（640円）、高大生600円（480円）、中学生以下無料

*（ ）内は20人以上の団体料金

入館者数 17,004人（1日平均 253.7人）

図 録 『没後北60周年 北大路魯山人古典復興 一現代陶芸をひらく一』

〔サイズ〕 A4版 タテ29.7×ヨコ21×厚2.5cm 325頁

〔内 容〕 あいさつ／目次／文章：「日本のやきもの」（北大路魯山人）／カラー図版と作品解説／文章：「昭和初期の陶芸家と古窯址発掘」（滋賀県立陶芸の森 大槻倫子）、「獨歩一北大路魯山人の作陶と古典復興の時代」（藁科英也）、「『十三松堂日記』にみる魯山人、星ヶ岡茶寮とその周辺」（藁科英也）／年譜抄／作家解説／出品リスト

関連行事 (1)ギャラリー・トーク 担当学芸員による展覧会解説

〔日 時〕 10月13日（日） *13時30分～15時

〔参加者〕 23人

(2)しがらき学体験講座「信楽水指・茶碗をつくる」

〔日 時〕 10月27日(日) 10時30分～16時

〔講 師〕 五代 高橋 楽斎（信楽・陶芸家）

〔会 場〕 信楽産業展示館 創作室

〔参加者〕 19人

(3)子ども向け体験講座「お団子ねんどからお皿ができる！」

〔日 時〕 10月6日(日) 10時～15時

〔講 師〕 神山 清子、宮本 ルリ子

〔会 場〕 信楽産業展示館 創作室

〔参加者〕 17人

団体案内	9月19日(木)	有田川町教育委員会	20名
		クラブツーリズム	21名
	9月29日(日)	クラブツーリズム	23名
	9月25日(水)	瀬戸市美術館ボランティア	11名
	10月24日(木)	蒲生北小学校	67名
	10月25日(金)	大津市下阪本小学校	
	11月30日(土)	びわ湖成蹊スポーツ大学	

掲載記事等

(1)新聞

8月26日 中日新聞社 おでかけガイド9月

9月1日 新美術新聞 2019年年度下半期展覧会カレンダー

9月12日 京都新聞朝刊 特集記事「北大路魯山人 古典復興 古の美 いま一度」

9月14日 中日新聞朝刊 滋賀版「魯山人の作陶 偉大な足跡」

9月15日 京都新聞朝刊 ミュージアムガイド&「多才な魯山人 名品一堂」
 9月19日 朝日新聞朝刊滋賀版「陶芸の名品 信楽に集結・日本の美魯山人が昇華」
 9月27日 京都新聞 週刊トマト
 9月30日 中日新聞 おでかけガイド 10月
 10月16日 中日新聞 朝刊滋賀県版 没後60年北大路魯山人連載 1
 10月17日 中日新聞 朝刊 没後60年北大路魯山人連載 2
 10月18日 中日新聞 朝刊滋賀県版 没後60年北大路魯山人連載 3
 10月19日 中日新聞 朝刊滋賀県版 没後60年北大路魯山人連載 4
 10月19日 中日新聞 朝刊伊賀版 没後60年北大路魯山人連載 2
 10月20日 中日新聞 朝刊伊賀版 没後60年北大路魯山人連載 3
 10月20日 中日新聞 朝刊滋賀県版 没後60年北大路魯山人連載 5
 10月21日 中日新聞 朝刊滋賀県版 没後60年北大路魯山人連載 6
 10月22日 中日新聞 朝刊滋賀県版 没後60年北大路魯山人連載 7
 10月22日 中日新聞 朝刊伊賀版 没後60年北大路魯山人連載 4
 10月24日 中日新聞 朝刊伊賀版 没後60年北大路魯山人連載 5
 10月25日 中日新聞 朝刊西濃版 没後60年北大路魯山人連載 1
 10月26日 中日新聞 朝刊伊賀版 没後60年北大路魯山人連載 6
 10月26日 中日新聞 朝刊西濃版 没後60年北大路魯山人連載 2
 10月26日 中日新聞 朝刊滋賀県版 「魯山人の美意識 味わって「写し」の器で再現メニュー」
 10月27日 中日新聞 朝刊伊賀版 没後60年北大路魯山人連載 7
 10月29日 中日新聞 朝刊西濃版 没後60年北大路魯山人連載 3
 10月30日 京都新聞 朝刊 没後60年北大路魯山人展
 10月31日 中日新聞 朝刊西濃版 没後60年北大路魯山人連載 4
 11月1日 中日新聞 朝刊西濃版 没後60年北大路魯山人連載 5
 11月2日 中日新聞 朝刊西濃版 没後60年北大路魯山人連載 6
 11月6日 中日新聞 朝刊西濃版 没後60年北大路魯山人連載 7
 11月13日 京都新聞 朝刊 没後60年北大路魯山人展

(2)雑誌、フリーペーパー

4月1日 UC Card Magazin『てんとう虫』4月号 「特集 魯山人の嗜み」
 7月1日 『ギャラリーガイドブック』 展覧会情報
 9月1日 『陶工房』 展覧会案内
 9月1日 『GALLERY 9』『Schedule Museum』 北大路魯山人展 関連行事
 10月1日 『湖国と文化』 第169号 広告
 10月1日 『読売Life』 「てくてく」 北大路魯山人展 普及啓発
 10月20日 『れいかる』 美術館・博物館
 『れいかる』 9月・10月号 北大路魯山人展／『れいかる』 10月・11月号「Zoom UP」
 11月1日 『炎芸術』 展覧会スケジュール／『月刊 茶の間』 「信楽焼ってどんなやきもの？」
 ／『GALLERY』『Schedule Museum』 インターネット関係
 11月25日 『Duet』 2019秋・Vol.133 北大路魯山人展

(3)インターネット関係（抜粋）

10月7日～11月3日 web滋賀県観光情報 北大路魯山人展
 9月12日～12月1日 アート&イベント情報サイト [ことしるべ] 北大路魯山人展
 「特集、イベント情報」
 9月12日～12月1日 中日新聞プラス 北大路魯山人展

11月18日 京都新聞アート&イベント情報サイト[ことしるべ] 特集連載「紅葉と桜の器「雲錦鉢」」

11月27日 京都新聞 アート&イベント情報サイト[ことしるべ] 特集連載「魯山人と信楽」

■アンケート集計結果

入館者数	17,004人(1日平均253.7人)*67日間		
会期	2019(令和元)年9月14日(土)~12月1日(日)		
回答者数	253人		
回答率	1.4%		
性別	男性	115人	49%
	女性	118人	50%
	無回答	1人	0%
住所	北海道・東北	1人	0%
	関東・甲信越	1人	0%
	首都圏	3人	1%
	北陸	2人	1%
	東海	32人	14%
	滋賀県	124人	55%
	京阪神	49人	22%
	奈良・和歌山	10人	4%
	中国	2人	1%
	四国	2人	1%
	九州・沖縄	0人	0%
	その他(含無回答)	1人	0%
展覧会評価	大変満足	107人	46%
	満足	86人	37%
	普通	32人	14%
	やや不満	3人	1%
	不満	2人	1%
	無回答	4人	2%
再来館	思う	207人	88%
	思わない	18人	8%
	無回答	9人	4%
目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	151人	59%
	陶芸の森のイベント	18人	7%
	町内のイベント	2人	1%
	陶器の購入	13人	5%
	旅行社ツアー	0人	0%
	MIHO MUSEUM	15人	6%
	学校行事	10人	4%
	その他	46人	18%
	無回答	3人	1%

■作品リスト

	作者名等	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質	所蔵先	備考
I. はじまりの中国陶磁－色絵・染付・青磁							
1	福田大親(北大路魯山人)	赤地銀彩文字急須	1915 (大正4)年	高5.5×幅9.0×奥行8.0	磁器	加賀市美術館	
2	初代宮永東山 (魯山人補作)	青磁双魚文小鉢	1924 (大正13)年	高3.3×口径16.8×底径8.8	磁器	個人蔵	
3	北大路魯山人(星岡窯印)	青磁双魚文中鉢	1924 (大正13)年頃	高5.7×口径21.3×底径8.5	磁器	個人蔵	
4	北大路魯山人	青磁双魚文小付	制作年不詳	高3.3×口径10.7×底径5.1	磁器	個人蔵	
5	北大路魯山人(星岡窯印)	青磁文字徳利	1924 (大正13)年頃	各 高14.1×口径2.8×胴径7.6×底径6.5	磁器	個人蔵	
6	北大路魯山人(星岡窯印)	染付吹墨貴字向付	1924 (大正13)年頃	高2.8×口径15.3×底径6.5	磁器	個人蔵	
7	北大路魯山人	赤呉須水注	1927 (昭和2)年	高8.5×最大幅7.3×胴径6.5	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
8	荒川豊蔵	染付馬絵水指	1929 (昭和4)年	高12.7×幅21.2×奥行20.5	陶器	荒川豊蔵資料館	
9	北大路魯山人	染付文字觚形花入	制作年不詳	高25.4×口径17.8× 胴径8.7×底径11.3	磁器	中野邸記念館	
10	北大路魯山人	赤絵金襴手酒盃	1935-44 (昭和10年代)	各 高3.5×口径6.2	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
11	北大路魯山人	色絵魚藻文染付鮑形鉢	1935-44 (昭和10年代)	高6.3×幅29.0×奥行20.0	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
12	北大路魯山人	赤呉須徳利	1935-44 (昭和10年代)	各 高12.0×胴径9.0	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
13	北大路魯山人	染付竹文皿	1935-44 (昭和10年代)	高4.2×口径35.9	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
14	北大路魯山人	染付吹墨竹絵水指	1935-44 (昭和10年代)	高20.1×最大径14.0	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
15	北大路魯山人	染付山水文開扇形香合	1937 (昭和12)年	高3.2×幅7.6×奥行6.8	磁器	逸翁美術館	碧南会場の のみ出品
16	北大路魯山人	染付福字皿	1937 (昭和12)年頃	高2.8×口径21.2	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
17	北大路魯山人	染付福字皿	1937 (昭和12)年頃	高2.0×口径22.0	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
18	北大路魯山人	萌葱金襴手鳳凰文煎茶碗	1939 (昭和14)年	各 高5.5×口径8.3×底径3.7	磁器	中野邸記念館	
19	北大路魯山人	色絵文字皿	1939 (昭和14)年頃	高3.4×口径28.2	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
20	北大路魯山人	染付花鳥図花入	1939 (昭和14)年頃	高29.5×胴21.0	磁器	京都国立 近代美術館	
21	石黒宗磨	白瓷黒絵双魚盆	1940 (昭和15)年頃	高7.5×口径23.6×底径16.2	陶器	愛知県陶磁美術館 (川崎音三氏寄贈)	
22	北大路魯山人	染付葡萄文鉢	1941 (昭和16)年	高12.3×口径21.0	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
23	北大路魯山人	色絵赤玉見込春字向付 (赤絵碗形向付)	1941 (昭和16)年	高5.7×口径12.0	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
24	北大路魯山人	白金襴手宝相華唐草文 向付	1941 (昭和16)年	高6.0×口径12.4	磁器	京都国立 近代美術館	
25	北大路魯山人	赤絵双魚文皿 (赤絵魚文皿)	1941 (昭和16)年頃	高1.8×口径28.5	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
26	北大路魯山人	染付詩文大花入	1941 (昭和16)年頃	高33.6×口径14.2×胴径24.8×底径16.9	磁器	八勝館	
27	北大路魯山人	赤絵筋文中皿	1950 (昭和25)年	高5.0×口径30.8	磁器	京都国立 近代美術館	
28	加藤土師萌	紅地金彩縷紅草文壺	1952 (昭和27)年	高15.0×胴径17.0	磁器	瀬戸市美術館	
29	加藤土師萌	傲嘉靖黄地赤彩角皿 五枚	1953 (昭和28)年	各 高3.8×幅19.1×奥行18.8	磁器	京都国立 近代美術館	
30	石黒宗磨	木葉天目 (黒釉葉文平茶碗)	1955 (昭和30)年頃	高6.2×口径16.6×底径5.0	陶器	愛知県陶磁美術館 (川崎音三氏寄贈)	
31	石黒宗磨	赤絵水指	1966 (昭和41)年	高14.8×胴径14.0底径7.0	陶器	愛知県陶磁美術館 (川崎音三氏寄贈)	
32	中国・龍泉窯	青磁双魚文鉢	13C後半 (宋・元)	高4.8×口径21.4底径8.7	磁器	愛知県美術館 (木村定三コレクション)	
33	中国・景德鎮窯	青花藻魚図甕	1573-1620 (明・萬暦年間)	高34.6×口径40.5×底径24.6	磁器	八勝館 (魯山人旧蔵)	
34	中国・景德鎮窯	古染付卷貝形向付	17C (明)	各 高4.5～4.9×幅19.0×奥行11.4～11.8	磁器	愛知県美術館 (木村定三コレクション)	
35	中国・景德鎮窯	古染付山水文開扇形香合	17C (明)	高2.7×幅6.8×奥行5.0	磁器	逸翁美術館 (魯山人旧蔵)	碧南会場の のみ出品

	作者名等	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質	所蔵先	備考
36	中国・景德鎮窯	古染付葡萄文水指	17C (明)	高18.6×最大径20.4× 底径14.4	磁器	逸翁美術館 (魯山人旧蔵)	滋賀会場 のみ出品
37	奥田颯川	赤呉須仙蓋瓶	18C (江戸時代後期)	高25.5×幅22.5×胴径10.0	磁器	銀座 黒田陶苑 (魯山人旧蔵)	
Ⅱ. 朝鮮半島のやきものへー朝鮮陶磁、そして唐津・萩							
38	北大路魯山人	彫三島茶碗	1928-30 (昭和3-5)年頃	高6.4×口径17.7×底径5.2	陶器	銀座 黒田陶苑	
39	加藤土師萌	萩茶碗	20C前半 (昭和前期)	高7.5×口径14.0	陶器	瀬戸市美術館	
40	北大路魯山人	刷毛目寿字鉢	1935-44 (昭和10年代)	高8.4×口径18.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
41	北大路魯山人	刷毛目茶碗	1935-44 (昭和10年代)	高6.5×口径14.3	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
42	北大路魯山人	刷毛目茶碗	1935-44 (昭和10年代)	高6.5×口径15.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
43	北大路魯山人	刷毛目平茶碗	制作年不詳	高6.3×口径15.8×底径4.2	陶器	逸翁美術館	千葉会場 のみ出品
44	北大路魯山人	黄伊羅保茶碗	1935-44 (昭和10年代)	高6.0×口径15.3	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
45	北大路魯山人	皮鯨茶碗	1935-54 (昭和10-20年代)	高6.6×口径13.4	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
46	北大路魯山人	彫三島茶碗	1936-37 (昭和11-12)年頃	高5.5×口径14.0×底径4.7	陶器	銀座 黒田陶苑	
47	石黒宗磨	三島茶碗(三嶋茶盃)	1940 (昭和15)年頃	高9.0×口径12.0×底径5.0	陶器	個人蔵	
48	石黒宗磨	斑唐津茶碗	1940-49 (昭和15-24)年頃	高7.4×口径9.7	陶器	東京国立 近代美術館	
49	北大路魯山人	呉須辰砂葡萄文大壺	1941 (昭和16)年頃	高40.4×胴径32.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
50	川喜多半泥子	井戸手茶碗 銘 「雨後夕陽」	1941 (昭和16)年頃	高9.3×口径15.9×底径6.9	陶器	石水博物館	
51	川喜多半泥子	三島手茶碗 銘 「一とめぐり」	1947-50 (昭和22-25)年頃	高9.6×口径13.1×底径6.0	陶器	石水博物館	
52	北大路魯山人	総織部福寿字文扁壺	制作年不詳	高21.6×幅22.0×奥行13.4	陶器	中野邸記念館	
53	川喜多半泥子	粉引茶碗 銘 「たつた川」	1945-54 (昭和20年代)	高9.3×最大径12.0× 底径5.4	陶器	石水博物館	
54	川喜多半泥子	灰釉四方台皿	1951 (昭和26)年頃	高6.8×幅23.5×奥行24.2	陶器	石水博物館	
55	石黒宗磨	唐津木瓜水指	1955-60 (昭和30-35)年	高14.0×最大径22.0	陶器	愛知県陶磁美術館 (川崎音三氏寄贈)	
56	加藤土師萌	銕絵小皿	20C前半 (昭和前期)	各 高1.8×口径10.5	陶器	逸翁美術館	滋賀会場 のみ出品
57	朝鮮 粉青沙器	粉青線刻草花文扁壺	15後半-16C前半 (朝鮮王朝時代)	高20.2×幅8.5×奥行4.5	陶器	愛知県美術館 (木村定三コレクション)	
58	朝鮮 高麗茶碗	大井戸茶碗 銘 「明の井戸」	16C (朝鮮王朝時代)	高6.0×口径16.7×底径5.0	陶器	愛知県美術館 (木村定三コレクション)	
59	朝鮮 高麗茶碗	雨漏堅手茶碗 銘 「富士」	16-17C (朝鮮王朝時代)	高8.8×口径13.6×底径6.3	陶器	石水博物館	
60	朝鮮 高麗茶碗	熊川茶碗	17C (朝鮮王朝時代)	高8.6×口径13.6×底径6.2	陶器	愛知県美術館 (木村定三コレクション)	
61	朝鮮 粉青沙器	粉青扁壺(扁壺)	制作年代不詳 (朝鮮王朝時代)	高19.2×幅17.8×奥行9.2	陶器	個人蔵	
Ⅲ. 桃山陶へのおこがれー織部・志野・黄瀬戸など							
62	北大路魯山人	絵瀬戸鉢	20C前半 (昭和初期)	高9.3×口径21.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
63	荒川豊蔵	織部鶯の絵鉢	1933 (昭和8)年	高7.4×口径19.2～20.4×底 径11.6	陶器	荒川豊蔵資料館	
64	荒川豊蔵	鼠志野獅子香炉	1935 (昭和10)年4月	高16.0×幅21.1×奥行12.8	陶器	荒川豊蔵資料館	
65	北大路魯山人	総織部四方向付	1937 (昭和12)年頃	各 高8.9×幅11.4× 奥行11.3	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
66	加藤唐九郎	織部向付	1940 (昭和15)年頃	各 高5.8×幅15.5× 奥行12.6	陶器	銀座 黒田陶苑	
67	荒川豊蔵	瀬戸黒茶碗	1941 (昭和16)年	高8.8×口径12.2	陶器	個人蔵	
68	北大路魯山人	志野筍絵筒茶碗	1941 (昭和16)年頃	高7.5×口径9.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
69	川喜多半泥子	瀬戸黒茶碗 銘「宿帳」	1942 (昭和17)年	高9.1×口径13.1× 底径4.9～5.5	陶器	荒川豊蔵資料館	
70	北大路魯山人	紅志野沓茶碗 (絵志野ゆがみ茶碗)	1943 (昭和18)年	高6.9×幅11.0×奥行9.4× 底径5.2	陶器	八勝館	

	作者名等	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質	所蔵先	備考
71	北大路魯山人	織部かすみ平鉢	1935-44 (昭和10年代)	高4.0×口径35.7	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
72	北大路魯山人	総織部大鉢	1935-44 (昭和10年代)	高8.9×口径24.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
73	北大路魯山人	総織部灰皿	1935-44 (昭和10年代)	高6.0×最大径16.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
74	北大路魯山人	志野葡萄文平鉢	1935-44 (昭和10年代)	高3.0×口径34.6	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
75	北大路魯山人	志野香合 銘「くづや」	1935-44 (昭和10年代)	高4.5×最大径6.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
76	北大路魯山人	志野茶碗	1935-44 (昭和10年代)	高8.9×口径12.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
77	北大路魯山人	鉄絵皿	1935-44 (昭和10年代)	高2.2×口径16.2	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
78	北大路魯山人	鉄釉土釜 「利根坊耳を作る」	1935-44 (昭和10年代)	高13.8×最大径20.4	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
79	北大路魯山人	黄瀬戸香合	1935-44 (昭和10年代)	高2.8×口径6.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
80	川喜田半泥子	志野茶碗 銘「不動」	1935-44 (昭和10年代)	高9.0×口径11.5×底径5.8	陶器	石水博物館	
81	加藤唐九郎	古瀬戸写印花飴釉瓶子 花入(瀬戸飴釉長頸瓶)	1935-44 (昭和10年代)	高29.6×口径8.5×胴径15.5 ×底径9.6	陶器	逸翁美術館	千葉会場の み出品
82	北大路魯山人	織部桶鉢	1935-54 (昭和10-20年代)	高30.3×口径22.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
83	北大路魯山人	総織部櫛目寿文四方隅 切平鉢	1935-54 (昭和10-20年代)	高4.2×幅22.7×奥行22.6	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
84	北大路魯山人	織部扇面形鉢	1935-54 (昭和10-20年代)	高7.8×幅29.8×奥行27.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
85	北大路魯山人	総織部鉦鉢	1935-54 (昭和10-20年代)	高8.6×径21.9	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
86	北大路魯山人	織部草文八角深向付	1935-54 (昭和10-20年代)	高9.3×径8.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
87	北大路魯山人	織部分銅形深向付	1935-54 (昭和10-20年代)	高7.7×径7.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
88	北大路魯山人	織部深向付	1935-54 (昭和10-20年代)	高7.5×径6.8	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
89	北大路魯山人	織部三角深向付	1935-54 (昭和10-20年代)	高11.5×幅8.3×奥行7.3	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
90	北大路魯山人	織部しのぎ湯のみ	1935-54 (昭和10-20年代)	高8.2×径7.8	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
91	北大路魯山人	織部しのぎ湯のみ	1935-54 (昭和10-20年代)	高9.2×径7.4	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
92	北大路魯山人	志野魚文皿	1935-54 (昭和10-20年代)	高2.3×口径24.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
93	北大路魯山人	黄瀬戸筒茶盃	1935-54 (昭和10-20年代)	高8.0×径10.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
94	北大路魯山人	黄瀬戸筒茶盃 (黄瀬戸写茶碗)	制作年不詳	高7.7×口径11.8×底径10.3	陶器	橋本美術	
95	北大路魯山人	織部土瓶	1949 (昭和24)年頃	高9.7×胴径12.7	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
96	北大路魯山人	織部秋草文俎鉢	1949 (昭和24)年頃	高4.8×幅49.6×奥行25.2	陶器	八勝館	
97	北大路魯山人	絵織部傘形向付	1949 (昭和24)年頃	各 高4.7×幅17.6×奥行 15.0	陶器	八勝館	
98	北大路魯山人	絵瀬戸線文土瓶	1949 (昭和24)年頃	高20.2×幅20.5×口径9.4× 胴径16.5×底径8.8	陶器	八勝館	
99	北大路魯山人	絵瀬戸汁次	制作年不詳	高8.1×幅10.2×口径2.2×胴 径7.0×底径6.5	陶器	逸翁美術館	碧南会場の み出品
100	北大路魯山人	織部鳥文鉢	1951 (昭和26)年	高6.1×幅19.8×奥行18.7	陶器	京都国立 近代美術館	
101	北大路魯山人	黄瀬戸あやめ四方平向	1951 (昭和26)年	各 高2.8～4.3×幅20.0× 奥行20.0	陶器	京都国立 近代美術館	
102	北大路魯山人	志野銀彩大丸鉢	1951 (昭和26)年頃	高8.5×口径38.1×底径17.3	陶器	八勝館	
103	北大路魯山人	絵瀬戸草虫文壺	1952 (昭和27)年	高30.6×胴径24.5	陶器	北村美術館	
104	北大路魯山人	紅志野秋草文水指	1953 (昭和28)年頃	高18.0×口径11.4×胴径 15.0×底径14.4	陶器	八勝館	
105	北大路魯山人	織部間道文俎皿	1953 (昭和28)年頃	高8.4×幅45.3×奥行23.9	陶器	八勝館	
106	荒川豊蔵	黄瀬戸破竹花入	1954 (昭和29)年	高26.6×口径9.5～12.2×底 径8.6	陶器	荒川豊蔵資料館	碧南・千葉会場の み出品

	作者名等	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質	所蔵先	備考
107	加藤土師萌	青織部鉢	1954 (昭和29)年頃	高9.5×口径23.3×底径11.9	陶器	愛知県陶磁美術館 (川崎音三氏寄贈)	
108	北大路魯山人	絵瀬戸鳥文皿	1956 (昭和31)年頃	各 高3.0×口径19.5× 底径14.5	陶器	八勝館	
109	北大路魯山人	志野酒呑	1957 (昭和32)年頃	高4.5×口径5.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
110	北大路魯山人	紅志野酒呑	1957 (昭和32)年頃	高4.4×口径5.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
111	北大路魯山人	横行君子平向	1957 (昭和32)年頃	高3.6×最大径17.8	陶器	八勝館	
112	北大路魯山人	赤志野茶碗	1945-59 (昭和20-34)年	高8.0×口径10.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
113	北大路魯山人	瀬戸黒茶碗	1945-59 (昭和20-34)年	高7.3×口径12.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
114	北大路魯山人	麦藁手飯茶碗	1945-59 (昭和20-34)年	各 高7.3×口径10.8	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
115	北大路魯山人	鼠志野輪花台鉢	制作年不詳	各 高4.6×口径13.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
116	北大路魯山人	志野茶碗	制作年不詳	高8.2×口径10.4～10.8×底 径4.9～5.2	陶器	八勝館	
117	北大路魯山人	光悦意茶碗	制作年不詳	高7.5×口径10.4～11.5×胴 径11.0～11.4×底径10.5	陶器	八勝館	
118	出土品、補作／石黒宗磨	美濃出土山茶碗	1952-56 (昭和27-31) 年頃補作	高6.5×径16.5	陶器	東京国立 近代美術館	
119	荒川豊蔵	黄瀬戸手桶水指	1958 (昭和33)年	高29.0×最大径23.0	陶器	愛知県陶磁美術館 (川崎音三氏寄贈)	
120	荒川豊蔵	志野筒絵茶碗 銘 「随縁」	1961 (昭和36)年	高10.0×径10.5×底径6.0	陶器	荒川豊蔵資料館	碧南・千葉会場の のみ出品
121	瀬戸	灰釉陰刻牡丹文瓶子 (灰釉劃花文瓶子)	14C (鎌倉)	高26.7×口径3.9×胴径17.2 ×底径9.9	陶器	愛知県陶磁美術館	
122	瀬戸	灰釉陰刻魚文四耳壺	14C (室町)	高33.5×口径12.0×胴径 23.8×底径10.5	陶器	愛知県陶磁美術館	
123	美濃	志野筒茶碗	16C (桃山)	高11.0×口径9.8×底径5.7	陶器	荒川豊蔵資料館	
124	美濃	志野茶碗 銘「鵬」	16C末 (桃山)	高13.7×口径13.0～13.7× 底径6.8	陶器	愛知県美術館 (木村定三コレクション)	
125	長次郎	赤楽茶碗 銘「栗鼠」	16C末 (桃山)	高8.1×口径10.4×底径5.6	陶器	石水博物館	
126	長次郎	黒楽茶碗	16C末 (桃山)	高8.4×口径10.2×底径5.5	陶器	石水博物館	
127	瀬戸	瀬戸黒茶碗	16C末 (桃山)	高11.4×口径9.9～10.3×底 径5.8～6.0	陶器	荒川豊蔵資料館	
128	美濃（高根古窯出土）	美濃唐津薄絵茶碗	16C末-17C初 (桃山)	高8.5×幅16.8×奥行11.9× 底径7.4	陶器	荒川豊蔵資料館 (魯山人旧蔵)	
129	美濃	古志野ヨビ継茶碗	16C末-17C初 (桃山)	高9.2×口径13.3～13.7×底 径7.1	陶器	個人蔵 (魯山人旧蔵)	
130	美濃	絵織部獅子香炉	16C末-17C初 (桃山)	高11.0×幅17.0×奥行13.5	陶器	個人蔵 (魯山人旧蔵)	
131		黒茶碗 銘「不動」	16C末-17C初 (桃山-江戸)	高7.6×口径12.7×底径4.9	陶器	愛知県美術館 (木村定三コレクション)	
132	美濃	赤織部鹿文茶碗	17C (桃山)	高6.9×口径12.2×底径6.8	陶器	土岐市 美濃陶磁歴史館	
133	伝 本阿弥光悦	赤楽茶碗 銘「松韻」	17C (江戸)	高9.3×幅9.7～10.3×底径 4.0	陶器	石水博物館	
Ⅳ. 名工との対話―色絵・染付（日本系）―							
134	北大路魯山人	色絵双魚文皿 (色絵魚文皿)	20C前半 (昭和初期)	高2.5×口径22.0	磁器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
135	北大路魯山人	乾山風梅椿図手付鉢	1928 (昭和3)年	高8.5×幅23.5×奥行23.0	陶器	加賀市美術館	
136	北大路魯山人	乾山風松竹梅図手付鉢	1928 (昭和3)年	高8.5×幅23.5×奥行23.0	陶器	石川県九谷焼美術 館	
137	北大路魯山人	色絵龍田川向付	1934 (昭和9)年頃	(紫)高4.4×幅18.0×奥行 15.9	陶器	八勝館	
138	北大路魯山人	雲錦大鉢	1940 (昭和15)年	高22.5×幅46.8×奥行33.6	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
139	北大路魯山人	雲錦鉢	1940 (昭和15)年	高13.1×口径27.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
140	北大路魯山人	雲錦鉢	1940 (昭和15)年	高11.5×口径22.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
141	北大路魯山人	椿文鉢	1940 (昭和15)年頃	高10.9×口径22.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	

	作者名等	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質	所蔵先	備考
142	北大路魯山人	椿文鉢	1940 (昭和15)年頃	高10.8×口径23.4	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
143	北大路魯山人	乾山写染付八角向付	1941 (昭和16)年頃	高3.4×幅14.3×奥行13.4	陶器	八勝館	
144	川喜田半泥子	茶杓 銘「乾山」	1941 (昭和16)年	長18.6	竹	石水博物館	
145	北大路魯山人	色絵葡萄文扇形鉢	1943 (昭和18)年頃	高8.0×幅28.5×奥行24.5	陶器	滋賀県立 陶芸の森 陶芸館	
146	北大路魯山人	富士鉢	1935-44 (昭和10年代)	高12.2×口径24.8	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
147	北大路魯山人	乾山風金彩絵替向付	1949 (昭和24)年頃	各 高1.4×口径16.0	陶器	八勝館	
148	北大路魯山人	色絵金彩雲錦鉢	1950 (昭和25)年頃	高18.1×口径32.0× 底径12.0	陶器	八勝館	
149	北大路魯山人	銀彩色絵双魚文四方皿	1955 (昭和30)年	高3.8×幅33.5×奥行30.0	陶器	北村美術館	
150	尾形乾山	絵高麗写花唐草文碗 (伝 鳴滝窯出土)	1699-1731 (江戸初期)	高6.2×口径11.9×底径5.8	陶器	個人蔵	
151	尾形乾山	絵高麗瑞雲唐草文碗 (伝 鳴滝窯出土)	1699-1731 (江戸初期)	高6.3×口径12.3~12.7× 底径6.3	陶器	個人蔵	
152	尾形乾山	色絵吉野山の絵飾皿	18C前半 (江戸)	高4.1×幅11.7×奥行11.4	陶器	荒川豊蔵資料館	
153	尾形乾山	色絵草花文匏目皿	18C前半 (江戸)	各 高1.5×幅19.5× 奥行19.2	陶器	石水博物館	
154	尾形乾山	染付阿蘭陀写草花文角 向付	18C前半 (江戸)	各 高4.2×幅12.0× 奥行11.7	陶器	石水博物館	
155	仁阿弥道八	色絵雲錦鉢	19C前半 (江戸)	高16.7×口径39.0×底径 16.6	陶器	サントリー美術館	
V. 漆・書画							
156	北大路魯山人	天上天下唯我独尊	1940 (昭和15)年	23.7×71.0	紙本墨書	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
157	北大路魯山人	一閑張瓢文字盆	1926 (大正15)年	高2.6×口径32.5	漆器・ 一閑張	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
158	北大路魯山人	日月碗 5点	1937 (昭和12)年	各 高11.0×口径12.8	漆器・ 一閑張	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
159	北大路魯山人	木の葉盆(赤)	1935-54 (昭和10-20年 代)	高2.4×口径22.5	漆器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
160	北大路魯山人	木の葉盆(黄)	1935-54 (昭和10-20年代)	高2.3×口径22.5	漆器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
161	北大路魯山人	桃山風碗	1944 (昭和19)年	各 高12.1×口径13.7	漆器	京都国立 近代美術館	
162	荒川豊蔵	こぼれ梅蓋付碗	1979 (昭和54)年	各 蓋:高2.2×最大径13.5/ 碗:高4.9×最大径12.3	漆器	北村美術館	
163	北大路魯山人	景德鎮陶録陶成図	1940 (昭和15)年頃	29.5×71.0	絹本着色	割烹 中嶋	
164	北大路魯山人	大明製染付鉢図	1941 (昭和16)年	40.0×50.8	絹本着色	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
165	北大路魯山人	白猫(猫)	1941 (昭和16)年	27.0×24.0	絹本着色 (色紙)	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
166	北大路魯山人	年魚図	制作年不詳	39.8×51.3	絹本着色	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
167	北大路魯山人	不老椿図	制作年不詳	45.2×56.6	絹本着色	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
168	伝 南浦紹明 (円通大應国師)	獨歩	13C後半-14C初 (鎌倉)	29.5×56.4	紙本墨書	八勝館(魯山人旧蔵)	
VI. 枯淡の造形—信楽・伊賀・備前—							
169	川喜田半泥子	伊賀水指 銘「慾袋」	1940 (昭和15)年	高18.0×最大径22.0	陶器	石水博物館	千葉会場 のみ出品
170	北大路魯山人	倣古伊賀水指	1941 (昭和16)年頃	高25.5×幅21.6×奥行19.4	陶器	八勝館	
171	北大路魯山人	備前風平鉢	1935-44 (昭和10年代)	高6.3×最大径28.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
172	北大路魯山人	伊賀釉長鉢	1935-44 (昭和10年代)	高3.0×幅39.0×奥行20.0	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
173	北大路魯山人	竹形花入	1935-44 (昭和10年代)	高27.0×最大径9.4	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	
174	金重陶陽	備前茶入	1935-44 (昭和10年代)	高8.4×胴径6.9	陶器	石水博物館	
175	北大路魯山人	信楽角向付	1935-54 (昭和10-20年代)	高14.3×幅17.5	陶器	世田谷美術館 (塩田コレクション)	

	作者名等	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質	所蔵先	備考
176	北大路魯山人	備前秋草文組鉢	1952 (昭和27)年頃	高5.4×幅45.6×奥行23.1	陶器	八勝館	
177	北大路魯山人	備前木ノ葉鉢	1953 (昭和28)年頃	高6.7×幅32.8×奥行26.6	陶器	八勝館	
178	金重陶陽	備前四方皿	1954 (昭和29)年頃	高2.6×幅25.7×奥行25.7	陶器	愛知県陶磁美術館 (川崎音三氏寄贈)	
179	北大路魯山人	信楽土平鉢	1956 (昭和31)年	高11.7×径42.6	陶器	京都国立 近代美術館	
180	北大路魯山人	信楽糸瓜花生	1957 (昭和32)年	高23.5×胴径22.3	陶器	京都国立 近代美術館	
181	北大路魯山人	信楽灰被大壺	1957 (昭和32)年	高56.5×胴径47.0	陶器	神奈川県立近代美術館	
182	北大路魯山人	伊部大平鉢	1957 (昭和32)年頃	高5.7×幅34.5×奥行33.1	陶器	八勝館	
183	北大路魯山人	備前大手桶	1958 (昭和33)年	高38.2×径26.0	陶器	京都国立 近代美術館	
184	北大路魯山人	備前土武蔵野 意四方大鉢	制作年不詳	高5.1×幅28.2×奥行28.4	陶器	八勝館	
185	北大路魯山人	伊賀釉繪垣文壺	制作年不詳	高32.0×口径13.6× 胴径28.6×底径15.3	陶器	八勝館	
186	北大路魯山人	信楽一葉皿	制作年不詳	各 高3.3×口径8.7	陶器	逸翁美術館	滋賀会場の み出品
187	北大路魯山人	銀彩古代形花入	制作年不詳	高27.5×胴径21.0×底径9.5	陶器	銀座 黒田陶苑	
188	川喜田半泥子	胴メ手茶入 銘「まろにえ」	制作年不詳	高7.5×径7.5	陶器	石水博物館	
189	加藤唐九郎	信楽繪垣文壺	1961 (昭和36)年	高25.0×胴径26.0	陶器	愛知県陶磁美術館 (西塚世津子氏寄贈)	
190	金重陶陽	備前壺形水指	1962 (昭和37)年	高14.9×胴径17.8×底径 10.2	陶器	愛知県陶磁美術館 (川崎音三氏寄贈)	
191	金重陶陽	備前砧形花生	1963 (昭和38)年	高24.3×胴径12.0	陶器	京都国立 近代美術館	
192	古信楽	檜垣文壺	15C(室町)	高32.3×口径16.8× 胴径29.4×底径14.8	陶器	八勝館 (魯山人旧蔵)	
Ⅶ. 現代陶芸をひらく							
193	イサム・ノグチ	三本足の花入	1952 (昭和27)年	高30.0×幅59.0×奥行18.0	陶器	一般財団法人 草月会	
194	イサム・ノグチ	フツツツボ	1952 (昭和27)年	高37.0×幅48.0×奥行42.0	陶器	一般財団法人 草月会	
195	イサム・ノグチ	ひまわり	1952 (昭和27)年	高65.0×幅34.0×奥行18.5	陶器	一般財団法人 草月会	
196	八木一夫	野兎の陶彫	1939 (昭和14)年	高14.8×幅28.8×奥行19.4	陶器	個人蔵	
197	八木一夫	春の海	1947 (昭和22)年	高20.0×幅22.0×奥行19.0	陶器	個人蔵	
198	八木一夫	金環蝕	1948 (昭和23)年	高58.0×最大径18.0	陶器	京都市美術館	
199	八木一夫	信楽大壺	1966 (昭和41)年	高41.5×胴径43.0	陶器	柳澤コレクション	
200	八木一夫	伊羅保茶盃	制作年不詳	高6.0×口径11.8～12.2×底 径4.9	陶器	個人蔵	
201	八木一夫	花刷毛目茶盃	制作年不詳	高8.6×口径11.4×底径5.1	陶器	個人蔵	
202	サム・フランシス	魯山人の顔	1965 (昭和40)年	縦29.7×横27.2	紙本墨画 (色紙)	個人蔵	
資料 1	高橋義雄（箒庵）／ 大正名器鑑編集所	『大正名器鑑 第八編』	1926 (大正15)年			個人蔵	
資料 2	高橋義雄（箒庵）／ 大正名器鑑編集所	『大正名器鑑 第九編』	1926 (大正15/昭和元)年			個人蔵	
資料 3	三越・星岡茶寮	『魯山人作 抹茶に関する 陶磁器展観』	1930 (昭和5)年			個人蔵	
資料 4	青山二郎／工政会出版部	『甌香譜』	1931 (昭和6)年			個人蔵	
資料 5	古志野筍絵 陶片（牟田 ヶ洞古窯跡出土）		16C末-17C初 (桃山)	5.2×4.7		荒川豊蔵資料館	千葉会場の み出品
資料 6	加藤土師萌	元屋敷古窯跡出土陶片図	1931 (昭和6)年11月	27.5×365.0	紙本墨画 淡彩	土岐市 美濃陶磁歴史館	
資料 7	井上吉次郎／ 工政会出版部	『瀬戸物と美濃瀬戸』	1932 (昭和7)年12月			個人蔵	
資料 8		陶片	16-17C (桃山-江戸)頃			銀座 黒田陶苑 (魯山人旧蔵)	
資料 9		美濃古窯跡出土陶片	16-17C (桃山-江戸)頃			愛知県陶磁美術館 (森川如春庵旧蔵)	

	作者名等	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質	所蔵先	備考
資料10	加藤唐九郎／寶雲舎	『黄瀬戸』	1933 (昭和8)年3月			個人蔵	
資料11	北大路魯卿／彩壺會	『瀬戸、美濃古陶窯發掘に就て』	1933 (昭和8)年8月			個人蔵	
資料12	星岡窯研究所	『北大路家蒐蔵古陶磁展観圖録』	1934.35 (昭和9,10)年			個人蔵	
資料13	森川勘一郎(如春庵)／森川馨	『志野 黄瀬戸 織部』	1936 (昭和11)年			愛知県陶磁美術館	
資料14	加藤土師萌／日本陶磁器工業組合連合会	『支那・満鮮の陶業を視て』	1936 (昭和11)年6月			個人蔵	
資料15	高橋義雄(箒庵)／寶雲舎	『大正名器鑑 普及版 第六編』	1937 (昭和12)年			個人蔵	
資料16	川喜田半泥子	尾形乾山「陶工必用」写真アルバム	1940 (昭和15)年			石水博物館	
資料17	荒川豊蔵	乾山窯発クツ之図	1942 (昭和17)年頃	24.5×33.7	紙本墨画 淡彩	個人蔵	
資料18	泥佛堂無茶法師(川喜田久太夫)／千歳文庫	『乾山考』	1943 (昭和18)年			石水博物館	
資料19	藤森順三／石原求龍堂	『小林古径』	1944 (昭和19)年			個人蔵 (魯山人旧蔵)	
資料20	イサム・ノグチ／美術出版社	『ノグチ』	1953 (昭和28)年			個人蔵	
資料21	イサム・ノグチ／Vogue, May 1, 1953	“Rosanjin Potter and Cook”「魯山人 陶芸家にして料理人」	1953 (昭和28)年5月1日			個人蔵	
資料22	黒田鎮治／日本陶磁協会『陶説』第10号	「協会の『繪画・陶磁展』 覚へ書」	1954 (昭和29)年1月			個人蔵	
資料23	荒川豊蔵	古窯発見端緒之図	1980 (昭和55)年	85.6×120.7	紙本着彩・ 墨書	荒川豊蔵資料館	

陶芸の森開設30周年記念

特別展

「リサ・ラーソンー創作と出会いをめぐる旅」

趣 旨 リサ・ラーソン（1931年スウェーデン生まれ）は、人物や動物、テーブルウェアなど、数多くの名作を生み出した、世界的に知られた陶芸家のひとりです。

当館では、2015年の開催から二度目となる今回の展覧会は、スウェーデンにあるリアン・デザイン・ミュージアム館長のルーヴェ・イオンソンとリサ・ラーソンの長男マティアス・ラーソンが企画し、旅と出会いから新たな魅力を浮き彫りにします。

リサ・ラーソンは、北欧スウェーデンのグスタフスベリ社のデザイナーとして、なぜこれほどまでに多くの人々が惹かれるデザインを生み出すことができたのでしょうか。この展覧会は、誰もが微笑んでしまう愛らしい動物たちやテーブルウェアなどの、アイデアの源泉に迫ります。

リサの身近で感化しあったアーティストたちの作品や、世界各地で収集された品々を、選りすぐりのリサの作品とともに展覧します。



展示構成 ①若き日のアーティスト ②形成期 ヨーテボリにて
③グスタフスベリ社の工房 ④アメリカでの1年
⑤テーブルデザイン ⑥グスタフスベリの工房を離れて
⑦レリーフ ⑧トリ ⑨イヌ ⑩人物像
⑪人形とおもちゃ ⑫リサ・ラーソンと日本 両思い

作品点数 約240点

展覧会企画／キュレーター

・ルーヴェ・イオンソン（リアン・デザイン・ミュージアム館長、スウェーデン）

2016年ヨーテボリにあるロェスカ美術館学芸員として「リサ・ラーソン」展を企画。

・マティアス・ラーソン（アーティスト）

ギャラリー運営のかたわら、リサ・ラーソンのアシスタントとして展覧会企画に携わる。2015年には当館で制作したリサ・ラーソンによるデザインの「生命の樹」モニュメントのスーパーヴァイザーとして参加。



会 期 令和2年3月25日(土)～3月31日(火) 6日間 *次年度への継続事業
〔休館日〕月曜日

観覧料 一般 800円(640円) 高大生 600円(480円)
中学生以下無料 * () 内は、20人以上の団体料金

入場者数 1,747人(一日平均 291.1人)

図録 『リサ・ラーソン—創作と出会いをめぐる旅』
〔サイズ〕 B5版 〔内容〕 全作品カラー
ルーヴェ・イオンソン、マティアス・ラーソン、年表

主催 滋賀県立陶芸の森、京都新聞

後援 スウェーデン大使館、滋賀県教育委員会、甲賀市、エフエム京都

特別協力 リアン・デザイン・ミュージアム

協力 フィンエアー、フィンエアーカーゴ

企画 アートインプレッション

企画協力 トンカチ

関連行事 (1)ラッピング列車の運行：信楽高原鐵道 信楽駅-貴生川駅
リサ・ラーソンの代表作である動物シリーズをはじめとした作品を車内外にデザインしたラッピング列車を運行しました。また、展覧会の観覧チケットと信楽高原鐵道信楽駅-貴生川駅間フリーパスが一緒になった共通チケットも販売しました。
〔運行期間〕 令和2年2月28日(金)～6月28日(日)



(2)トレイン&ミュージアム 共通チケット
〔価格〕 1,500円(税込)
〔販売〕 ①信楽高原鐵道 信楽駅 3月5日(木)～
②滋賀県立陶芸の森 陶芸館 ミュージアム
ショップ 3月21日(土)～

(3)信楽焼の魅力発見、発信事業

ギャラリー企画展

会期 令和2年3月25日(土)～6月28日(日)

会場 陶芸館ギャラリー *入場無料

- ①「Shigaraki×Photography-今、ここに生きる。多彩な信楽の風景から-」
やきものの町信楽を訪れ、ここに暮らし働く人々。信楽のもうひとつの魅力に迫る写真展。
信楽の次代と担うさまざまな分野の若手クリエーターやこの地で働く人々を紹介。
- ②「巧妙に炎を操る神山清子 土と炎がつくる景～信楽の薪窯に挑んだ女流作家」
赤く焼けきった土肌に鮮やかな青緑色の自然釉など、神山清子の作品のハイライトを紹介。

(4)ギャラリートーク 担当学芸員による展示解説
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

掲載記事・紹介番組等

(1)テレビ・ラジオ

あいコムこうかケーブルテレビ

FM京都局報

関西テレビニュース

びわ湖放送ニュース

NHKニュース

(2)新聞関係

2月28日(金)京都新聞 ラッピング列車GOきょうから信楽高原鐵道

3月25日(水)京都新聞 社告

(3)インターネット

Lマガジンjp、信楽観光協会、レイルラボ、WITH TEAブログ、信楽高原鐵道、TETSUDO.COM、ひと・ほん・たび、中日新聞、京都新聞、DUKEトレイン

■作品リスト

<LIST OF WORKS EXHIBITION A journey through time>

* 寸法はH(高さ)、W(幅)、D(奥行き)、φ(直径)mmで表記

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
①A YOUNG ARTISTS 若き日のアーティスト							
1	Lisa Larson	Lisa's painting of the house at age 14	Oil on plywood board	1945	Made by Lisa in her grandparents' home	LL private	H175×W685×D25 with frame
	リサ・ラーソン	リサ・ラーソンが14歳の時描いた祖父母の家の絵	オイル、ベニヤ板	1945年	リサ・ラーソンの祖父の家にて制作	リサ・ラーソン蔵	
2	Mattias Larson	Lisa's grandparents'house	Photography	1973	Unknown	LL private	H180×W210
	マティアス・ラーソン	リサの祖父母の家の写真	写真	1973年	不詳	リサ・ラーソン蔵	
3	Mattias Larson	Model of Lisa's grandparents' house by Mattias at an early age	Balsa wood	1973	Unknown	LL private	H163×W190×D160
	マティアス・ラーソン	息子マティアスによる祖父母の家の模型	バルサ材	1973年	不詳	リサ・ラーソン蔵	
4	Unknown artist	Lisa's childhood doll	Textile	1930s	Sweden	LL private	H320×W120
	作者不詳	リサ・ラーソンの幼少期の人形	布	1930年代	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	
5	Unknown artist	Lisa's childhood doll	Textile, paper maché	1920s	Sweden	LL private	H190×W75
	作者不詳	リサ・ラーソンの幼少期の人形	布、張子	1920年代	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	
6	Unknown artist	Lisa's childhood doll	Plastic,textile	Early 1900s	Sweden	LL private	H350×W120
	作者不詳	リサ・ラーソンの幼少期の人形	プラスチック、布	1900年初期	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	
7	Lisa Larson	Wooden figures made by Lisa at an early age	Wood	1940th	Made by Lisa in her grandparents' home	LL private	1. H185×W60×D40 2. H125×W50×D45 3. H110×W55×D30 4. H107×W25×D35 5. H125×W30×D65 6. H123×W40×D35 7. H105×W60×D25 8. and 9. (one unit) H122× W60×D50
8							
9	リサ・ラーソン	幼少時代に作られた木製人形	木	1940年代	リサ・ラーソンの祖父の家にて制作	リサ・ラーソン蔵	
10							
11							
12							
13							
14							
15							
②FORMATIVE YEARS 形成期 ヨーテボリにて							
16	Lisa Larson	Cat (unique)	Hand modelled, earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H84×W114×D30
	リサ・ラーソン	ネコ (ユニークピース)	手びねり、陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
17	Lisa Larson	Hedgehog candleholder (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H70×W73×D60
	リサ・ラーソン	ハリネズミのキャンドルホルダー (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
18	Lisa Larson	Hedgehog candleholder (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H68×W55×D55
	リサ・ラーソン	ハリネズミのキャンドルホルダー (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
19	Lisa Larson	Hedgehog candleholder (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H60×W60×D50
	リサ・ラーソン	ハリネズミのキャンドルホルダー (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
20	Lisa Larson	Bowl (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H35×φ149
	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
21	Lisa Larson	Bowl (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H40×φ132
	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
22	Lisa Larson	School work in decor class on existing Rörstrand design	Porcelain, glazed	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H300×W250×D20
	リサ・ラーソン	ロールストランド社のデザインが用いられた装飾クラスでの作品	磁器、釉薬	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
23	Lisa Larson	School work in decor class on existing Rörstrand design	Porcelain, glazed	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H100×W100
	リサ・ラーソン	ロールストランド社のデザインが用いられた装飾クラスでの作品	磁器、釉薬	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
24	Birger Kaipiainen	Relief	faience	1954-1958	Rörstrand Porcelain Factory	Collection of Love Jönsson	H410×W350
	ビリエル・カイピアイネン	レリーフ	ファイアンス	1954-1958年	ロールストランド磁器会社 (スウェーデン)	ルーヴェ・イオンソン蔵	
25	Kurt Ekholm	Vase	Stoneware, glazed	1930s	Arabia Porcelain Factory	Collection of Love Jönsson	φ150
	クット・エークホルム	花器	炆器、釉薬	1930年代	アラビア窯 (フィンランド)	ルーヴェ・イオンソン蔵	
26	Endre Nemes	The Bad Conscience	ink,tempera	1964	Sweden	LL private	H630×W725×D25 with frame
	エンドレ・ネーメス	やましい心	インク、テンペラ	1964年	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	H630×W725×D25 額を含む
27	Gunnar Larson	Portrait of Lisa	Egg oil tempera	1952	Executed in Lisa's and Gunnar's studio apartment in Gothenburg	LL private	H1010×W735×D33 with frame
	グンナル・ラーソン	リサの肖像画	エッグオイル、テンペラ	1952年	ヨーテボリにあるリサとグンナルのスタジオ・オアバーパートにて実行?制作?	リサ・ラーソン蔵	
28	Jörgen Zetterqvist	Original Landala Red Hot Stompers	Colour Lithograph	1954	Sweden	Collection of Olle and Nina Zetterqvist	H410×W540 with frame
	ヨルゲン・セツテルクヴィスト	オリジナル・ランダラ・レッド・ホット・スタンパーズ	カラー・リトグラフ	1954年	スウェーデン	オルレ&ニーナ・ゼッタークヴィスト蔵	H410W540 額を含む
29	Unknown artist	Baule Kple Kple Goli mask, Ivory Coast	Wood carving	Bought in Paris in the early 1950th	Ivory Coast	LL private	H410×W190×D75
	作者不詳	バウレ族のプレブレゴリ仮面	木彫	1950年代初期にパリにて購入	コートジボワール製	リサ・ラーソン蔵	
③AN ARTIST AT THE FACTORY グスタフスベリの工房							
30	Lisa Larson	Vase (unique)	Wheel-thrown stoneware, glazed	Around 1955-1956	Gustavsberg	LL private	H135×φ103
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ、炆器、釉薬	1955-1956年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
31	Lisa Larson	Bird (unique)	Stoneware, glazed	1950s	Gustavsberg	LL private	H90×W95×D77
	リサ・ラーソン	トリ (ユニークピース)	炆器、釉薬	1950年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
32	Lisa Larson	Bowl (unique)	Wheel-thrown stoneware, glazed	Around 1955-1956	Gustavsberg	LL private	H50×φ140
	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ、炆器、釉薬	1955-1956年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
33 34	Anders B.Liljefors	Two vases	Wheel-thrown stoneware, glazed	1952	Gustavsberg	Private collection (Love Jönsson)	H90 H105
	アンデシュ・B・リリエフォッシュ	2つの花器	ロクロ成形、炆器、釉薬	1952年	グスタフスベリ		
35	Lisa Larson	Prototype for Dove from the Paloma series	Stoneware, glazed	1954-1955	Gustavsberg	LL private	H110×W120 × D130
	リサ・ラーソン	ハト/パロマシリーズ (原型作品)	炆器、釉薬	1954-1955年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
36	Lisa Larson	Dove from the Paloma Series	Stoneware, glazed	1955-1956	Gustavsberg	LL private	H110×W130×D150
	リサ・ラーソン	ハト/パロマシリーズ	炆器、釉薬	1955-1956年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
37	Lisa Larson	Bowl shaped as a bird (unique)	Stoneware, glazed	1950s	Gustavsberg	LL private	H110×W118×D100
	リサ・ラーソン	トリ形鉢 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1950年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
38	Lisa Larson	Vase (unique)	Wheel-thrown stoneware, partly glazed	Early 1960s	Gustavsberg	LL private	H95×φ120
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ、炆器、一部釉薬	1960年代初期	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
39	Lisa Larson	Vase (unique)	Wheel-thrown stoneware, partly glazed	Around 1960	Gustavsberg	LL private	H132(×W115)×φ115
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器、一部釉薬	1960年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
40	Lisa Larson	Bowl (unique)	Wheel-thrown stoneware, partly glazed	Around 1960	Gustavsberg	LL private	H98×φ300
	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器、一部釉薬	1960年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
41	Lisa Larson	Vases (unique)	wheel-thrown stoneware, partly glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H220×φ160
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	炆器、ろくろ、一部釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
42	Lisa Larson	Vase (unique)	wheel-thrown stoneware, partly glazed	Around 1955-1956	Gustavsberg	LL private	H245×φ110
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	炆器、ろくろ、一部釉薬	B:1955-1956年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
43	Stig Lindberg	Vase	Stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H95×φ110
	スティグ・リンドベリ	花器	炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
44	Stig Lindberg	Vase	Stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H128×W90×D80
	スティグ・リンドベリ	花器	炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
45	Wihelm Kåge	Vase	Stoneware	1950s	Gustavsberg	LL private	H306
	ヴィルヘルム・コーゲ	花器	炆器	1950年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
46	Lisa Larson	Cat, from the Small Zoo series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1956-1978	Gustavsberg	LL private	H110×W120
	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿 casting、一部釉薬、炆器	製造 1956-1978年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
47	Lisa Larson	Fox, from the Small Zoo series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1956-1968	Gustavsberg	LL private	H70×W130×D60
	リサ・ラーソン	キツネ/小さな動物園シリーズ	泥漿 casting、炆器、一部釉薬	製造 1956-1968年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
48	Lisa Larson	Cat, from the Small Zoo series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1956-78	Gustavsberg	LL private	H120×W80
	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿 casting、一部釉薬、炆器	製造 1956-1978年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
49	Lisa Larson	Cat, from the Big Zoo series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1958-1979	Gustavsberg	LL private	H120×W330
	リサ・ラーソン	ネコ/大きな動物園シリーズ	泥漿 casting、釉薬、炆器	製造 1958-1979年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
50	Lisa Larson	Malin, prototype for the Larson Kids series	Stoneware, partly glazed	Manufactured 1962-1980	Gustavsberg	LL private	H183×W115×D70
	リサ・ラーソン	マリン/ラーソン家の子どもたちシリーズ (原型作品)	炆器、一部釉薬	製造 1962-1980年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
51	Lisa Larson	Johanna, from the Larson Kids series (test piece)	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1962-1980	Gustavsberg	LL private	H170×W100×D100
	リサ・ラーソン	ヨハンナ/ラーソン家の子どもたちシリーズ (テストピース)	泥漿鑄込、炆器、一部釉薬	製造 1962-1980年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
52	Lisa Larson	Kalle, from the Larson Kids series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1964-1980	Gustavsberg	LL private	H185×W130×D75
	リサ・ラーソン	カッレ/ラーソン家の子どもたちシリーズ	炆器、泥漿鑄込、一部釉薬	製造 1964-1980年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
53	Lisa Larson	Lotta, from the Larson Kids series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1962-1979	Gustavsberg	LL private	H171×W100×D90
	リサ・ラーソン	ロッタ/ラーソン家の子どもたちシリーズ	泥漿鑄込、炆器、一部釉薬	製造 1962-1979年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
54	Lisa Larson	Pelle, from the Larson Kids series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1964-1980	Gustavsberg	LL private	H200×W85×D75
	リサ・ラーソン	ペレ/ラーソン家の子どもたちシリーズ	泥漿鑄込、炆器、一部釉薬	製造 1964-1980年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
55	Lisa Larson	Lion Maxi from the Africa Series	Slip-cast Stoneware partly glazed	Manufactured from 1968	Gustavsberg	LL private	H390×W350×D370
	リサ・ラーソン	ライオン (マキシ) / アフリカシリーズ	泥漿鑄込、一部釉薬、炆器、	製造 1968年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
56	Lisa Larson	Tiger, from the Africa series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1965-1975	Gustavsberg	LL private	H83×W265×D75
	リサ・ラーソン	トラ/アフリカシリーズ	泥漿鑄込、炆器、一部釉薬	製造 1965-1975年	グスタフスベリ		
57	Lisa Larson	Donkey, from the Big Zoo series	Slip-cast, stoneware, glazed	Manufactured 1960-1968	Gustavsberg	LL private	H100×W150×D85
	リサ・ラーソン	ロバ/大きな動物園シリーズ	泥漿鑄込、炆器、釉薬	製造 1960-1968年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
58	Lisa Larson	Bear	Slip-cast stoneware, glazed	Manufactured 1970s	Gustavsberg	LL private	H100×W150×D85
	リサ・ラーソン	クマ	泥漿鑄込、炆器、釉薬	製造 1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
59	Lisa Larson	Cat Maxi, prototype for the Big Zoo series (later renamed as Mia)	Wheel-thrown hand-modelled stoneware, glazed	1965	Gustavsberg	LL private	H345×W230
	リサ・ラーソン	ネコ (マキシ) / 大きな動物園シリーズ (原型作品) 現在の愛称: ミア	ろくろ成形、手びねり、炆器、釉薬	1965年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
60	Lisa Larson	Trull, prototype for the Tripp Trapp Trull series	Wheel-thrown hand-modelled stoneware, glazed	Around 1968	Gustavsberg	LL private	H260×W135
	リサ・ラーソン	ネコのトゥルル/トリップ・トラップ・トゥルルシリーズ (原型作品)	ろくろ成形、手びねり、炆器、釉薬	1968年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
61	Lisa Larson	Cat (unique)	Wheel-thrown hand-modelled stoneware, glazed	Around 1970	Gustavsberg	LL private	H400×W180
	リサ・ラーソン	ネコ (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、炆器、釉薬	1970年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
62	Lisa Larson	Candle tower (unique)	Wheel-thrown out cut windows stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg Studio	LL private	H890×W270
	リサ・ラーソン	キャンドルタワー (ユニークピース)	ろくろ成形、透彫、炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
63	Lisa Larson	Scarecrow	Stoneware	1970-1971	Gustavsberg	LL private	H345×W230×D110
	リサ・ラーソン	かかし	炆器	1970-1971年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
64	Lisa Larson	Horse rider (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H175×W185×D55
	リサ・ラーソン	ウマに乗る人 (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
65	Elis Eriksson	Abstract sculpture	Hand-modelled stoneware, partly glazed	Late 1950s	Made in Lisa's studio	LL private	H187×W215×D170
	エーリス・エリクソン	抽象彫刻	炆器、手びねり、一部釉薬	1950年代後期	リサの工房	リサ・ラーソン蔵	
66	Torsten Renqvist	Elephant	Ceramic	1980s	Sweden	LL private	H182×W147×D120
	トシュテン・レーンクヴィスト	ゾウ	陶器	1980年代	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
67	Anders B. Liljefors	Vase	Sandcast stoneware, glazed	Around 1955-1957	Gustavsberg	LL private	H215×φ65
	アンダース・ブルーノ・リリエフォルス	花器	炻器、砂型製造、釉薬	1955-1957年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
68	Hertha Hillfon	Sculpture	Earthenware, unglazed	Possibly 1970s/1980s	Sweden	Collection of the Hertha Hillfon society	H280×W220×D220
	ハッタ・ヒルフォン	彫刻	陶器、無釉	1970年代-1980年代(推定)	スウェーデン	ヘルタ・ヒルフォン協会蔵	
69	Britt-Louise Sundell	Vase	stoneware, black slip	Mid1950s	Gustavsberg	Love Jönsson private collection	H115
	ブリット＝ルイズ・サンデル	花器	炻器、黒化粧	1950年代中期	グスタフスベリ		
70	Lisa Larson	Vase (unique)	Wheel-thrown hand painted glazed stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg Studio	LL private	H300×φ350
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	手描き、ろくろ成形、炻器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ・スタジオ	リサ・ラーソン蔵	
71	Lisa Larson	Bulldog Maxi	Slip-cast stoneware, glazed	Manufactured 1972-1980s	Gustavsberg	LL private	H350×W300×D430
	リサ・ラーソン	ブルドック (マキシ)	泥漿鑄込、炻器、釉薬	製造 1972-1980年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
72	Lisa Larson	Bulldog Midi	Stoneware, glazed	Manufactured 1972-1987	Gustavsberg	LL private	H135×W135×D170
	リサ・ラーソン	ブルドック (ミディアム)	炻器、釉薬	製造 1972-1987年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
73	Lisa Larson	Sweden' s Minister of Finance Gunnar Strång as a moneybox	Stoneware, glazed	1972-1984	Gustavsberg	LL private	H200×W90×D80
	リサ・ラーソン	グンナル・ストレングスウェーデン財務大臣の貯金箱	炻器、釉薬	1972-1984年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
74	Lisa Larson	The Societal Debate (prototype)	Stoneware, glazed	Around 1968	Gustavsberg	LL private	H390×W330×D80
	リサ・ラーソン	社会討論 (原型作品)	炻器、釉薬	1968年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
75	Lisa Larson	The Societal Dabate (Small version)	Stoneware	1969-1974	Gustavsberg	LL private	H230×W260×D130
	リサ・ラーソン	社会討論 (小)	炻器、釉薬	1969-1974年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
76	Lisa Larson	Portrait of Stig Lindberg (unique)	Stoneware, glazed	1990s	Artist's own studio	LL private	H305×W200×D80
	リサ・ラーソン	スティグ・リンドベリの肖像 (ユニークピース)	炻器、釉薬	1990年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
④A YEAR IN AMERICA アメリカでの1年							
77	Unknown artist 作者不詳	Mermaid, Mexico マーメイド (メキシコ)	Painted clay 絵付け、粘土	1960s 1960年代	Mexico メキシコ製	LL private リサ・ラーソン蔵	H260×W240×D100
78	Unknown artist 作者不詳	Church sculpture, Quinua village, Peru 教会彫刻	Earthenware 土器	1960s 1960年代	Quinua village, Peru ペルー (キヌア村) 製	LL private リサ・ラーソン蔵	H230×W125×D100
	79	Lisa Larson リサ・ラーソン	Wooden tree 木製の木	lathe-turned wood 外丸削りした木	late 1960s 1960年代後半		
80 95		Lisa Larson リサ・ラーソン	Wooden birds 木製のトリ	Turned Wood handpainted 施盤加工、絵付け、木	1970 1970年	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵
	96	Lisa Larson リサ・ラーソン	Balloon, from the Traffic series 気球/トラフィックシリーズ	Stoneware 炻器	1971-1973 1971-1973年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵
97		Lisa Larson リサ・ラーソン	Elephant, from the Traffic series ゾウ/トラフィックシリーズ	Stoneware 炻器	1971-1973 1971-1973年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵
	98	Lisa Larson リサ・ラーソン	Car, prototype for the Traffic series 車/トラフィックシリーズ (原型作品)	Stoneware, glazed 炻器、釉薬	1969 1969年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
99	Lisa Larson	Car, from the Traffic series	Stoneware	1971-1973	Gustavsberg	LL private	H124×W160×D77
	リサ・ラーソン	車/トラフィックシリーズ	炆器	1971-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
100	Lisa Larson	Airplane, from the Traffic series	Stoneware	1971-1973	Gustavsberg	LL private	H170×W250×D135
	リサ・ラーソン	飛行機/トラフィックシリーズ	炆器	1971-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
101	Lisa Larson	Jonah and the Whale, from the Traffic series (test piece)	Stoneware	1971-1973	Gustavsberg	LL private	H130×W180×D100
	リサ・ラーソン	クジラに乗るヨナ/トラフィックシリーズ (テストピース)	炆器	1971-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
102	Lisa Larson	Jonah and the Whale, from the Traffic series (test piece)	Stoneware, glazed	Around 1970	Gustavsberg	LL private	H130×W180×D100
	リサ・ラーソン	クジラに乗るヨナ/トラフィックシリーズ (テストピース)	炆器、釉薬	1970年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
103	Lisa Larson	Jonah and the Whale, prototype for the Traffic series (unique)	Stoneware, glazed	1969	Gustavsberg	LL private	H90×W170×D95
	リサ・ラーソン	クジラに乗るヨナ／トラフィックシリーズ (原型作品、ユニークピース)	炆器、釉薬	1969年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
104	Lisa Larson	Fantasy tree (unique)	Wheel-thrown, hand-modelled stoneware, glazed, partly gilded	Around 1970	Gustavsberg	LL private	H460×W300×D300
	リサ・ラーソン	ファンタジー・ツリー (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器、手びねり、釉薬、一部金めっき	1970年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
105	Lisa Larson	Candleholder in the shape of a tree with vessels (unique)	Wheel-thrown, hand-modelled stoneware, glazed, partly gilded	Late 1960s	Gustavsberg	LL private	H320×W270×D250
	リサ・ラーソン	壺をのせた木のキャンドルホルダー (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、炆器、釉薬、一部金めっき	1960年代後半	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
106	Lisa Larson	Fantasy tree (unique)	Wheel-thrown, hand-modelled stoneware, glazed, partly gilded	Late 1960s	Gustavsberg	LL private	H190×W175×D165
	リサ・ラーソン	ファンタジー・ツリー (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器、手びねり、釉薬、一部金めっき	1960年代後期	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
107	Lisa Larson	Golden tree	Slip-cast stoneware	Manufactured 1969-1973	manufactured at Gustavsberg	LL private	H382×W285×D125 H295×W200×D200
	リサ・ラーソン	ゴールデン・ツリー	泥漿鑄込、炆器	製造1969-1973年	グスタフスベリにて制作	リサ・ラーソン蔵	
⑤DESIGN FOR THE TABLE テーブルデザイン							
108	Lisa Larson	Bowl, from the Matilda series	Flintware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H55×φ150
	リサ・ラーソン	鉢/マチルダシリーズ	フリントウェア、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
109	Lisa Larson	Cup, from the Matilda series	Flintware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H70×φ115
	リサ・ラーソン	カップ/マチルダシリーズ	フリントウェア、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
110	Lisa Larson	Pig-shaped advent candleholder, from the Matilda series	Flintware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H75×W325×D65
	リサ・ラーソン	ブタのキャンドルホルダー / マチルダシリーズ	フリントウェア、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
111	Lisa Larson	Pig-shaped light holder (prototype)	Wheel-thrown and hand-modelled stoneware	Around 1965	Gustavsberg	LL private	H110×W142×D92
	リサ・ラーソン	ブタのライトホルダー (原型作品)	ろくろ、手びねり、炆器	1965年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
112	Lisa Larson	Pig-shaped moneybox	Slip-cast flintware, glazed	Manufactured 1965	Gustavsberg, small production	LL private	H94×W150×D80
	リサ・ラーソン	ブタの貯金箱	鑄込成形、フリントウェア、釉薬	製造1965年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
113	Lisa Larson	Pig-shaped light holder (prototype)	Wheel-thrown and hand-modelled stoneware	Around 1965	Gustavsberg	LL private	H130×W240×D180
	リサ・ラーソン	ブタのライトホルダー (原型作品)	ろくろ、手びねり、 炆器	1965年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
114	Lisa Larson	Plate,from the Astrakan series	Slip-cast flintware, glazed	Manufactured 1958	Gustavsberg	LL private	H30×W170×D200
	リサ・ラーソン	皿/アストラカンシリーズ	泥漿鑄込、 炆器、釉薬	製造1958年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
115	Lisa Larson	Lamp-shade	Wheelturned flintware,glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H230×W200
	リサ・ラーソン	ランプシェード	ろくろ、プリントウェア、 釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
116	Lisa Larson	Plate,from the Astrakan series	Wheelturned flintware, glazed	1970s	Gustavsberg	LL private	H50×φ200
	リサ・ラーソン	絵皿/アストラカンシリーズ	ろくろ、プリントウェア、 釉薬	1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
117 118 119 120 121 122	Lisa Larson	Candelholders, from the Strong series	Form-pressed stoneware, glazed	Manufactured 1968-1970	Gustavsberg	LL private	H70×W105 H60×W70 H70×W105 H46×W101 H35×W99 H58×W100
	リサ・ラーソン	キャンドルホルダー / ストロングシリーズ	型押、 炆器、釉薬	製造 1968-1970年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
123 124 125	Lisa Larson	Candle-holders, from the Basun series	Slip-cast stoneware	Manufactured 1969-1972	Gustavsberg	LL private	120:H145×W90×D90 121:H70×W80×D80 122:H115×W95×D95
	リサ・ラーソン	キャンドルホルダー / トランペットシリーズ	泥漿鑄込、 炆器	製造 1969-1972年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
126	Lisa Larson	Cup with saucer,from the Matilda series (brown version)	Stoneware, glazed	1970s	Gustavsberg	LL private	Cup:H72×φ82 with handle 115 Saucer:H23×φ156 カップ:H72×W115 (取手付き) ソーサー:H23×φ156
	リサ・ラーソン	カップ&ソーサー / マチルダシリーズ (ブラウンバージョン)	炆器、 釉薬	1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
127 128 129 130 131	Lisa Larson	Bowls, cup and plates,from the Jang series	Stoneware, glazed	1988-2005	Made in Japan for Swedish Ähléns	LL private	124 (Bowl):H65×φ190 125 (Cup):H83×φ88 with handle122 126 (Small bowl) H65×φ127 127 (Big plate) H23×φ245 128 (Small plate) H22×φ210
	リサ・ラーソン	鉢、カップ、皿/ヤングシリーズ	炆器、 釉薬	1988-2005年	日本 (オーレンス、スウェーデン)	リサ・ラーソン蔵	
⑥LEAVING THE FACTORY グスタフスベリの工房を離れて							
132	Lisa Larson	Flower-pot	Slip-cast stoneware	Manufactured 1982-1983	Höganäs Keramik	LL private	H200×W125×D125
	リサ・ラーソン	植木鉢	泥漿鑄込、 炆器	製造 1982-1983年	ホガナス・セラミック社 (スウェーデン)	リサ・ラーソン蔵	
133 134 135 136	Lisa Larson	Bird vases	Porcelaine, glazed	1985	Rosenthal, Germany	LL private	133: (center top) H150×W135 134: H135×W107 135:H120×W135 136:H150×W135
	リサ・ラーソン	トリの花器	磁器、釉薬	1985年	ロゼンタール社 (ドイツ)	リサ・ラーソン蔵	
137 138 139	Lisa Larson	Three Vases	Porcelaine, glazed	1985	Rosenthal, Germany	LL private	137.H115×φ90 138.H160×W180×D70 139.H190×φ105
	リサ・ラーソン	3つの花器	磁器、 釉薬	1985年	ロゼンタール社 (ドイツ)	リサ・ラーソン蔵	
140	Lisa Larson	Vase (unique)	Stoneware, glazed	1980s	Artist's own studio	LL private	H220×W160
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	炆器、 釉薬	1980年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
⑦RELIEFS レリーフ							
141	Lisa Larson	Study for the Acrobat relief, from the Harlequin series (unique)	Slip-cast and hand-modelled stoneware, glazed	Manufactured 1959-1960	Gustavsberg	LL private	H380×W200×D70
		曲芸師のレリーフの習作/道化師シリーズ (ユニークピース)	泥漿鑄込、手びねり、 炆器、釉薬	製造1959-1960年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
142	Lisa Larson	Standing woman (unique)	Relief, glazed sand-cast stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H550×W250×D30
		立つ女 (ユニークピース)	レリーフ、砂型鑄込、 炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
143	Lisa Larson	Relief	Sand-cast stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H110×W95
		レリーフ	砂型鑄込、炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
144	Lisa Larson	Early abstract relief	Sand-cast stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H200×W475×D35
		初期の抽象的なレリーフ	レリーフ、砂型鑄込、炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
145	Anders B Liljefors	Two Reliefs	Sandcast stoneware	1950s	Gustavsberg	Love Jönsson private collection	159.H210×W160 160.H300×W170
146	アンデシュ・リリエ フォツシュ	2つのレリーフ	砂型鑄込、炆器	1950年代	グスタフスベリ	ルーヴェ・イオンソン	
147	Lisa Larson	Horse rider (unique)	Hand modelled stoneware, glazed	Early 1950	Gustavsberg	LL private	H200×W225×D45
		ウマに乗る人 (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	1950年代 初期	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
148	Lisa Larson	Donkey (unique)	hand-modelled stoneware, glazed	Mid1950s	Gustavsberg	LL private	H200×W302×D24
		ロバ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	1950年代 中期	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
149	Lisa Larson	Study for the Drabant series	hand-modelled stoneware, partly glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H200×W170×D20
		レリーフの習作/近衛兵シリーズ	手びねり、炆器、一部釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
150	Lisa Larson	Drabant series	Relief, stoneware, glazed	1967-1973	Gustavsberg	LL private	H310×W130×D10
		近衛兵シリーズ	レリーフ、炆器、釉薬	1967-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
151	Lisa Larson	Drabant series	Relief, stoneware, glazed	1967-1973	Gustavsberg	LL private	H260×W160×D10
		近衛兵シリーズ	レリーフ、炆器、釉薬	1967-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
152	Lisa Larson	Drabant series	Relief, stoneware, glazed	1967-1973	Gustavsberg	LL private	H290×W160×D10
		近衛兵シリーズ	レリーフ、炆器、釉薬	1967-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
153	Lisa Larson	Drabant series	Relief, stoneware, glazed	1967-1973	Gustavsberg	LL private	H300×W180×D10
		近衛兵シリーズ	レリーフ、炆器、釉薬	1967-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
154	Lisa Larson	Lion in cage	Relief, stoneware, partly glazed	1963	Gustavsberg	LL private	H320×W466×D20
		檻の中のライオン	レリーフ、炆器、一部釉薬	1963年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
155 156 157 158	Lisa Larson	Bishops	Reliefs, Slip-cast stoneware, partly glazed	1963-1969	Gustavsberg	LL private	全てH95×W450×D30
司教		レリーフ、泥漿鑄込、炆器、一部釉薬	1963-1969年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵		
159	Lisa Larson	Relief (unique)	sand-cast and slab-built stoneware, partly glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H140×W180×D50
		レリーフ (ユニークピース)	砂型鑄造とたたき、炆器、一部釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
160	Lisa Larson	Bird against blue background	Sand-cast relief stoneware, glazed	1963	Gustavsberg	LL private	H175×W290×D15
		青を背景にしたトリ	砂型鑄込、レリーフ、炆器、釉薬	1963年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
⑧BIRDS 鳥							
161	Lisa Larson	Bird (unique)	Stoneware, glazed	1968	Gustavsberg	LL private	H227×W145×D85
	リサ・ラーソン	トリ (ユニークピース)	炆器、釉薬	1968年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
162	Lisa Larson	Bird (unique)	Stoneware, glazed	1972	Gustavsberg	LL private	H130×W164×D85
	リサ・ラーソン	トリ (ユニークピース)	炆器、釉薬	1972年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
163	Lisa Larson	Bird (unique)	Stoneware, glazed	1969	Gustavsberg	LL private	H164×W160×D80
	リサ・ラーソン	トリ (ユニークピース)	炆器、釉薬	1969年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
164	Lisa Larson	Bird (unique)	Stoneware, glazed	1980	Artist's own studio	LL private	H180×W156×D95
	リサ・ラーソン	トリ (ユニークピース)	炆器、釉薬	1980年	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
165	Lisa Larson	Bird (unique)	Stoneware, glazed	1971	Gustavsberg	LL private	H215×W160×D85
	リサ・ラーソン	トリ (ユニークピース)	炆器、釉薬	1971年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
166	Lisa Larson	Bird (unique)	Stoneware, glazed	1982	Artist's own studio	LL private	H167×W150×D110
		トリ (ユニークピース)	炆器、釉薬	1982年	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
167	Lisa Larson	Bird (unique)	Stoneware, glazed	1974	Gustavsberg	LL private	H155×W140×D100
	リサ・ラーソン	トリ (ユニークピース)	炆器、釉薬	1974年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
④A YEAR IN AMERICA アメリカでの1年							
168	Lisa Larson	Dog (unique)	hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H93×W115
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
169	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H140×W120
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
170	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H110×W120
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
171	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H135×W83× D98
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
172	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H90×W130
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
173	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H105×W90
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
174	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H55×W120
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
175	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H70×W100
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
176	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H100×W110
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
177	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H95×W70
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
178	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H165×W110
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
179	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H115×W118
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
180	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H110×W190
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
181	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H100×W75
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
182	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H90×W125
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、 炆器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
183	Lisa Larson	Dog (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	2000s	Artist's own studio	LL private	H70×W85
	リサ・ラーソン	イヌ (ユニークピース)	手びねり、 陶器、釉薬	2000年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
⑩THE HUMAN FIGURE 人物像							
184	Lisa Larson	Woman with cat (unique)	Stoneware, glazed	Around 1959-1962	Gustavsberg	LL private	H175×W120×D120
	リサ・ラーソン	ネコを抱いた女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1959-1962年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
185	Lisa Larson	Thinker (unique)	Stoneware, glazed	1959-1962	Gustavsberg	LL private	H155×W200×D190
	リサ・ラーソン	思想家 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1959-1962年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
186	Lisa Larson	Woman with dog (unique)	Stoneware, glazed	1959-1962	Gustavsberg	LL private	H180×W120×D120
	リサ・ラーソン	イヌを抱いた女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1959-1962年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
187	Lisa Larson	Standing woman (unique)	Stoneware, glazed	1974	Gustavsberg	LL private	H335×W120×D182
	リサ・ラーソン	立つ女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1974年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
188	Lisa Larson	Seated woman (unique)	Stoneware, glazed	1970s	Gustavsberg	LL private	H150×W110×D70
	リサ・ラーソン	座る女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
189	Lisa Larson	Seated woman (unique)	Stoneware, glazed	Around 1970	Gustavsberg	LL private	H136×W124×D107
	リサ・ラーソン	座る女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1970年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
190	Lisa Larson	Seated woman (unique)	Stoneware, glazed	Around 1970	Gustavsberg	LL private	H152×W140×D122
	リサ・ラーソン	座る女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1970年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
191	Lisa Larson	Seated woman (unique)	Stoneware, glazed	Around 1970	Gustavsberg	LL private	H132×W133×D100
	リサ・ラーソン	座る女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1970年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
192	Lisa Larson	Rosa	Stoneware, glazed	1970	Gustavsberg	LL private	H130×W160×D110
	リサ・ラーソン	ローサ	炆器	1970年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
193	Lisa Larson	Seated woman (unique)	Stoneware, glazed	1978	Gustavsberg	LL private	H274×W123×D140
	リサ・ラーソン	座る女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1978年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
194	Lisa Larson	Seated woman (unique)	Stoneware, glazed	1969	Gustavsberg	LL private	H250×W120×D120
	リサ・ラーソン	座る女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1969年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
195	Lisa Larson	Standing woman (unique)	Stoneware, glazed	1969	Gustavsberg	LL private	H233×W100×D75
	リサ・ラーソン	立つ女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1969年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
196	Lisa Larson	Seated woman (unique)	Stoneware, glazed	1970s	Gustavsberg	LL private	H160×W100×D90
	リサ・ラーソン	座る女性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
197	Lisa Larson	Seated man (unique)	Stoneware, glazed	1980s	Artist's own studio	LL private	H200×W105×D75
	リサ・ラーソン	座る男性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1980年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
198	Lisa Larson	Seated figure (unique)	Stoneware, glazed	1980	Artist's own studio	LL private	H185×W90×D80
	リサ・ラーソン	座る人物像 (ユニークピース)	炆器	1980年	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
199	Lisa Larson	Seated man (unique)	Stoneware, glazed	1976	Gustavsberg	LL private	H178×W95×D90
	リサ・ラーソン	座る男性 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1976年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
200	Lisa Larson	Woman (unique)	Stoneware, glazed	1993	Artist's own studio	LL private	H230×W90×D90
	リサ・ラーソン	女性像 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1993年	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
201	Lisa Larson	Queen with Prince (unique)	Stoneware, glazed	Late 1960s	Gustavsberg	LL private	H280×W120×D182
	リサ・ラーソン	女王とプリンス (ユニークピース)	炆器、釉薬	1960年代 後半	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
202	Lisa Larson	Figure (unique)	Stoneware, glazed	1995	Artist's own studio	LL private	H160×W150×D70
	リサ・ラーソン	人物像 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1995年	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
203	Lisa Larson リサ・ラーソン	Male figure (unique) 男性像 (ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器、釉薬	1975-1976 1975-1976年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H210×W110×D160
204 205	Lisa Larson リサ・ラーソン	Two men on the beach (unique) ビーチにいる二人 (ユニークピース)	Slab-built and hand- modelled stoneware, partly glazed たたら、手びね り、炆器、一 部釉薬	1970s 1970年代	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H280×W93×D75 left H355×W140× D90
①DOLLS AND TOYS 人形とおもちゃ							
206 212	Unknown artist 作者不詳	Selection from Lisa's international doll collection 世界の人形コレクション (クロ アチア、ニューメキシコ、日本、 マルタ、モロッコ)	Textile, lether and paper 布、革、紙	1960s-1970s 1960-1970年 代	Malta Marocco New Mexico Japan and Croatia マルタ、モロッコ、 ニューメキシコ、日 本、クロアチア	LL private リサ・ラーソン蔵	Tallest 240 mm Smallest 120 mm H120~240
213	Unknown artist 作者不詳	Doll with cymbals,India シンバル人形 (インド)	Wood, textile, metal and paper maché 木、布、金属、 張子	1960s 1960年代	India インド製	LL private リサ・ラーソン蔵	H360×W100
214	Unknown artist 作者不詳	Puppet doll,India パペット人形 (インド)	Wood,textile 木、布	1960s 1960年代	Rajasthan,India インド・ラジャスタン 州	LL private リサ・ラーソン蔵	H460×W160
215	Unknown artist 作者不詳	Puppet doll,India パペット人形 (インド)	Wood,textile 木、布	Unknown production year 制作年不詳	India インド製	LL private リサ・ラーソン蔵	H320×W60
216 217	Unknown artist 作者不詳	Dolls,Mexico 人形	Paper mache 張子	1960s 1960年代	Mexico メキシコ製	LL private リサ・ラーソン蔵	219:H340×W110× D75 220:H238×W 90× D57
218	Unknown artist 作者不詳	Toy horse rider, Mexico 人形を乗せたウマのおもちゃ	Wood 木	1970s 1970年代	Mexico メキシコ製	LL private リサ・ラーソン蔵	H185×W150×D80
219	Unknown artist 作者不詳	Horse rider, Guatemala 人を乗せたウマ	Wood 木	1980s 1980年代	Guatemala グアテマラ製	LL private リサ・ラーソン蔵	H335×W360×D60
220	Unknown artist 作者不詳	Horse, Pakistan ウマ	Wood, handpainted 木、手描き	Unknown production year 制作年不詳	Pakistan パキスタン製	LL private リサ・ラーソン蔵	H220×W200×D60
②MUTUAL LOVE:LISA AND JAPAN リサ・ラーソンと日本 両思い							
221	Shoji Hamada 濱田庄司	Iron glazed Large plate 柿釉大皿	Stoneware, glazed 炆器、釉薬	Around 1970 1970年頃	Mashiko 益子 (栃木県)	LL private リサ・ラーソン蔵	H50×φ274
222	Unknown artist 作者不詳	Japanese woodblock print 日本の木版画	Jpanese woodblock print 日本の木版刷	Unknown production year 制作年不詳	Japan 日本	LL private リサ・ラーソン蔵	H363×W304×D10 with frame H363×W304×D10 (額縁含む)
223	Lisa Larson リサ・ラーソン	Japanese Woman 日本女性	Slip-cast Stoneware, partly glazed 泥漿鑄込、炆 器、一部釉薬	Manufactured 1958-1973 製造 1958-1973年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H280×W120×D120
224	Lisa Larson リサ・ラーソン	Mask Geisha マスク 芸者	Stoneware 炆器	1970s 1970年代	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H250×W210×D45
225	Lisa Larson リサ・ラーソン	Mask Demon マスク 悪魔	Stoneware 炆器	1970s 1970年代	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H146×W190×D20
226	Lisa Larson リサ・ラーソン	Mask Geisha マスク 芸者	Stoneware 炆器	1970s 1970年代	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H250×W210×D45
227	Emi Fujii 藤井恵美	Ceremonial tea cup and a rectangular plate 煎茶器と長皿	Stoneware 炆器	2000s 2000年代	Artist's own studio, Sweden リサ・ラーソンスタジ オ (スウェーデン)	Collection of Rian designmuseum リアン・デザイン・ ミュージアム蔵	Platter H35×W145× D510 Cup H80×W116 長皿 H35×W145× D510 湯呑 H80×W116
228	Lisa Larson リサ・ラーソン	Osaketori,from the Japan Series おさけとり (ジャパンシリーズ)	Porcelaine, glazed 磁器、釉薬	2016 2016年	Hasami 波佐見 (長崎県)	LL private リサ・ラーソン蔵	H122×W110×D80 H40×φ50

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
229	Lisa Larson	Punky, prototype for a Japanese limited edition	hand-modelled stoneware, unglazed	2013	Artist's own studio, Sweden	LL private	H92×W99×D69
	リサ・ラーソン	バンキー / 日本限定版 (原型作品)	手びねり、 炆器、無施釉	2013年	リサ・ラーソンスタジオ (スウェーデン)	リサ・ラーソン蔵	
230	Lisa Larson	Harry, prototype for a Japanese limited edition	hand-modelled stoneware, glazed	2013	Artist's own studio, Sweden	LL private	H60×W88×D69
	リサ・ラーソン	ハリー / 日本限定版 (原型作品)	手びねり、炆 器、釉薬	2013年	リサ・ラーソンスタジオ (スウェーデン)	リサ・ラーソン蔵	
231	Unknown	Lisa and Gunnar with friends in the South of France in 1951	Photograph	1951	Colliour, France	LL private	H120×W140
	撮影者不詳	リサとグンナルと友人達 南フランスにて	写真	1951年	コリウール、フランス	リサ・ラーソン蔵	
232	Unknown	Lisa as a student in Gothenburg, early 1950s	Photograph	early 1950s	Gustavsberg	LL private	H190×W145
	撮影者不詳	ヨーテボリの学生の頃のリサ 1950年代初期	写真	1950年代初 期	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
233	Unknown	Lisa with cats	Photograph	1950s	Gustavsberg	LL private	H300×W400
	撮影者不詳	リサ・ラーソンとネコたち	写真	1950年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
234	Ove Wallin	Lisa in her studio at Gustavsberg around 1960	Photograph	1960s	Gustavsberg	LL private	H300×W210
	オーヴ・ワリン	グスタフスベリ社のリサの工房にて	写真	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
235	Bo Dahlin	Lisa and Gunnar in Lisa's studio at Gustavsberg around 1960	Photograph	Around 1960	Gustavsberg	LL private	H290×W240
	ボー・ダーリン	グスタフスベリのリサの工房にて	写真	1960年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
236	Olle Waller	Lisa and Gunnar during the installation of Lisa's relief at the Lundby school in Gothenburg in 1960	Photograph	1960	Gustavsberg	LL private	H240×W270
	オルレ・ウォーラー	レリーフを設置するリサとグンナル ヨーテボリのLundby学校にて	写真	1960年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
237	Unknown	Lisa at the Gustavsberg factory in 1978	Photograph	1978	Gustavsberg	LL private	H300×W240
	撮影者不詳	リサ グスタフスベリ社の工房にて	写真	1978年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
238	Enzo Poire	Lisa in her studio at Gustavsberg in 1970s	Photograph	1970s	Gustavsberg	LL private	H400×W300
		リサ、グスタフスベリ社の工房 にて	写真	1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
239	Emma Mattsson	Lisa in Skåne in 2014	Photograph	2013	Maglehem	LL private	H303×W210
	エマ・マットソン	リサ スコーネ地方にて	写真	2013年	マグレヘム	リサ・ラーソン蔵	
240	Niklas Gustavsson	Lisa and Gunnar exhibiting together at Hôganäs Museum in 2008	Photograph	2008	Hôganäs	LL private	H210×W296
	ニコラス・グスタブソン?	リサとグンナル、ヘガネスミュー ジウムにて共に展示	写真	2008年	ヘガネス	リサ・ラーソン蔵	

他館への巡回展

福井県陶芸館 企画展「“うつわ” ドラマチック」

趣 旨 滋賀県立陶芸の森陶芸館の現代作家による所蔵品を中心にした展覧会「“うつわ” ドラマチック展」を、国内巡回した。まず、第一会場は、岩手県立美術館で開催し、続いて越前焼の里にある福井県陶芸館で開催しました。この展覧会は、戦後の国々がたどったそれぞれの道筋、そして作り手たちの個性、これが“うつわ”の中に、さまざまな違いを持ちながら映し出されている状況を紹介しました。“うつわ”とは、グローバル化の時代の中で、国々の陶芸の特徴が浮き彫りになるテーマでもあります。

本展では、世界の陶芸家たちが極めたドラマチックな“うつわ”の数々をご覧いただきました。

会 期 令和元年10月5日(土)～12月22日(日)

主 催 福井県陶芸館

会 場 福井県陶芸館（住所：福井県丹生郡越前町小曾原120-61）

企画協力 滋賀県立陶芸の森

観覧者数 4,276人（1日平均62人）

関連企画 企画者によるギャラリートーク

〔日 時〕 令和元年11月16日(土) 14時～15時30分

〔講 師〕 三浦 弘子（滋賀県立陶芸の森 専門学芸員）



陶芸館ギャラリー企画展

陶芸館・新収蔵の逸品展

趣 旨 滋賀県立陶芸の森陶芸館は、「日本の現代陶芸」「海外の現代陶芸」「滋賀ゆかりの陶芸」「クラフトと陶磁器デザイン」という収集方針をもとに、作品収集を行っています。陶芸の森の収集作品は、平成30年度と29年度の購入・寄付を合わせて、新たに145点を収蔵しました。

新収蔵となった古陶磁作品では、湖東焼を代表的する絵付師、鳴鳳の「色絵金銀彩葵神事図鉢」と、ほか5点を購入し、湖東焼の民窯・山口窯で制作された「黒釉金彩松図重箱」などほか42点は、寄付いただきました。また現代の滋賀のやきものでは、信楽焼の名工で知られた上田直方（五代）特有の柔らかな緋色の作風がよく表れた「白形水指」など11点が寄付により加わりました。さらに日本の現代作家では、1950年代の現代陶芸の草創期に彫刻家からのアプローチで土を素材に大胆な造形を生み出した辻晉堂の「寒山」のほか3点、人間国宝の宇野宗鷺（初代）による作品4点、さらに四耕会で知られる宇野三吾が中近東の鮮やかなブルーに憧れ制作した「碧釉尊壺」など27点が、寄付により加わりました。また、国内でも数少ない滞在型制作「アーティスト・イン・レジデンス事業」でゲスト・アーティストらが制作した作品等が46点、またドイツの代表的な陶芸家であるカール・シャイトら4名の作品を作家らより、寄付を受けました。

本展覧会は、これら平成29、30年度に新たに収蔵した作品の逸品、20点を展示しました。

内 容 平成29、30年度に新たに収蔵した作品の逸品、20点を展示。
湖東焼 鳴鳳絵付／上田直方（五代）／辻晉堂／宇野宗麿／宇野三吾／カール・シャイト／二口コレクション 他

会 期 平成31年3月12日(火)～4月14日(日) 平成30年度からの継続事業
〔休館日〕月曜日 〔入館料〕無 料

アーティスト・イン・レジデンス企画展「大石早矢香—Binary—」

趣 旨 平成30年度ゲスト・アーティストの大石早矢香の成果展を開催しました。
「カタチと装飾」を作品のテーマに制作を続ける大石早矢香は、その二つの関係性と向き合う中で、装飾は人間の自由で複雑な感情の表象であり必要不可欠なものと認識しました。どんなものでも作り出せる土の豊かな表現力と、完璧な法則に支配される釉薬と焼成の力を駆使し、大石は自身の複雑すぎる感情を、装飾によって他者と共感することを試みました。本展では大石が創作研修館で制作した作品を展示しました。

内 容 大石早矢香が創作研修館で制作した作品展示

会 期 平成31年4月20日(土)～令和元年6月9日(日) 51日間
開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休 館 日 月曜日（4/29、5/6は開館、5/7は振替休館）
入 場 料 無料



関連行事 「大石早矢香と創作研修課職員による座談会」4月20日(土) 参加者 50人
ゲスト・アーティスト大石早矢香と創作研修館スタッフによる座談会を開催しました。

夏休み企画「子どもたちの土の造形—本物との出会いから」展

趣 旨 ミシガン大学×甲賀市立小原小学校・甲南第三小学校～自分の気持ちを形にしよう」の開催
陶芸の森の出張授業でミシガン大学生と甲賀市内小学校2校の児童が土面や鳥のランプシェード、鳥の巣をテーマとした協同制作をしました。ミシガン大学生と児童がペアとなり、さまざまな手法でコミュニケーションをとりながら制作した楽しい作品の数々を展示しました。

内 容 出品学校と制作内容

コミュニケーションを楽しみながら作品制作 出展数 40点

- ①甲賀市立小原小学校「自分の気持ちを形にしよう—世界でひとつの〇〇をつくろう！」
- ②甲賀市立甲南第三小学校「自分の気持ちを形にしよう—ランプシェードをつくろう！」
- ③甲賀市立甲南第三小学校「自分の気持ちを形にしよう—自分の好きな鳥たちの巣をつくろう！」
- ④ミシガン大学（①②の両校の授業に参加）



会 期 令和元年7月13日(土)～8月25日(日) 38日間

写真展「Shigaraki×Photography ～今、ここに生きる。多彩な信楽の風景から」

趣 旨 NHK連続テレビ小説「スカーレット」のモデルである女性陶芸家の神山清子氏は、信楽焼の伝統の薪窯による作品制作で知られます。信楽焼の魅力を多くの方々に知っていただくために、信楽をアピールする写真展を信楽町内のFUJIKI（陶芸の森地域連携拠点）や陶芸の森で開催し、

信楽を訪れる方々の誘客につなげ、さらに陶器産業の発展を目指し開催しました。

やきものの町信楽を訪れ、ここに暮らし、働く人々。神山も九州、長崎県出身。信楽のもうひとつの魅力に迫る写真展。信楽の次代を担うさまざまな分野の若手のクリエイターやこの地で働く人々を紹介しました。



会 期 令和2年3月25日(水)～3月31日(火)
(令和2年度事業として継続)

博物館実習

陶芸館では、博物館学芸員資格取得のための実習生の受け入れを、平成7年度より行っています。今年度は関西の大学より2人を受け入れ、各施設や特別展の見学を行い、展覧会企画と教育普及事業についての講義を行いました。また、実習では、やきもの作品の梱包方法や作品の取り扱い方を学び、茶器の調査台帳のまとめ方や、展覧会パネルの制作やミュージアムショップ関連の実習を行いました。作品台帳の作成では、茶器の制作者の落款銘や器の形を丁寧にスケッチし、写真を撮影するなど、資料の整理を体験しました。

内 容 8月20日(火)
オリエンテーション／陶芸の森施設見学／特別企画展の鑑賞
講義1. 教育普及事業について／講義2. 展覧会事業について
8月21日(水)
実習1. 作品の取り扱いおよび梱包について
8月22日(木)
実習2-2：作品調書作成、作家資料整理
8月23日(金)
実習2-3：作成調書の整理、総括

期 間 令和元年8月20日(火)～23日(金) 4日間

会 場 滋賀県立陶芸の森 視聴覚室および陶芸館会議室

受入大学 京都美術工芸大学 1名
佛教大学 1名

陶磁ネットワーク会議への参加

〈陶磁ネットワーク会議〉は、陶芸若しくは陶磁を専門とする、県立美術館8館で組織された会議です。陶芸文化の発展と館活動の活性化、また加盟館相互の連携と協力を深めることを目的に、平成20年度に設立されました。令和元年度は幹事館の岐阜県現代陶芸美術館を会場に、「第12回陶磁ネットワーク会議」が開催されました。



日 程 令和元年7月17日(水)～7月18日(木)

会 場 岐阜県現代陶芸美術館・多治見市モザイクタイルミュージアム

参 加 館 愛知県陶磁美術館（瀬戸）、茨城県陶芸美術館（笠間）、岐阜県現代陶芸美術館（美濃）、佐賀県立九州陶磁文化館（有田）、滋賀県立陶芸の森（信楽）、兵庫陶芸美術館（丹波）、福井県陶芸館（越前）、山口県立萩美術館・浦上記念館（萩）

出 席 者 8館22人

議 題 議題1 観光：地域／陶磁ネットワークを活かした観光と陶芸美術館
 <提案事項>陶磁ネットワーク8館英語版ホームページ作成の検討
 <事例報告>アンケートをもとに各館から報告
 <意見交換>新聞社との共催、記事および対象とする来館者層について
 議題2 所蔵品取扱いに関する規則や書類の書式について
 議題3 次年度予算要求に向けた昨年度各種実績について

見 学 多治見市モザイクタイルミュージアム

調査研究活動

三浦 弘子

1. 委嘱

- ・兵庫陶芸美術館 収蔵作品価格評価委員
- ・ミシガン大学プログラム企画運営委員会委員

2. 著作・文章執筆等

- ・「軽やかにつくり続ける女性陶芸家たち」『炎芸術No.140』2019

3. 発表・講義

- ・滋賀大学教職院大学「滋賀県立陶芸の森」つつっこプログラム
- ・「うつわドラマチック展／ギャラリートーク」福井県陶芸館巡回

大槻 倫子

1. 出講・委嘱等

- ・京都国立近代美術館 美術作品購入等評価員
- ・兵庫陶芸美術館 価格評価
- ・宇治市文化財保護委員
- ・甲賀市信楽伝統産業会館館蔵品委員
- ・甲賀市信楽伝統産業会館企画委員
- ・甲賀市信楽焼民俗技術調査 主任調査員
- ・東洋陶磁学会監事

2. 著作・文章執筆等

- ・『藝術文化雑誌 紫明』Vol.45 紫明の会発行
「信楽焼 三度の転機」
- ・『炎芸術』140号 阿部出版発行
「大石早矢香 言い尽くせない感情が「装飾」になる」
- ・『季刊ろうさい』Vol.32、33、34公益財団法人労災保険情報センター発行
やきもの玉手箱⑭「飯茶碗のうんちく」

やきもの玉手箱⑮「北大路魯山人の器」

やきもの玉手箱⑯「信楽焼の鑑賞」

- 『なごみ』3月号 淡交社発行
「名品でたどる茶陶・信楽の歩み」
「昭和の信楽焼復興 直方の「静」と楽斎の「動」」
- 京都新聞 アート&イベント情報サイトことしるべ
湖東焼「色絵菊花図平鉢」滋賀ゆかりの古陶磁たち
現代作家が創る陶の花 田嶋悦子「Cornucopia」／秋永邦洋「恒久切花 木蓮」
魯山人と信楽焼
紅葉と桜の器「雲錦鉢」
「古染付葡萄文水指」（魯山人旧蔵）
- 中日新聞 北大路魯山人展連載 5回

3. 発表・講演・講義等

- 講演会「魯山人の古典復興と食のうつわーそのアレンジ力」 6月11日
碧南市藤井達吉現代美術館（愛知県）

4. 調査

- 広誠院所蔵陶磁器調査
- 宮永東山家陶磁器共同調査

鉤 真一

1. 委嘱

- 滋賀県博物館研修委員

2. 発表・講演

- 甲賀市信楽図書館 図書館まつり
- 「信楽焼のヒミツにせまる！ 信楽焼ってどんなやきもの？」 10月27日

創 作 事 業

アーティスト・イン・レジデンス事業

スタジオ・アーティストの受け入れ

アーティスト・イン・レジデンス事業の中核である「スタジオ・アーティストの受け入れ」では18 ヶ国、延べ64人を受け入れました。

受け入れ実績	総数	59人（延べ64人）（18 ヶ国）
	国内	13人（延べ16人） うち滋賀県：4人（延べ6人）
	海外	46人（延べ48人）
	（内訳）	日本在住－13人（延べ16人）、アメリカ－9人（10人）、イラク－1人、スウェーデン－2人、オランダ－2人、シンガポール－1人、オーストラリア－1人、ベルギー－1人、カナダ－3人、中国－5人、台湾－3人（4人）、フランス－4人、香港－4人、フィンランド－1人、韓国－5人、イギリス－2人、コロンビア－1人、ニュージーランド－1人、

受け入れ名簿

氏 名	マーティー・ガイガー・ホ Martie Geiger-Ho
居 住 地	アメリカ
滞在期間	平成31年4月2日～令和元年5月1日
滞在日数	30日
概 略	タタラやろくろで成形し、小作品やカップ等を制作しました。



氏 名	シェニアル・アルガラッド Shaynar Algerad
居 住 地	イラク
滞在期間	平成31年4月3日～平成31年4月30日
滞在日数	28日
概 略	規則と不規則をテーマに、幾何学的な造形と有機的な造形を組み合わせた作品を制作しました。



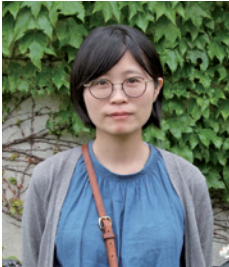
氏 名	キース・エクスタム Keith Ekstam
居 住 地	アメリカ
滞在期間	平成31年4月3日～令和元年5月20日
滞在日数	48日
概 略	信楽で見つけた形をテーマに、造形作品を制作しました。作品は薪窯で焼成しました。



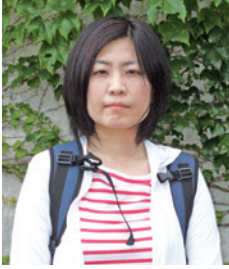
氏 名	松永 圭太 MATSUNAGA Keita	
居 住 地	日本 岐阜県	
滞在期間	(前年から継続) 平成31年 4 月 1 日～令和元年 5 月30日	
滞在日数	60日	
概 略	石膏型を使って、変形させた球体等の造形作品を制作しました。	
作品展示	「第14回 パラミタ陶芸大賞展」パラミタミュージアム (三重県) 令和元年 6 月 1 日～7 月28日 「±8 — A Group Exhibition of Contemporary Ceramics」Taka Ishii gallery (香港) 令和元年 7 月12日～9 月 8 日	
氏 名	エック・オスカー Ek Oskar	
居 住 地	スウェーデン	
滞在期間	(前年から継続) 平成31年 4 月 1 日～平成31年 4 月20日	
滞在日数	20日	
概 略	機械ろくろを使用して、テーブルウェアを制作しました。	
氏 名	レベッカ・ラースドッター Rebecka Larsdotter	
居 住 地	スウェーデン	
滞在期間	(前年から継続) 平成31年 4 月 1 日～平成31年 4 月20日	
滞在日数	20日	
概 略	粘土板に顔料等で着色を行いました。作品は焼成せずに、粘土と顔料の質感を表した写真作品としました。	
氏 名	今野 朋子 KONNO Tomoko (再滞在)	
居 住 地	日本 滋賀県	
滞在期間	平成31年 4 月16日～令和元年 6 月20日 令和元年 8 月29日～令和元年 9 月24日	
滞在日数	62日	
概 略	顔料を混ぜた色磁土を使い、練りこみ技法を活かした造形作品を制作しました。	
作品展示	「TOMOKO KONNO EXHIBITION」岡山天満屋5Fアールスペース (岡山県) 令和元年 9 月11日～9 月17日 「－驚愕－超絶の世界展」瀬戸内市立美術館 (岡山県) 令和元年 9 月14日～11月10日	

氏 名	橋本 知成（再滞在） HASHIMOTO Tomonari	
居 住 地	日本 滋賀県	
滞在期間	（前年度から継続）平成31年 4 月 1 日～令和元年 5 月31日 令和元年 9 月 1 日～令和 2 年 3 月31日（次年度に継続）	
滞在日数	274日	
概 略	手びねりで大型の造形作品を制作しました。低下度での焼成後、炭化焼成をおこないました。	
作品展示	「橋本知成展」目黒陶芸館別館（三重県） 令和元年 5 月26日～ 6 月 2 日 「特別企画 交流と実験－新時代の〈やきもの〉をめざして－展」陶芸の森陶芸館 令和元年 6 月18日～ 9 月 6 日 「LOEWE Craft Prize 2019」草月会館（東京都） 令和元年 6 月26日～ 7 月22日 「WORKS」giant year gallery（香港） 令和元年11月 1 日～ 12月12日	
氏 名	モナ・アリ Mona Ali	
居 住 地	カナダ	
滞在期間	平成31年 4 月25日～令和元年 6 月30日	
滞在日数	67日	
概 略	手びねりで壺などを制作しました。 作品はイッテコイ窯にて焼成しました。	
作品展示	「Mona Ali」創作研修館ギャラリー 令和元年 6 月27日	
氏 名	マリアンヌ・デ・フォークト Marjan De Voogd	
居 住 地	オランダ	
滞在期間	平成31年 4 月16日～令和元年 5 月30日	
滞在日数	45日	
概 略	ろくろ成型した器に有機的に成形した粘土片を貼り付けて、アクセントのついた器を制作しました。	
作品展示	「Marjan De Voogd」創作研修館ギャラリー 令和元年 5 月28日	
氏 名	小出 ナオキ KOIDE Naoki（再滞在）	
居 住 地	日本 千葉県	
滞在期間	令和元年 5 月 1 日～令和元年 6 月30日	
滞在日数	61日	
概 略	手びねりで家をモチーフに建築的な作品を制作しました。 またイラストを形どった陶板の制作も行いました。	

氏 名	ネルソン・リン LIM SANG CHOON NELSON	
居 住 地	シンガポール	
滞在期間	令和元年 5 月 11 日～令和元年 6 月 29 日	
滞在日数	50 日	
概 略	針金で作った格子状の立体物を磁土の泥漿に浸し成形しました。 作品は針金ごと 5.2m ³ ガス窯にて焼成しました。	
作品展示	「Construction of Memorie」陶芸の森太陽の広場 令和元年 6 月 24 日	
氏 名	浜名 一憲 HAMANA Kazunori (再滞在)	
居 住 地	日本 千葉県	
滞在期間	令和元年 5 月 10 日～令和元年 5 月 28 日 令和元年 10 月 22 日～令和元年 11 月 15 日	
滞在日数	43 日	
概 略	大壺の制作を行いました。作品は 5.2m ³ ガス窯にて焼成しました。	
氏 名	シェン・ティン Shen Ting	
居 住 地	中国	
滞在期間	令和元年 6 月 4 日～令和元年 6 月 30 日	
滞在日数	27 日	
概 略	ろくろを使用して、普段使いの陶器を制作しました。	
氏 名	田島 弘庸 TASHIMA Hirotsune (再滞在)	
居 住 地	アメリカ	
滞在期間	令和元年 5 月 28 日～令和元年 6 月 13 日 令和元年 11 月 19 日～令和元年 11 月 20 日	
滞在日数	19 日	
概 略	手びねりで、ゴリラとバナナをモチーフに陶像作品を制作しました。 作品は 5.2m ³ ガス窯にて焼成しました。	
氏 名	ロキサンヌ・ジャクソン Roxanne Jackson	
居 住 地	アメリカ	
滞在期間	令和元年 6 月 1 日～令和元年 6 月 29 日	
滞在日数	29 日	
概 略	悪魔をモチーフにして制作をしました。作品は帰国後に施釉して焼成の予定です。	

氏 名	リ・ツアイユ LI Tsai yu	
居 住 地	台湾	
滞在期間	令和元年 5 月 31 日～令和元年 8 月 17 日 令和元年 9 月 15 日～令和元年 10 月 31 日	
滞在日数	43 日	
概 略	柔らかな雰囲気陶板やカップなどを制作しました。	
氏 名	ベアトリス・トレパット Beatriz Trepap	
居 住 地	フランス	
滞在期間	令和元年 6 月 1 日～令和元年 7 月 30 日	
滞在日数	60 日	
概 略	幾何学的なベースに、雲をモチーフとした有機的な作品を 組み合わせた作品を制作しました。	
氏 名	岩村 遠 IWAMURA En	
居 住 地	日本 滋賀県	
滞在期間	令和元年 6 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日（次年度に継続）	
滞在日数	305 日	
概 略	主に人の頭部をモチーフとして、造形作品を制作しました。 作品表面には櫛目を施し、鮮やかな色彩の化粧泥で着色しました。	
作品展示	「En Iwamura : New works」 Ross + Kramer gallery（アメリカ） 令和元年 8 月 31 日～9 月 6 日 「特別企画 交流と実験－新時代の〈やきもの〉をめざして－展」陶芸の森陶芸館 令和元年 6 月 18 日～9 月 6 日	
氏 名	石山 哲也 ISHIYAMA Tetsuya（再滞在）	
居 住 地	日本 滋賀県	
滞在期間	令和元年 6 月 1 日～令和元年 9 月 8 日	
滞在日数	100 日	
概 略	仏像など、古代の美術品をモチーフに造形作品を制作しました。	
氏 名	ライアン・ホイ HUI Chun kit Ryan （香港バプテリスト大学からの受け入れ）	
居 住 地	香港	
滞在期間	令和元年 6 月 4 日～令和元年 9 月 1 日	
滞在日数	89 日	
概 略	大壺や茶器を制作しました。	
作品展示	「碳烤哥吉拉佐茶」FUJIKI（信楽町） 令和元年 8 月 17 日～8 月 25 日	

氏 名	リ・チェンリヤン LI Cheng liang (台湾文化センターからの受け入れ)	
居 住 地	台湾	
滞在期間	令和元年 6 月 4 日～令和元年 8 月 30 日	
滞在日数	88 日	
概 略	怪獣をモチーフにした組作品を制作しました。 また、大型の造形作品を制作しました。	
作品展示	「碳烤哥吉拉佐茶」FUJIKI (信楽町) 令和元年 8 月 17 日～ 8 月 25 日	
氏 名	ミリアム・グレー Myriam A. Goulet	
居 住 地	ベルギー	
滞在期間	令和元年 7 月 7 日～令和元年 8 月 27 日	
滞在日数	52 日	
概 略	石膏取りした包装容器を組み合わせて造形作品としました。 作品はイッテコイ窯で焼成しました。	
氏 名	ヒャン・ユージン HWNAG Yoo jin	
居 住 地	韓国	
滞在期間	令和元年 7 月 6 日～令和元年 8 月 29 日	
滞在日数	54 日	
概 略	人間が抱えるストレスを陶器で心臓を作ることで表現しました。	
作品展示	「HWNG Yoo jin」創作研修館ギャラリー 令和元年 8 月 23 日～ 8 月 25 日	
氏 名	長谷川 泰子 HASEGAWA Yasuko (再滞在)	
居 住 地	日本 神奈川県	
滞在期間	令和元年 7 月 21 日～令和元年 9 月 1 日	
滞在日数	43 日	
概 略	薄い陶板を積み重ねて、建築物のような造形作品を制作しました。	
氏 名	ヘイミッシュ・ジャクソン Hamish Jackson	
居 住 地	アメリカ	
滞在期間	令和元年 7 月 2 日～令和元年 8 月 4 日	
滞在日数	34 日	
概 略	ろくろを使ってテーブルウェアを制作しました。 作品は穴窯にて焼成しました。	
作品展示	「For the love of Old Shigaraki Pots」創作研修館ギャラリー 令和元年 8 月 2 日～ 8 月 3 日	

氏 名	ワン・ポン WANG Peng	
居 住 地	中国	
滞在期間	令和元年7月2日～令和元年9月2日	
滞在日数	63日	
概 略	ろくろを使ってテーブルウェアを制作しました。 また同様の技法で造形作品も展開しました。	
作品展示	「王鵬展」創作研修館ギャラリー 令和元年8月29日	
氏 名	ユニス・ルック Eunice Luk（再滞在）	
居 住 地	カナダ	
滞在期間	令和元年8月1日～令和元年10月9日	
滞在日数	70日	
概 略	器型をベースに、造形作品を制作しました。	
作品展示		
氏 名	ファビアン・メリロン Fabien Mériillon	
居 住 地	フランス	
滞在期間	令和元年8月1日～令和元年9月29日	
滞在日数	60日	
概 略	タタラや手びねりで、造形作品を制作しました。	
作品展示		
氏 名	浅井 睦子 AZAI Mutsuko	
居 住 地	日本 京都府	
滞在期間	令和元年8月1日～令和元年11月7日	
滞在日数	100日	
概 略	ろくろや絵付けを主な制作技法として、陶箱やカップなどを制作しました。	
作品展示	「浅井睦子 陶展」、京都高島屋6階工芸サロン（京都府） 令和元年10月30日～11月5日	
氏 名	レベッカ・タム TAM Hiu yee Rebecca	
居 住 地	香港	
滞在期間	令和元年9月1日～令和元年11月7日	
滞在日数	68日	
概 略	薄い粘土板を積み重ねて、造形作品を成形しました。 作品は焼成の熱で歪み有機的な形になる様工夫をしました。	
作品展示	「Rebecca Tam」創作研修館ギャラリー 令和元年11月2日	

氏 名 ケイト・フィッツハリス Kate Fitzharris
 居 住 地 ニュージーランド
 滞在期間 令和元年9月1日～令和元年9月27日
 滞在日数 27日
 概 略 手のひらサイズの陶人形を制作しました。



氏 名 チャン・ユーチェン TUAN Yu chien
 居 住 地 台湾
 滞在期間 令和元年9月8日～令和元年11月30日
 滞在日数 84日
 概 略 薬師であった祖父の商売道具や漢方薬を陶器として制作しました。
 作品展示 「Yu-chien Chan」創作研修館ギャラリー
 令和元年11月26日～28日



氏 名 オスカー・ロヴェラス Oscar Lloveras
 居 住 地 フランス
 滞在期間 令和元年9月1日～令和元年10月18日
 滞在日数 48日
 概 略 翼をモチーフとして、大型の造形作品を制作しました。



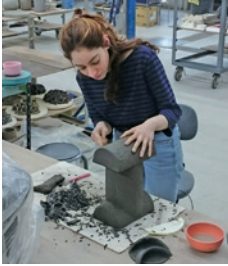
氏 名 デン・ウェンボ DENG Wenbo
 居 住 地 中国
 滞在期間 令和元年9月29日～令和2年1月18日
 滞在日数 113日
 概 略 日本の瓦に興味を持ち、モチーフとして制作しました。



氏 名 キム・エーヨン KIM Aeyoung
 (2020年度文化庁補助事業対象アーティスト)
 居 住 地 韓国
 滞在期間 令和元年9月7日～令和元年10月6日
 滞在日数 30日
 概 略 壺を縦に四分割した形を成形し、内側の面に絵付けを行いました。



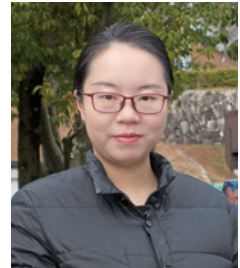
氏 名	シン・ヌリ SHIN Nuri	
居 住 地	韓国	
滞在期間	令和元年10月1日～令和元年11月30日	
滞在日数	61日	
概 略	人の頭部を制作し、積み重ねて作品としました。	
作品展示	「Shin Nuri」創作研修館ギャラリー 令和元年11月19日～21日	
氏 名	アナ・リヴェラ Ana Rivera	
居 住 地	コロンビア	
滞在期間	令和元年10月1日～令和元年11月28日	
滞在日数	59日	
概 略	植物などの形を利用して、小作品を制作しました。	
作品展示	「Grant Akiyama, Mariah Addis」創作研修館ギャラリー 令和元年11月22日～24日	
氏 名	マライア・アデイス Mariah Addis	
居 住 地	アメリカ	
滞在期間	令和元年10月1日～令和元年11月30日	
滞在日数	61日	
概 略	エクストルーダーを使用して押し出したチューブを有機的な形態に成形し、造形的な花器を制作しました。	
作品展示	「Grant Akiyama, Mariah Addis」創作研修館ギャラリー 令和元年11月22日～24日	
氏 名	グラント・アキヤマ Grant Akiyama	
居 住 地	アメリカ	
滞在期間	令和元年10月1日～令和元年11月30日	
滞在日数	61日	
概 略	小カップに泥を盛り付けて、造形的なカップを制作しました。	
作品展示	「Grant Akiyama, Mariah Addis」創作研修館ギャラリー 令和元年11月22日～24日	
氏 名	イ・ユニ LEE Yun hee (2020年度文化庁補助事業対象アーティスト)	
居 住 地	韓国	
滞在期間	令和元年10月9日～令和元年12月14日	
滞在日数	67日	
概 略	ダンテの「神曲」をテーマにストーリーの一部を表現した陶レリーフ制作しました。	
作品展示		

氏 名	エリン・ターコルー Erin Turkoglu (フィンランドセンターからの受け入れ)	
居 住 地	フィンランド	
滞在期間	令和元年10月16日～令和元年11月23日	
滞在日数	39日	
概 略	数種類の色土を使い、エクストルーダーで押し出したひも状の粘土を輪っか状にしたものを重ねて壁面作品を制作しました。	
氏 名	キム・ハキョン KIM Hakyoun	
居 住 地	韓国	
滞在期間	令和元年10月10日～令和2年1月19日	
滞在日数	102日	
概 略	手びねりで植物の種や葉の形の作品を制作しました。 作品には数種類の釉薬を重ね掛けし、複雑な色味を表現しました。	
作品展示	「KIM Hakyoun」創作研修館ギャラリー 令和2年1月12日～18日	
氏 名	ステファニー・ベルトロン Stephanie Bertholon	
居 住 地	フランス	
滞在期間	令和元年11月1日～令和元年12月14日	
滞在日数	44日	
概 略	ろくろを使用して、普段使いの陶器等を制作しました。	
氏 名	ヴァネッサ・ロー Vanessa Lo (再滞在)	
居 住 地	香港	
滞在期間	令和元年11月16日～令和2年1月14日	
滞在日数	60日	
概 略	和紙を泥漿に浸して陶器に置き換え、その上に自国の風景を転写しました。	
作品展示	「Vanessa Lo」創作研修館ギャラリー 令和2年1月5日～10日	
氏 名	ペク・ウンハ PAEK Eun ha	
居 住 地	アメリカ	
滞在期間	令和元年11月19日～令和2年1月11日	
滞在日数	54日	
概 略	手びねりで人体をモチーフとした造形作品を制作しました。	

氏 名 リ・ボナ LEE Bona
 居 住 地 日本 神奈川県
 滞在期間 令和元年11月30日～令和2年2月5日
 滞在日数 68日
 概 略 ろくろや手びねりで、普段使いの陶器を制作しました。



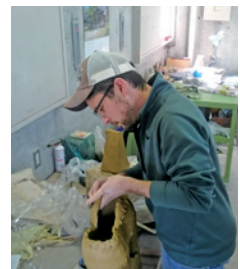
氏 名 ペン・ピンイン PENG Qian, Fiona
 (2020年度文化庁補助事業対象アーティスト)
 居 住 地 中国
 滞在期間 令和元年12月15日～令和2年1月29日
 滞在日数 60日
 概 略 麻布を泥漿に浸し、多方向から引っ張ることで成形しました。



氏 名 奈良 美智 NARA Yoshitomo (再滞在)
 居 住 地 日本 栃木県
 滞在期間 令和元年12月20日～令和元年12月26日
 滞在日数 6日
 概 略 人の頭部をモチーフに造形作品を制作しました。
 また、壺作品への絵付けも行いました。



氏 名 ジャレッド・ファイファー Jarred Pfeiffer
 居 住 地 アメリカ
 滞在期間 令和元年12月20日～令和2年1月20日
 滞在日数 32日
 概 略 ろくろを使用して、扁壺等を制作しました。



氏 名 デール・ドロッシュ Dale Dorosh (再滞在)
 居 住 地 カナダ
 滞在期間 令和2年1月4日～令和2年2月4日
 滞在日数 32日
 概 略 ろくろを使用して壺やカップなどの普段使いの陶器を制作しました。
 作品はビードロ窯にて焼成しました。



氏 名 ティー・クレール Té Claire
 居 住 地 オーストラリア
 滞在期間 令和2年1月5日～令和2年2月4日
 滞在日数 31日
 概 略 ろくろを使用して普段使いの陶器を制作しました。
 作品展示 「Té Claire」創作研修館ギャラリー
 令和2年2月2日～4日



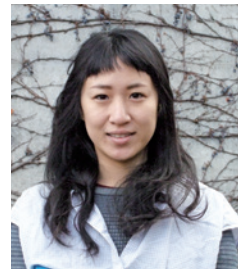
氏 名 ラウ・ヤツワイ LAU Yat wai (再滞在)
 居 住 地 香港
 滞在期間 令和2年1月7日～令和2年3月29日
 滞在日数 83日
 概 略 ろくろや手びねりで茶碗や造形的な作品等を制作しました。
 また作品前面への上絵ラスター着色にも挑戦しました。



氏 名 植松 永次 UEMATSU Eiji (再滞在)
 居 住 地 日本 三重県
 滞在期間 令和2年1月7日～令和2年3月31日
 滞在日数 85日
 概 略 土の塊を削り出して、土自体の形を活かした造形作品を制作しました。



氏 名 ティフ・サン Tif Sung
 居 住 地 アメリカ
 滞在期間 令和2年1月8日～令和2年3月11日
 滞在日数 64日
 概 略 手びねりで造形作品を制作しました。
 作品はビードロ窯で焼成しました。



氏 名 チャン・リンユン ZHANG Ling yun (再滞在)
 居 住 地 中国
 滞在期間 令和2年1月20日～令和2年3月7日
 滞在日数 48日
 概 略 動物を模した小型の造形作品を制作しました。



氏 名 アマンダ・チャンバーズ Amanda Chambers（再滞在）
 居 住 地 イギリス
 滞在期間 令和2年2月1日～令和2年3月31日（次年度に継続）
 滞在日数 60日
 概 略 構造的な造形作品を制作しました。
 作品は5.2㎡ガス窯で焼成しました。



氏 名 矢部 俊一 YABE Shunichi（再滞在）
 居 住 地 日本 岡山県
 滞在期間 令和2年2月4日～令和2年3月31日（次年度に継続）
 滞在日数 57日
 概 略 備前の土を持ち込んで、シャープな形の作品を制作しました。
 作品は自宅の薪窯で焼成予定です。



氏 名 ジーノ・アントニッセ Gino Anthonisse
 居 住 地 オランダ
 滞在期間 令和2年2月1日～令和2年3月21日
 滞在日数 50日
 概 略 靴底や空き缶を石膏取りして、球などの幾何学造形と組み合わせて
 作品としました。



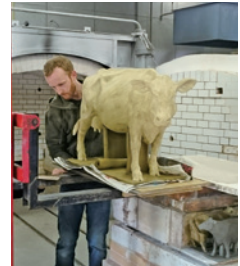
ゲスト・アーティストの招聘

受け入れ実績 総数 8組9人(延べ14人)
 国内 5組6人 海外 3人
 (内訳) 日本在住-6人(11人) フランス-1人、アメリカ-1人、ウクライナ-1人

氏 名 フタムラヨシミ FUTAMURA Yoshimi
 居 住 地 フランス
 滞在期間 平成31年4月18日～令和元年6月6日
 滞在日数 50日
 概 略 成形した器に磁器化粧を施し、内側からさらに押し広げることで作品表面にヒビを入れた作品を制作しました。



氏 名 エリオット・カイザー Elliott Kayser
 居 住 地 アメリカ
 滞在期間 平成31年4月10日～令和元年5月31日
 滞在日数 52日
 概 略 アメリカの食糧問題をテーマに作品を制作しました。塑像した牛の体に長石の塊を埋め込んで焼成し、石爆により長石が外に溶け出し、病的な牛を表現しました。



氏 名 金理有 KIM Riyou
 居 住 地 日本 神奈川県
 滞在期間 (前年度から継続) 平成31年4月1日～令和元年6月30日
 令和2年2月4日～令和2年2月29日
 滞在日数 117日
 概 略 信楽にあるタヌキやカエルなどの石膏型を使用し、自身の作風の模様を施すことで、現代的なタヌキやカエルの置物を作り出しました。



氏 名 秋永 邦洋 AKINAGA Kunihiro
 居 住 地 日本 兵庫県
 滞在期間 令和元年7月21日～令和元年8月30日
 令和元年3月24日～令和元年3月28日
 滞在日数 46日
 概 略 動物の骨をモチーフに制作しています。大型作品のためのパーツの成形、また陶による作品展示台の制作を行いました。



氏 名 竹内 真吾 TAKEUCHI Shingo
 居 住 地 日本 愛知県
 滞在期間 令和元年7月23日～令和元年8月30日
 令和元年10月23日～令和元年10月27日
 令和元年12月24日～令和元年12月28日
 令和2年3月22日～令和2年3月28日

滞在日数 56日

概 略 素材が土であることを活かした、造形的な作品を制作しました。今回の滞在では焼成によっておこる作品の崩壊を期待して窯詰めの方法や焼成方法に工夫を凝らしました。



氏 名 鈴木 秀昭 SUZUKI Hideaki
 居 住 地 日本 静岡県
 滞在期間 令和元年11月6日～令和2年1月25日

滞在日数 81日

概 略 器への色絵金銀彩による絵付けの他、石膏型を使った造形的な作品を制作しました。



氏 名 バレンティナ・ベロ Valentina Bero
 居 住 地 ウクライナ
 滞在期間 令和元年11月12日～令和元年12月18日

滞在日数 37日

概 略 屋外設置用の作品を制作しました。脚部、胴体、胸部の3分割で制作し、顔料による絵付けを施しました。作品は将来的に屋外に設置予定です。



氏 名 米谷 健+JULIA KEN+JULIA YONETANI
 居 住 地 日本 京都府
 滞在期間 令和2年1月7日～令和2年3月31日

滞在日数 85日

概 略 服飾販売用のマネキンに陶器の小さなピースを敷き詰めて貼り付けました。社会問題、食糧問題、また滞在当初に流行した新型コロナウイルスについて言及した作品を制作しました



オープン・スタジオ、講演会等の開催

・第1回オープン・スタジオ

開催日：平成31年4月20日(土)

会 場：陶芸館ギャラリー

講 師：大石 早矢香

参加者：50人

内 容：ゲスト・アーティスト大石早矢香と創作研修館スタッフによる座談会を開催しました。

・第2回オープン・スタジオ

開催日：令和元年5月26日(日)

会 場：管理棟視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：エリオット・カイザー、フタムラヨシミ

参加者：32人

内 容：ゲスト・アーティストエリオット・カイザーとフタムラヨシミによるアーティスト・トークを開催しました。

・第3回オープン・スタジオ

開催日：令和元年7月28日(日)

会 場：創作研修館スタジオ

講 師：竹内 真吾、秋永 邦洋

参加者：12人

内 容：ゲスト・アーティスト竹内真吾と秋永邦洋の作品制作現場を中心に、スタジオ内の見学をおこないました。

・第4回オープン・スタジオ

開催日：令和元年8月25日(日)

会 場：創作研修館スタジオ、FUJIKI

講 師：ライアン・ホイ、リ・チェンリャン

参加者：16人

内 容：創作研修館でのスタジオ見学、またFUJIKIで開催されるスタジオ・アーティストの展示会にて出品作家による作品解説をおこないました。

・第5回オープン・スタジオ

開催日：令和元年10月27日(日)

会 場：管理棟視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：竹内 真吾

参加者：21人

内 容：ゲスト・アーティスト竹内真吾によるアーティスト・トークを開催しました。

・第6回オープン・スタジオ

開催日：令和元年11月24日(日)

会 場：管理棟視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：イ・ユニ

参加者：7人

内 容：韓国陶芸財団との交換プログラムで滞在のスタジオ・アーティスト イ・ユニによるアーティスト・トークを開催しました。

・第7回オープン・スタジオ

開催日：令和元年12月7日(土)

会 場：管理棟視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：バレンティナ・ベロ

参加者：16人

内 容：ゲスト・アーティスト バレンティナ・ベロによるアーティスト・トークを開催しました。

・第8回オープン・スタジオ

開催日：令和2年1月18日(土)

会 場：管理棟視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：鈴木 秀昭

ペン・ピンイン

参加者：25人

内 容：ゲスト・アーティスト鈴木秀昭と中国美術学院との交換プログラムで滞在のスタジオ・アーティスト ペン・ピンインによるアーティスト・トークを開催しました。

・アーティスト・トーク

開催日：令和2年3月29日(日)

会 場：管理棟視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：米谷健+JULIA

参加者：10人

内 容：ゲスト・アーティスト米谷健+JULIAによるアーティスト・トークを開催しました。

スタジオ・アーティスト、ゲスト・アーティストによる展覧会活動等

金理有

特別企画「交流と実験－新時代の〈やきもの〉をめざして－」展

開催日：令和元年6月18日～9月6日

会 場：陶芸の森陶芸館

「HIDDEN SPOT」

開催日：令和2年2月26日～3月29日

会 場：西武渋谷店オルタナティブスペース（東京都）

松永圭太

「第14回パラミタ陶芸大賞展」

開催日：令和元年6月1日～7月28日

会 場：パラミタミュージアム（三重県）

「松永圭太 展」

開催日：令和元年6月7日～6月16日

会 場：プラグマタギャラリー（東京）

「±8 — A Group Exhibition of Contemporary Ceramics」

開催日：令和元年7月12日～9月8日

会 場：Taka Ishii gallery（香港）

今野朋子**「TOMOKO KONNO EXHIBITION」**

開催日：令和元年9月11日～9月17日

会 場：岡山天満屋（岡山県）

「－驚愕－超絶の世界展」

開催日：令和元年9月14日～11月10日

会 場：瀬戸内市立美術館（岡山県）

橋本知成**「橋本知成展」**

開催日：令和元年5月26日～6月2日

会 場：目黒陶芸館別館（三重県）

特別企画「交流と実験－新時代の〈やきもの〉をめざして－」展

開催日：令和元年6月18日～9月6日

会 場：陶芸の森陶芸館

「LOEWE FOUNDATION CRAFT PRIZE 2019」

開催日：令和元年6月26日～7月22日

会 場：草月会館（東京都）

モナ・アリ [Mona Ali]

開催日：令和元年6月27日

会 場：創作研修館ギャラリー

マリアン・デ・フォークト [Marjan De Voogd]

開催日：令和元年5月28日

会 場：創作研修館ギャラリー

ネルソン・リン [Construction of Memorie]

開催日：令和元年6月24日

会 場：陶芸の森太陽の広場

岩村遠**「En Iwamura : New works」**

開催日：令和元年8月31日～9月6日

会 場：Ross + Kramer gallery（アメリカ）

特別企画「交流と実験－新時代の〈やきもの〉をめざして－」展

開催日：令和元年6月18日～9月6日

会 場：陶芸の森陶芸館

ヘミッシュ・ジャクソン [For the love of Old Shigaraki Pots]

開催日：令和元年8月2日～8月3日

会 場：創作研修館ギャラリー

ライアン・ホイ、リ・チェンリャン「碳烤哥吉拉佐茶」

開催日：令和元年8月17日～8月25日

会 場：FUJIKI（信楽町）

ヒャン・ユージン [HWANG Yoo jin]

開催日：令和元年8月23日～8月25日

会場：創作研修館ギャラリー

ワン・ポン [王鵬展]

開催日：令和元年8月29日

会場：創作研修館ギャラリー

浅井睦子 [浅井睦子 陶展]

開催日：令和元年10月30日～11月5日

会場：京都高島屋6階工芸サロン（京都府）

レベッカ・タム [Rebecca Tam]

開催日：令和元年11月2日

会場：創作研修館ギャラリー

シン・ヌリ [Shin Nuri]

開催日：令和元年11月19日～21日

会場：創作研修館ギャラリー

グラント・アキヤマ、マライア・アディス [Grant Akiyama, Mariah Addis]

開催日：令和元年11月22日～24日

会場：創作研修館ギャラリー

チャン・ユーチェン [Yu-chien Chan]

開催日：令和元年11月26日～28日

会場：創作研修館ギャラリー

ヴァネッサ・ロー [Vanessa Lo]

開催日：令和2年1月5日～10日

会場：創作研修館ギャラリー

キム・ハキョン [KIM Hakyoung]

開催日：令和2年1月12日～18日

会場：創作研修館ギャラリー

ティー・クレール [Té Claire]

開催日：令和2年2月2日～4日

会場：創作研修館ギャラリー

ラウ・ヤツワイ [記憶の中の静かな嵐]

開催日：令和2年3月17日～22日

会場：FUJIKI（信楽町）

鈴木秀昭 [鈴木秀昭展]

開催日：令和2年3月5日～3月16日

会場：亀山画廊（静岡県）

国内外のレジデンス機関との連携

I. 海外の機関との連携

文化庁からの補助金を得て、海外の2レジデンス機関、韓国陶芸財団（韓国）、中国美術学院（中国）と提携し先方から3人の作家を招へいし、当方からも2人の作家を派遣し、レジデンス機関との間の人的交流を活性化しました。*中国美術学院への派遣については、中国国内での新型コロナウイルス流行のため延期しました。

また、フィンランド文化センター、台湾文化センター、香港バプティスト大学との共同プログラムで3人の作家をスタジオ・アーティストとして受け入れました。

・韓国陶芸財団（韓国）

受入者1：キム・エーヨン（韓国）	受入期間	令和元年9月7日～10月7日
受入者2：イ・ユニ（韓国）	受入期間	令和元年12月15日～令和2年1月29日
派遣者1：大石早矢香	派遣期間	Clayarch Museum, Museum（慶尚南道、金海） 令和元年9月1日～9月26日 Korea Ceramic Foundation（京畿道、利川） 令和元年9月26日～10月20日
派遣者2：原 菜央	派遣期間	Clayarch Museum, Museum（慶尚南道、金海） 令和元年9月7日～9月25日 Korea Ceramic Foundation（京畿道、利川） 令和元年9月26日～10月26日

・香港バプティスト大学

受入者：ライアン・ホイ（香港）	受入期間	令和元年6月4日～8月31日
-----------------	------	----------------

・台湾文化センター

受入者：リ・チェンリャン（台湾）	受入期間	令和元年6月4日～8月30日
------------------	------	----------------

・フィンランドセンター

受入者：エリン・ターコルー（フィンランド）	受入期間	令和元年10月16日～11月23日
-----------------------	------	-------------------

II. 国内の機関との連携

文化庁の補助事業として、「滋賀県立陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス国際文化交流促進事業2019」において、2日間にわたって2019年度のアーティスト・イン・レジデンス研究会を開催（通算6回目）し、AIRについてのケース・スタディおよび参加機関の間で課題解決や評価について議論を深めました。

アーティスト・イン・レジデンス研究会及びトークショー

開催日	令和元年11月29日(金)、30日(土)
会場	女子美術大学（東京都）
講師	エリン・ターコルー（フィンランド）
主催	公益財団法人 滋賀県陶芸の森（会場、企画立案、当日運営）
参加機関	女子美術大学（東京都）、益子国際工芸交流館／益子陶芸美術館（栃木県）、公益財団法人 瀬戸市文化振興財団（愛知県）、公益財団法人京都市芸術文化協会（京都府）、奈良県国際芸術家村推進室（奈良県）

●第1日目 アーティスト・イン・レジデンス ケース・スタディ

参 加 者：約60人

- ・「ジェニファー・リーを迎えて」
大西昌子／阿部智也（益子陶芸美術館／陶芸メッセ・益子）
- ・「Y-AIR フィンランドケース」
辻真木子（遊工房アートスペース）
- ・「Artist in Residency at the Shigaraki Ceramic Cultural Park (provisional)」
エリン・ターコルー（陶芸家、フィンランド）
- ・「Art Networking and well being the powerful and energetic Finnish Women Artists at the Finish Artist' s Colonies」
Dr. アンナ・マリア・ウィルヤネン（フィンランドセンター ディレクター）
- ・まとめ 滋賀県立陶芸の森 杉山道夫

●第2日目 アーティスト・イン・レジデンス研究会

「各レジデンスの紹介、AIRの評価、課題の解決に向けた意見交換」

モデレーター：菅野 幸子（AIR Lab アーツ・プランナー／リサーチャー）

日沼 禎子（女子美術大学教授）

参 加 者：約30人

- ・クリエイティブレジデンシー有田の取り組み
石澤 依子（クリエイティブレジデンシー有田）
東海林 慎太郎（アート・イニシアティヴ・トウキョウA.I.T.）
- ・各団体からの近況報告 成果、課題、その他情報
大西 昌子（益子陶芸美術館／陶芸メッセ・益子）
勝冶 真美（京都市芸術センター）
べ・スジョン／屋我優人（瀬戸市新世紀工芸館）
安藤 祐輝（滋賀県立陶芸の森）
- ・中国景德鎮のアーティスト・イン・レジデンスの現状について
杉山 道夫
- ・文化庁AIR共同研究・調査状況について
日沼 禎子
- ・評価指標づくりなどについての意見交換
菅野 幸子

※アーティストの滞在が年度をまたぐ場合、前年度にカウントする
 ※同じアーティストが複数回滞在する場合、各滞在ごとにカウントする

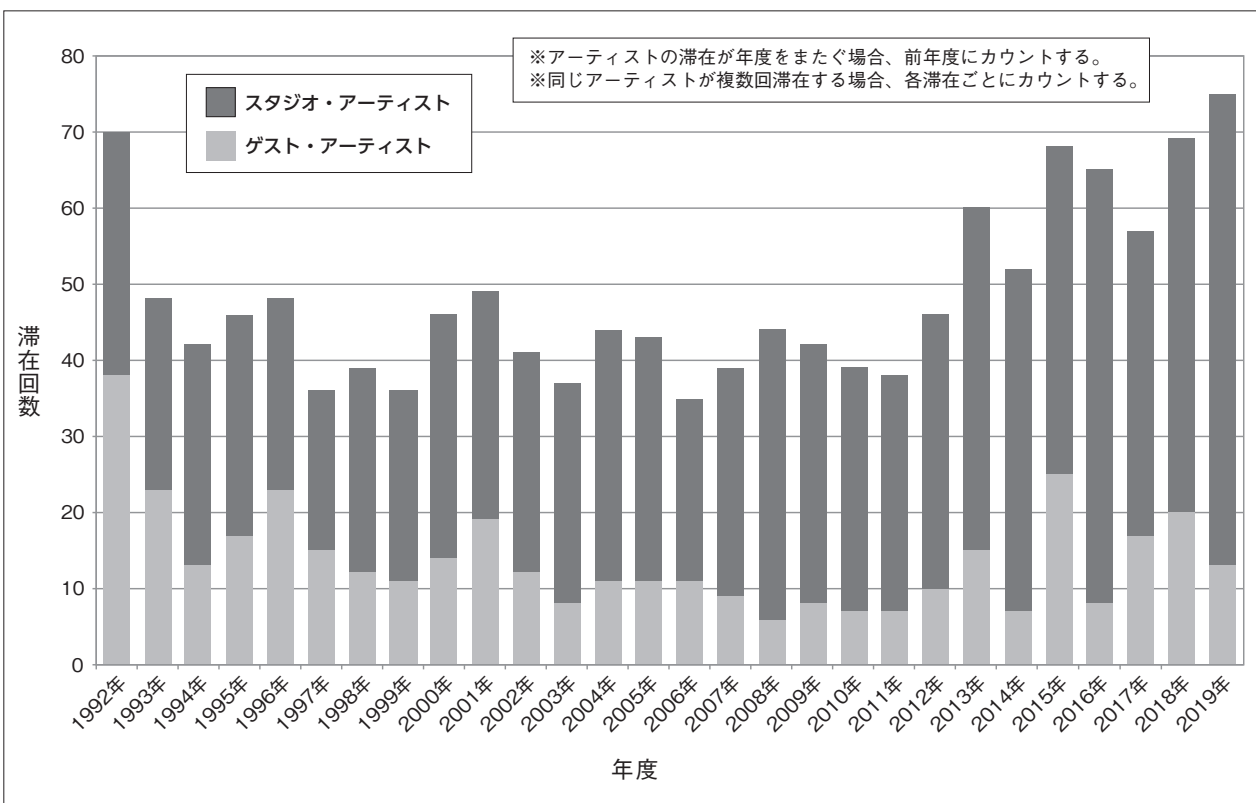
国別・年度別アーティスト滞在回数

滞在回数 国名(日本語)	年 度																				総計								
	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
アイスランド													1		1	1	1			1									5
アイルランド											1								1										2
アメリカ合衆国	8	11	7	7	6	1	5	4	2	6	2	7	1	7	4		2		1	3	6	4	5	4	4	6	4	11	128
アルゼンチン	1					2																	1	1	2	1		8	
イ ギ リ ス	1	1	1	2	1	1		2	4		2			3	1		2		1			2	4	3	1		5	2	39
イスラエル							1																					1	
イ タ リ ア	2			2	1	1									1	1					1	1	1		1	1			13
イ ラ ク													1															1	2
イ ン ド																	1			1	1								3
インドネシア																	1	1		1									3
ウクライナ																											1		1
エストニア																		1	1										2
オーストラリア	1				1	1		1			2				1	1	1	2		1	1		1	2	2		2	1	21
オ ラ ン ダ	1		1	1		1				1			2	1		1	1	1			1		1		2	2	1	2	20
ガ ー ナ											1																		1
カザフスタン									1																				1
カ ナ ダ					1					1		3							2		1		4	4	1	3	2	2	24
カンボジア																	1												1
ギリシャ																										1			1
グアテマラ																										1			1
コロンビア																											1		1
ジャマイカ																										1			1
シンガポール													1			1									1	2		1	6
ス イ ス	1				1		1				2	1	2	4	1									1		1			15
スウェーデン						1			1			1	1		1									1	1	1	4		12
ス ペ イ ン						1			1	1	2	2		2															9
セルビア				1																									1
タ イ										1								1								1	1		4
チ ェ コ				1				1										1				2	2						7
デンマーク				1		2	1		2			2	1	1	1	1			2	1		1		3					19
ド イ ツ									3	3	1	3	2	1							1	1		2		1			18
ニュージーランド							1											1						1				1	4
ノルウェー					1		1									4								1		1			8
パキスタン													1																1
ハンガリー							1	1	1				1			1			1										6
バングラデシュ	1																												1
フィリピン																									1				1
フィンランド				1	1			1	2	1			3	2	1	1	1	1				1				1	1	1	19
ブラジル																							1						1
フランス						1							2	3	1	2	5	5	1	4	3	3	4	5	7	3	3	6	58
ペルー								1																1					2
ベルギー													1			1	1	2	2		1				1	1		1	11
ポーランド						1																							1
ボリビア										1					1		1												3
ポルトガル		1	1										1																3
メキシコ						1								1											1				2
ヨルダン													1																1
ラオス																	2												2
ルーマニア									1		1																		2
ロシア連邦																						1							1
香港											1					3	2	7	2				2	1	2	1	5	4	30
台湾	1					1	3	1			1		2	3			2	1	1	4	4	3	6	2	2	2	3	4	46
大韓民国	3	2	1	2	2	3	3	3	1	2	4	1			2	1	3	1	1				2	6	1		4	5	53
中国		1			1										1				1		2	3	2	1			2	5	19
日本	50	32	31	28	32	18	22	21	27	32	21	17	20	15	19	20	17	17	22	21	24	40	17	27	36	26	30	24	706
総 計	70	48	42	46	48	36	39	36	46	49	41	37	44	43	35	39	44	42	39	37	46	60	52	68	65	57	69	73	1,351

種別・年度別アーティスト滞在回数

※アーティストの滞在が年度をまたぐ場合、前年度にカウントする。
 ※同じアーティストが複数回滞在する場合、各滞在ごとにカウントする。

滞在回数 年度	種 別		総 計
	guest	studio	
1992	38	32	70
1993	23	25	48
1994	13	29	42
1995	17	29	46
1996	23	25	48
1997	15	21	36
1998	12	27	39
1999	11	25	36
2000	14	32	46
2001	19	30	49
2002	12	29	41
2003	8	29	37
2004	11	33	44
2005	11	32	43
2006	11	24	35
2007	9	30	39
2008	6	38	44
2009	8	34	42
2010	7	32	39
2011	7	30	37
2012	10	36	46
2013	15	45	60
2014	7	45	52
2015	25	43	68
2016	8	57	65
2017	17	40	57
2018	20	49	69
2019	13	60	73
総 計	390	961	1,351



つちっこプログラムー子どもやきもの交流事業ー

滋賀県立陶芸の森「子どもやきもの交流事業」と陶芸の森内で活動を行う「世界にひとつの宝物づくり実行委員会」からなる、陶芸家に関わる「土」を素材とした体験事業「つちっこプログラム」は、今年で18年目を向かえました。地域の陶芸家やボランティア、学校など共同して、子供や障がい者に古琵琶湖層からの贈り物である信楽の「土」を用いて、ものをつくることの喜びや感動、本物の芸術を体感できる教育プログラムを提供し、次世代の心豊かな人材育成に努めています。また、つちっこプログラムは、第二期滋賀県教育振興基本計画において、滋賀県の自然や文化、地域を学ぶ体験活動のひとつとして位置づけられています。

本物と出会うー総合学習プログラム 陶芸の森来園プログラムと出張事業（連携事業）

本物と出会うー総合的学習プログラム／陶芸の森来園プログラムと出張授業Ⅰ（連携授業）

小・中・高等学校を対象に陶芸の素晴らしさや陶芸の森を広めるために、学校へ出張授業や来園プログラムを進めています。学校・美術館・文化ボランティア・陶芸家の四者連携のプログラムです。

令和元年度では、16年前に小学6年生で作陶体験をされた先生が、つちっこプログラムを実施。当時作陶を指導した陶芸家との嬉しい再会もありました。

【令和元年度 子どもやきもの交流事業 実績】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備 考
①	来園プログラム	10件	990人	県内学校 8件 576人 県外学校 2件 414人
②	出張授業Ⅰ	110件	6,477人	※すべて 県内小中高等学校
③	来園制作 (ねんどとあそぶ)	4件	205人	一般の親子
④	研修会	2件	50人	MIHO MUSEUMにて協力（講演） 1件50人 ユニバーサルミュージアム研究会協力 1件
合 計		126件	7,722人	幼児～高校生 7,653人 大人 69人 講座平均人数 61.2人



世界にひとつの宝物づくり

[滋賀県負担金、参加者負担金、その他の収入より運営]

子どもや障がい者などのみなさんが地元陶芸作家や地域ボランティアとの協力により「土」という素材を用いて、ものを作ることの喜びや感動を体感できることによって、次世代の心豊かな人材を育成する新しい滋賀モデルを創造していくプログラムです。

令和元年度は、特別講座に穴窯焼成のパイオニア・神山清子氏を迎え、ご自宅の工房見学や作陶指導をしていただき、参加者にとっては貴重な体験となりました。

【令和元年度 世界にひとつの宝物づくり 実績】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備 考			
①	来園制作（学校）	41件	1,945人	県内	33件	1,665人	
				県外	4 件	218人	
				特別支援学校・学級	3 件	43人	
				適応指導教室	1 件	19人	
	（団体）	7 件	105人	県内団体	6 件	99人	
				県外団体	1 件	6 人	
②	出張授業Ⅱ	38件	533人	特別支援学校・学級	27件	309人	
				美ココロ・パートナーシップ	5 件	77人	
				イベント	6 件	147人	
③	特別講座	7 件	162人	一般の親子			
④	研究会・研修会	9 件	203人	ミシガン大大学事前研修会	1 件	16人	
				滋賀県立聾話学校教職員研修会	1 件	16人	
				レイカディア大学	1 件	20人	
				夏季研修会	1 件	38人	
				滋賀大学	1 件	11人	
				ユニバーサル ミュージアム研究会	2 件	76人	
				下之郷史跡公園	2 件	26人	
合 計		102件	2,948人	幼児～大学生	2,586人	大人	362人
				講座平均	28.9人		



産業の振興に関する事業

県内陶器産業の振興

信楽焼の持っている伝統技術を将来に継承し、人材育成を図ること、いわば将来の発展への足場強化を目的に、滋賀県立信楽高等学校の外部研修の受け入れと地域の業界の若手後継者等を対象としたトークショーを開催しました。また、信楽産地の新製品開発をデザインの側面から支援することを目的に、業界へのデザイン提供を図るための、既存製品をベースにした加飾による新製品の開発を実施しました。

信楽産業展示館の活用

信楽産業展示館での展示

平成30年度に試作した加飾デザイン作品の展示をおこないました。

展示期間：令和元年10月12日(土)～11月10日(日)

展 示 品：信楽焼の蛙の置物（デザイン：金理有）

人材育成事業

(1) 滋賀県立信楽高等学校への支援事業

実施回数：5回 受講者数：151人

デザイン科外部研修受け入れ

実施日：9月12日(木)

参加者：16人（3年生）

講 師：榎本佳子

「つくられるものの公共性に対する認識」と「個人の自由な表現」の両立という、デザインにおけるバランス感覚を養うためデザイン系列3年生を対象に、陶芸の森にて実習をおこないました。榎本佳子氏の指導のもとに信楽の産業製品である陶器製の椅子に「四季」をテーマにした絵付けをしました。



2年生 セラミック系列 セラミック実習A 特別授業

登り窯 焼成実習

実施日：10月25日(金)

参加者：21人（2年生）

信楽焼、登り窯に関する講義、薪割り体験、焼成体験をおこないました。

伝統的で大規模な登り窯の焼成を体験することで、陶芸作品に対する理解と作陶活動に対する意欲の向上を図りました。



茶道と陶芸の体験実習

実施日：10月29日(火)

参加者：42人（1年生）

講師：奥田英山（茶道）

神崎秀策（茶道）

石山哲也（陶芸）

1年生を対象に陶芸に関する知識と関心を高めるために、奥田英山氏による茶道、陶芸に関する講義をしていただきました。その後、グループに分かれて茶道体験、制作に関する考え方を学ぶ目的で、石山哲也氏によるスライドレクチャーをおこないました。

野焼き体験実習

1年生 産業社会と人間 校外学習

実施日：11月19日(火)

参加者：52人（1年生）

生徒が「産業社会と人間」で学んできた陶芸史の内容を実体験することで、陶芸に対する理解を深めました。また、作陶や造形、野焼き焼成作業、陶芸の森施設見学を通して、2年次系列選択の選考材料としました。



セラミック科2年

作家指導の陶芸制作実習について

実施日：11月26日(火)

講師：田中哲也

参加者：20人（2年生）

講師が設定した、塊からつくる花入れ、たたら成型による角皿の2種類のテーマで制作をおこないました。作家から造形、制作に関する考え方、技法を学びました。

(2)「対話の森」の開催

「神山清子－世界のやきものの旅を語る」

未稿

開催日：11月2日(土)

観覧者：101人

スピーカー：神山清子（陶芸家）×松井利夫（陶芸の森 館長）



「深淵なる薪窯の世界 信楽とアメリカ」

信楽焼の魅力を探求し続ける陶芸家の神山清子氏と若手陶芸家の篠原希氏をお招きし、それぞれの出会いや体験をもとに、薪窯についてお話していただきました。

開催日：1月11日(土)

観覧者：170人

スピーカー：神山清子（陶芸家）×篠原希（陶芸家）×
松井利夫（陶芸の森 館長）



デザイン活性化事業

既存製品への加飾によるデザイン提案

信楽焼の蛙の置物を取り上げ、デザインをゲスト・アーティストとして滞在した金理有氏に依頼し、新しい感覚の試作品が出来上がりました。2019年秋に産業展示館での展示を行い、業界へのデザイン提案の一環としました。

「デザインコンペ がちゃがちゃ」の実施

趣 旨 陶芸館ミュージアムショップのがちゃがちゃの商品開発を目的に、作品の公募をおこないました。70点の応募があり、入賞3点、入選3点を選びました。入賞作品は、陶芸の森30周年を記念してがちゃがちゃで販売、入選作品はミュージアムショップで展示しデザイン啓発の一環とします。

主 催 等 主催：公益財団法人滋賀県陶芸の森
後援：信楽陶器工業協同組合、信楽陶芸作家協会

募集期間 令和元年7月23日～12月27日

応募点数 70点

審査結果 金賞、銀賞、銅賞各1点、入選3点を選定しました。

金賞 福留 弘成（滋賀県）「ケモノ風呂ーズ」

銀賞 遠藤 未葉（宮城県）「夢中」

銅賞 保庭 郡（滋賀県）「ミニ火鉢」

入選 下道 芽吹（岩手県）「脱力系スタンド～脱力ペンギン～」

戸川 みどり（佐賀県）「都市伝説!? ちいさなおじさん現る！」

南野 いこい（京都府）「歯」



信 楽 産 業 展 示 館

信楽産業展示館運営事業

展示会の開催（甲賀市が信楽焼振興協議会に委託）

期 間	展示内容	担 当	入館者数
平成31年 4 月 2 日 令和元年10月 2 日	信楽焼産業総合展	信楽陶器卸商業協同組合	50,607人
令和元年10月12日 令和元年11月10日	信楽陶器総合展	信楽陶器工業協同組合	15,191人
令和元年11月16日 令和 2 年 3 月31日	信楽焼産業総合展	信楽陶器卸商業協同組合	40,272人
合 計			111,011人 (74,876)

※入場者数の（ ）書きはH30年度の実績
※令和 2 年 2 月29日～ 3 月24日 臨時休館

企画展 ギャラリー展示

期 間	テーマ	担 当
平成31年 4 月 2 日 令和元年 5 月26日	ほろ酔いうつわと地酒展	企画事業委員会
令和元年 6 月 1 日 令和元年 6 月23日	信楽から吹いてくる風展	社会福祉法人しがらき会
令和元年 6 月29日 令和元年 7 月28日	信楽焼ビアカップ展	企画事業委員会
令和元年 8 月 3 日 令和元年 9 月29日	いまどき、しがらき、かやりき展	企画事業委員会
令和元年11月16日 令和元年12月 8 日	飯碗と茶の器展	企画事業委員会
令和元年12月14日 令和 2 年 1 月13日	令和 2 年干支（庚子）展	信楽陶器卸商業協同組合
令和 2 年 1 月18日 令和 2 年 3 月22日	信楽焼の動物展	企画事業委員会

そ の 他 の 事 業

陶芸の森ミュージアムショップ6センス

令和元年度は、春の「陶の花 FLOWERS」展では出品作家の作品や、花をモチーフとした雑貨を特集しました。また、博物館系モチーフの型抜きが楽しめるクッキー型も新たにミュージアムグッズに加わりました。

夏の「交流と実験」展は、マンゴーアートカンパニー企画の「C/STORE -Art & Design-」ブローチ特集、出品作家の作品や、家庭で楽しめる粘土工作用グッズなどを特集しました。

秋の「北大路魯山人 古典復興」展では、魯山人好みの器、関連グッズや書籍を特集、好評をいただきました。また、NHKの朝の連続テレビ小説「スカーレット」の関連商品の近江麻のスカーフやハンカチも人気でした。

特集企画内容

特別企画「陶の花 FLOWERS」展 平成31年3月12日(火)～令和元年6月9日(日)

特集：出品作家による小品、花モチーフの文房具雑貨や布小物、ハーブティー、関連書籍など

特別企画「交流と実験」展 令和元年6月18日(火)～9月6日(金)

特集：出品作家の器作品、「C/STORE -Art & Design-」ブローチ特集、家庭で楽しめる粘土、工作用品、陶芸実用書籍など

特 別 展「北大路魯山人 古典復興」 令和元年9月14日(土)～12月1日(日)

特集：北大路魯山人グッズ、魯山人好みの器、スカーレット関連グッズ、関連書籍など

特 別 展「リサ・ラーソン-創作と出会いをめぐる旅」 令和2年3月25日(水)～6月28日(日)

特集：リサ・ラーソンデザインの陶器、グッズ、関連書籍など



「北大路魯山人 古典復興」展の
ミュージアムショップ

職員の出向

松井 利夫（公益財団法人滋賀県陶芸の森理事長）

信楽焼振興協議会理事

杉山 道夫（事務局次長（技術）兼創作研修課長）

陶都・信楽まつり実行委員会事務局幹事

秀明文化財団 秀明文化寄金賞選考委員

秀明文化財団 信楽伝統陶芸作家育成対象者選考委員

奈良県国際芸術家村AIR研究会委員

文化庁・大学等共同研究事業「新たな文化芸術の創造を支える活動支援及び人材育成のためのプラットフォーム形成研究」共同研究員

松波 義実（創作研修課主査）

信楽高等学校支援協議会幹事

信楽まちなか芸術祭実行委員

信楽焼振興協議会企画事業委員

信楽町観光協会理事

信楽たぬきの日実行委員

資 料

収蔵品収集事業

滋賀県立陶芸の森陶芸館 収蔵品収集実績

収蔵年度	区分	海外の現代陶芸	日本の現代陶芸	滋賀ゆかりの陶芸	クラフトと陶磁デザイン	計
平成元年～17年度	購 入	143	191	173	17	524
	寄 付	153	124	176	118	571
	計	296	315	349	135	1,095
平成19年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	17	17	14	7	55
	計	17	17	14	7	55
平成21年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	11	7	38	10	66
	計	11	7	38	10	66
平成23年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	22	6	63	0	91
	計	22	6	63	0	91
平成25年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	3	17	92	11	123
	計	3	17	92	11	123
平成26年度	購 入	0	1	0	0	1
	寄 付	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	0	1
平成27年度	購 入	0	0	1	0	1
	寄 付	11	5	31	7	54
	計	11	5	32	7	55
平成29年度	購 入	0	0	1	0	1
	寄 付	23	10	42	0	75
	計	23	10	43	0	76
平成30年度	購 入	0	0	5	0	5
	寄 付	17	35	11	1	64
	計	17	35	16	1	69
令和元年度	購 入	0	0	8	0	8
	寄 付	3	2	10	1	16
	計	3	2	18	1	24
合 計	購入合計	143	192	188	17	540
	寄付合計	260	223	477	155	1,115
総 計		403	415	665	172	1,655

令和元年度 陶芸館収蔵作品一覧

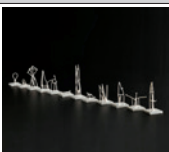
■海外の現代陶芸

分類番号	作者名	国名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質	作品写真	収蔵方法
FW-229	禹 寛壕	韓国	一万個のプレゼント	2014／平成26年	高59.0×幅59.0×奥行5.0 (アクリルケースのサイズ)	陶土		寄付
FW-230	エリオット・カイザー	アメリカ	群れの免疫	2019／令和元年	高19.5×幅32.5×奥行12.5	陶土		寄付
FW-231	エリオット・カイザー	アメリカ	上半身	2019／令和元年	高55.5×幅47.5×奥行31.5	陶土		寄付

日本の現代陶芸

分類番号	作者名	国名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質	作品写真	収蔵方法
J-395	北大路 魯山人	日本	書 樂水樂山	1930-1939／昭和5-14年	高102.0×幅117.4 (衝立=高118.0×幅133.0×奥行37.1)	紙本墨書		寄付
FJ-120	小松 誠	日本	加飾減飾.No.3	2015／平成27年	①カラフル=高8.5×幅12.0×奥行10.0 ②白黒=高8.0×幅11.0×奥行9.0 ③1穴=高7.0×幅11.5×奥行9.5 ④2穴=高8.5×幅9.5×奥行9.5 ⑤3穴=高8.0×幅8.0×奥行8.0	磁土		寄付

滋賀ゆかりの陶芸（近現代）

分類番号	作者名	国名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質	作品写真	収蔵方法
SC-288	青木 孝	日本	Composition	2005／平成17年	最大高10.0、最大幅4.7、最大奥行5.4 (インスタレーション)	磁土		購入
SC-289	上田 直方（六代）	日本	信楽鬼桶水指	2019／令和元年	高（蓋無15.6）×口径20.8×底径15.4	陶土		購入
SC-290	奥田 英山	日本	信楽鏝耳花入	2019／令和元年	高25.4×幅16.3×奥行11.8×口径8.9・7.9×底径10.3	陶土（黄瀬土）		購入
SC-291	織田 阿奴	日本	陶管 レクイエム	2019／令和元年	高12.6×幅23.4×奥行23.4	信楽透土		購入

分類番号	作者名	国名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質	作品写真	収蔵方法
SC-292	神崎 継春	日本	信楽緋文鉢	2015／ 平成27年	高12.0×口径52.5・52.0× 底径16.4	陶土		購入
SC-293	神山 直彦	日本	信楽灰釉櫛目 組鉢	2019／ 令和元年	大鉢=高7.5×口径35.1×底 径12.8／鉢=高6.2×口径 20.0×底径7.3	陶土 (蛙目・ 木節・赤 土・白土)		購入
SC-294	高橋 楽斎 (五代)	日本	信楽大壺	2019／ 令和元年	高38.0×口径24.4×頸径 20.6×胴径41.8×底径14.4	陶土		購入
SC-295	藤本 秀	日本	ツインタワー	2000／ 平成12年	高48.0×幅17.0×奥行18.0 ／高44.5×幅16.0×奥行 18.0	陶土		購入
SC-296	谷野 明夫	日本	黒地縞堆二彩 小花紋陶管	2017／ 平成29年	高6.0×縦36.5×横36.5	陶土		寄付

滋賀ゆかりの陶芸 (古陶磁)

分類番号	作者・窯名	国名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質	作品写真	収蔵方法
SO-292	信楽焼	日本	海鼠釉湯たんぽ	20C前半／ 明治時代後期- 昭和時代前期	左=高14.0(栓無)×幅27.8 ×奥行17.0／ 右=高14.0(栓無)×幅27.6 ×奥行17.0	陶土・木		寄付
SO-293	姥餅焼	日本	灰釉掛花入	19C前半／ 江戸時代後期	高11.6×口部9.5・8.4× 胴部9.8・8.9×底径5.2	陶土		寄付
SO-294	湖東焼	日本	赤絵金彩詩文人 物図徳利	19C前半／ 江戸時代後期- 明治時代初期	高15.5×口部3.0・2.8× 底径(胴径)6.3／ 高15.1×口部2.8× 底径(胴径)6.1	磁土		寄付
SO-295	湖東焼	日本	染付詩文人物図 徳利	19C前半／ 江戸時代後期- 明治時代初期	高15.4×口部2.8・2.8× 胴径6.3×底径6.0／ 高15.3×口部2.7・2.8× 胴径6.2×底径6.2	磁土		寄付
SO-296	圓山湖東焼	日本	染付月に梅図鉢	19C後半／ 明治時代初期	高7.1×幅14.8×奥行15.4× 底径6.0	陶土		寄付
SO-297	湖南焼・永樂保全	日本	染付鶴唐草文徳利	19C後半／ 江戸時代後期	高14.0×口部3.9・3.7× 胴径6.1×底径5.2／ 高14.6×口部4.0・3.9× 胴径6.7×底径5.6	磁土		寄付

分類番号	作者・窯名	国名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	作品写真	収蔵方法
SO-298	湖南焼・永樂保全	日本	染付龍鳳鳳文馬上杯	19C後半／江戸時代後期	高9.6×口径6.2×頸径1.3×底径4.3	磁器土		寄付
SO-299	梅林焼	日本	三彩水指	18C後半-19C前半／江戸時代後期	高20.5×口径12.8×胴部16.2・15.8×底径11.6	陶土		寄付
SO-300	伝・梅林焼	日本	三彩貝尽水滴	18C後半-19C前半／江戸時代後期	高3.3×幅9.0×奥行7.4	陶土		寄付

クラフトと陶磁デザイン

分類番号	作者・窯名	国名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質	作品写真	収蔵方法
C-130-R01	萬古焼、備前焼 (近現代作家) など	日本	二口尚弘茶器 コレクション (茶器一括資料83点)	20C後半-21C前半／昭和時代後期-平成時代				寄付

収蔵品貸出実績

作者・窯名	作品名	分類番号	申請者	出版物・番組名	発行日・放送日
三輪龍氣生 (十二代三輪休雪)	LOVE		山口県立萩美術館・浦上記念館	三輪龍氣生展—行け、熱き陶の思いよ、黄金の翼に乗って。	令和2年9月12日～ 令和2年12月20日
	小鳥の死んだ朝				
	花 - II				
辻 晉堂	寒山		(株)イムラアート ギャラリー	生誕110周年記念展 「現代彫刻の異才 辻 晉堂」	愛知県陶芸美術館 令和2年4月11日～5月31日 米子市美術館 令和2年7月18日～ 令和2年8月23日 美術館「えき」 令和2年10月30日～ 令和2年11月23日 菊池寛実記念 智美術館 令和2年12月19日～ 令和3年3月21日
	タオスにて				
	潰鐘形象				
古信楽	大壺	SO-003	六古窯日本遺産活用協議会	六古窯日本遺産 「旅する、千年、六古窯」	令和元年8月3日～ 令和元年9月23日
古信楽	大壺	SO-035	公財) 瀬戸市文化 振興財団	瀬戸市制施行90周年記念 特別展 「日本六古窯を巡る」	令和元年8月3日～ 令和元年9月29日
	檜垣文壺	SO-040			
	鬼桶水指	SO-001			
	胴四方掛花入	SO-039			
	腰白茶壺	SO-258			
	掛流茶壺	SO-242			

作者・窯名	作品名	分類番号	申請者	出版物・番組名	発行日・放送日
北大路魯山人	色絵葡萄 文扇面形鉢		碧南市藤井達吉 現代美術館 千葉市美術館 中日新聞社文化 事業部	没後60年 北大路魯山人 古典復興 ー現代陶芸をひらくー	碧南市藤井達吉現代美術館 令和元年4月27日～ 令和元年6月9日 千葉市美術館 令和元年7月2日～ 令和元年8月25日 滋賀県立陶芸の森 令和元年9月14日～ 令和元年12月1日

特別観覧実績

	作者・窯名	作品名	分類番号	申請者	出版物・番組名	発行日・放送日
1	グレイソン・ベリー	“PR”	W-114	光村推古書院 株式会社	「世界を魅了する 日本の現代陶芸」内の図版	
	ピーター・ヴォーコス	“スタック”	FW-029			
2	古信楽	鬼桶水指 紅かのこ	SO-1	株式会社 ブラメイク	月刊「茶の間」11月号	令和元年11月1日
	古信楽	大壺	SO-81			
	信楽	古紙白茶壺	SO-187			
	信楽	青簾焼酎瓶	SO-263			
3	荒木高子	銀の聖書	J-077	阿部出版社 株式会社	炎芸術140号 特集「女性陶芸家」	令和元年11月1日
	坪井明日香	古代裂シリーズ 過去の記憶	J-071			
	三島喜美代	Copy78-80	J-117			
	神山清子	信楽大筒				
	松田百合子	ヒップパレード	J-061			
	久谷蔦枝	Empty Wrapping R	SC-049			
	梶な、子	シリーズ 地にふれる, 2006-7島の方角	FSC-056			
4	永楽保全 (湖南窯)	湖南焼 染付八仙人図鉢	SO-062	中西 信夫	調査及び研究	令和2年1月
5	上田直方 (四代)	信楽花入	SC-3	新光社出版社 啓林館	高等学校教科書「地学基礎」	令和2年4月
6	古信楽	鬼桶水指 紅かのこ	SO-1	甲賀市信楽 伝統産業会館	常設展示の映像資料	令和2年4月
	古信楽	信楽檜垣文壺	SO-37			
	古信楽	胴四方花入	SO-39			
	古信楽	大壺	SO-130			
	古信楽	蹲	SO-232			
7	古信楽	鬼桶水指	SO-1	日本放送協会	NHKテレビ番組 「プラタモリ 甲賀・信楽」	令和2年3月7日
	古信楽	大壺	SO-35			
	古信楽	大壺	SO-81			
	古信楽	信楽檜垣文壺	SO-37			
	古信楽	蹲	SO-232			
	古信楽	腰白茶壺	SO-212			

	作者・窯名	作品名	分類番号	申請者	出版物・番組名	発行日・放送日
8	上田直方 (四代)	信楽花入	SC-3	(株)淡交社	月刊「なごみ」 2020年3月号特集 「信楽焼」	令和2年3月
	上田直方 (四代)	信楽水指	SC-2			
	古信楽	蹲	SO-232			
	古信楽	鬼桶水指 紅かのこ	SO-1			
	谷井直方	刻歌茶入	SC-53			
9	古信楽	鬼桶水指	SO-1	株式会社 テレビマン ユニオン	NHKBSプレミアム 「美の壺」	令和2年1月10日
	古信楽	大壺	SO-35			
	古信楽	大壺	SO-81			
	古信楽	蹲	SO-232			
	古信楽	胴四方花入	SO-39			

施設利用実績

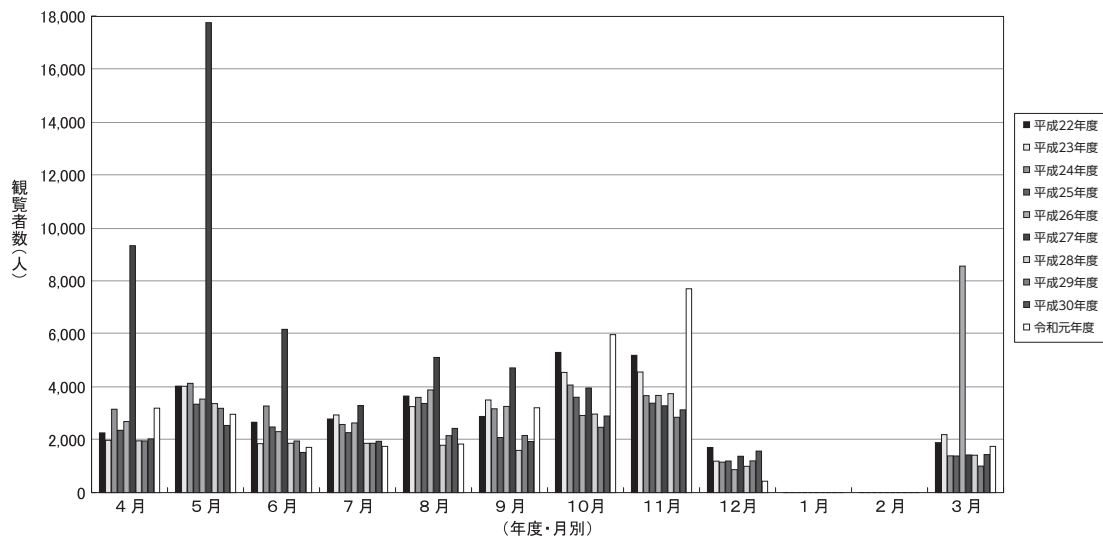
陶芸の森 年度別・月別入園者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヶ月平均
15～20年度	196,884	236,922	136,173	139,452	149,846	176,037	309,931	196,594	81,139	65,994	103,246	127,437	1,919,655	26,662
21年度	28,480	39,343	21,375	19,151	22,383	38,496	58,022	35,718	17,274	12,516	13,394	18,408	324,560	27,047
22年度	27,692	42,540	21,000	19,392	21,892	29,202	69,336	35,469	14,294	9,156	13,432	15,889	319,294	26,608
23年度	23,404	38,330	19,042	19,207	19,945	26,336	55,483	39,456	17,875	11,737	13,386	19,112	303,313	25,276
24年度	24,902	39,253	19,453	18,772	23,856	22,288	53,241	39,380	17,772	13,793	16,279	24,130	313,119	26,093
25年度	31,090	51,404	26,371	21,131	25,777	28,047	55,580	36,874	17,039	12,052	13,247	19,779	338,391	28,199
26年度	27,903	52,863	21,987	21,522	23,390	28,955	48,100	40,276	12,544	11,406	15,256	32,188	336,390	28,033
27年度	39,836	73,243	29,028	25,346	27,845	37,850	58,307	35,315	17,601	13,201	17,855	24,811	400,238	33,353
28年度	28,390	58,906	22,453	24,009	33,151	32,853	63,790	42,067	20,890	13,885	18,182	28,485	387,061	32,255
29年度	32,741	56,846	26,342	24,921	29,880	27,222	46,184	35,737	18,851	13,312	16,511	25,234	353,781	29,482
30年度	31,960	54,517	24,324	20,129	27,459	23,614	49,910	36,170	19,258	14,468	17,476	26,879	346,164	28,847
元年度	33,588	67,724	23,730	22,173	24,597	47,034	48,296	69,062	26,434	28,992	36,528	20,399	448,557	37,380
合 計	526,870	811,891	391,278	375,205	430,021	517,934	916,180	642,118	280,971	220,512	294,792	382,751	5,790,523	482,544

※合計は入園者の計測開始年度（平成15年度）以降の計

陶芸館 年度別・月別観覧者数

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
3～	入場者数	70,689	106,987	75,799	80,713	108,803	89,687	105,981	113,232	33,484	22,253	29,200	52,632	889,460	179
21年度	開催日数	458	458	435	454	496	431	488	464	322	274	286	395	4,961	
22年度	入場者数	2,258	4,025	2,660	2,782	3,650	2,879	5,299	5,189	1,704	0	0	1,889	32,335	133
22年度	開催日数	26	27	19	27	26	20	31	29	11	0	0	27	243	
23年度	入場者数	1,978	4,020	1,850	2,936	3,251	3,501	4,544	4,558	1,189	0	0	2,192	30,019	128
23年度	開催日数	22	27	18	27	26	26	26	26	10	0	0	26	234	
24年度	入場者数	3,152	4,131	3,274	2,576	3,600	3,170	4,067	3,666	1,152	0	0	1,390	30,178	128
24年度	開催日数	26	27	26	22	26	22	26	26	14	0	0	20	235	
25年度	入場者数	2,356	3,343	2,481	2,268	3,371	2,083	3,605	3,380	1,194	0	0	1,385	25,466	109
25年度	開催日数	26	27	20	26	28	19	28	26	13	0	0	20	233	
26年度	入場者数	2,687	3,535	2,305	2,634	3,882	3,258	2,917	3,674	868	0	0	8,562	34,322	146
26年度	開催日数	26	28	20	27	27	24	23	26	13	0	0	21	235	
27年度	入場者数	9,336	17,767	6,172	3,292	5,110	4,715	3,955	3,284	1,375	0	0	1,425	56,431	251
27年度	開催日数	26	27	20	27	26	21	24	25	12	0	0	17	225	
28年度	入場者数	1,958	3,365	1,865	1,864	1,790	1,596	2,969	3,741	994	0	0	1,414	21,556	94
28年度	開催日数	26	26	21	27	26	20	29	26	10	0	0	18	229	
29年度	入場者数	1,954	3,187	1,951	1,866	2,154	2,161	2,470	2,848	1,199	0	0	1,003	20,793	90
29年度	開催日数	26	26	20	26	27	21	26	26	15	0	0	19	232	
30年度	入場者数	2,032	2,539	1,519	1,940	2,428	1,930	2,889	3,130	1,569	0	0	1,437	21,413	93
30年度	開催日数	26	26	21	26	27	21	22	26	17	0	0	18	230	
元年度	入場者数	3,192	2,961	1,710	1,748	1,836	3,208	5,972	7,706	431	0	0	1,747	30,511	150
元年度	開催日数	26	27	20	26	26	19	26	26	1	0	0	6	203	
合 計	入場者数	101,592	155,860	101,586	104,619	139,875	118,188	144,668	154,408	45,159	22,253	29,200	75,076	1,192,484	164
合 計	開催日数	714	726	640	715	761	644	749	726	438	274	286	587	7,260	



陶芸館展覧会別観覧者数

収蔵品展・特別企画展

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
3 年度	世界の現代陶芸展	H3.7.20～12.15	128	41,006	320
	世界の現代陶芸展Ⅱ				
	世界の現代陶芸展Ⅲ	H4.2.12～3.19	32	6,179	193
4 年度	世界の現代陶芸展	H4.5.12～9.30	121	35,717	295
	朝日陶芸展' 92	H4.9.18～9.30	11	4,141	376
	世界の現代陶芸展 (森で生まれた作品展)	H4.12.1～H5.3.19 (H5.3.2～3.14)	78	9,785	125
	世界の現代陶芸展	H5.6.1～9.3	82	20,043	244
5 年度	世界の現代陶芸展 (森で生まれた作品展)	H5.11.3～H6.2.27 (H6.3.1～3.13)	104	17,072	164
	世界の現代陶芸展	H6.6.12～9.15	83	18,667	225
6 年度	世界の現代陶芸展	H6.12.3～H7.3.10 (H7.2.25～3.10)	75	7,141	95
	特別企画展 (森で生まれた作品展)				
7 年度	世界の現代陶芸展	H7.6.3～7.13	35	7,353	210
	パプアニューギニアの土器展	H7.7.18～10.15	78	23,407	300
	世界の現代陶芸展 (森で生まれた作品展)	H7.11.25～H8.3.17 (H8.3.5～3.17)	90	11,377	126
	陶芸の森新館蔵品展	H8.5.25～7.7	38	9,803	258
8 年度	陶芸の森館蔵品展	H8.7.11～9.23	65	21,652	333
	陶芸の森 館蔵品展 (森で生まれた作品展)	H8.11.30～H9.3.7 (H9.2.5～3.7)	74	6,955	94
	新・収蔵品展	H9.5.31～7.9	34	6,332	186
9 年度	変貌する陶芸展	H9.7.13～9.14	55	14,185	258
	陶の表現展 (森で生まれた作品展)	H9.11.1～H10.3.15 (H10.2.4～3.15)	108	16,585	154
	新・収蔵品展	H10.6.6～7.4	25	3,766	151
10年度	滋賀やきもの探訪・やきもの動物の森展	H10.9.12～12.23	88	17,597	200
	陶芸の美展 (森で生まれた作品展)	H11.1.5～H12.3.14 (H11.2.3～3.14)	59	5,817	99
	美の所産展	H11.5.29～7.4	32	5,612	175
11年度	陶芸…使うこと・味わうこと展	H11.7.10～9.26	68	13,483	198
	アーティスト・イン・レジデンス90年代の歩み展	H11.12.5～H12.3.11	77	5,835	76
	滋賀やきもの探訪「信楽焼－伝統の技」	H12.5.20～7.9	44	7,356	167
12年度	滋賀やきもの探訪「陶芸の森コレクションから」	H12.7.15～9.17	56	10,257	183
	「陶芸－最前線」	H12.12.23～H13.3.11	61	3,868	63
	陶芸の森10年の歩みⅠ－世界の現代陶芸	H13.7.14～9.24	63	10,074	160
13年度	女性たちの陶芸展-女流陶芸と欧米作家たちとの競演	H13.12.1～H14.1.27	43	4,361	101
	陶芸の森10年の歩みⅡ－滋賀ゆかりのやきもの・日本の現代陶芸	H14.2.2～3.31	44	4,542	103
	特別企画展「ルーシー・リー展 ～静寂の美～」	H14.4.6～6.30	74	12,189	165
14年度	収蔵品によるテーマ展「古くて、新しい表現…陶の可能性」	H14.12.3～H15.3.30	96	6,123	64
	企画展「まぼろしのやきもの－滋賀の郷窯」	H15.4.4～8.22	121	20,270	168
15年度	特別企画展「神々の形象 パプアニューギニアの土器」	H16.3.20～3.31	10	1,122	112
	特別企画展「神々の形象 パプアニューギニアの土器」	H16.4.1～7.30	104	13,161	127
16年度	特別企画展「信楽のやきものとともに－寒六窯と遊陶人」	H16.11.23～12.15	20	3,106	155
	特別企画「日本の現代陶芸・海外の現代陶芸－迫力の時代」	H17.6.19～9.25	85	10,038	118
17年度	特別企画「信楽を訪れた594人の陶芸家たち－アーティスト・イン・レジデンスの軌跡」	H18.7.4～9.24	72	7,924	110
18年度	特別企画「魅せられる…今、注目される日本の陶芸」	H19.6.10～9.24	92	10,771	117
19年度	特別企画「やきもの動物パラダイス」 & 「滋賀のやきもの」展	H20.9.21～3.31	95	15,935	168
20年度	特別企画「やきもの動物パラダイス」 & 「滋賀のやきもの」展	H21.4.1～4.12	11	1,561	142
	特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち” Part 1 使ってみたい 愉しみの“うつわ”／心を潤す 癒しの“かたち”	H21.4.19～6.28	62	8,694	140
	特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち” Part 2 華やぎと味わいの“うつわ”／驚きと発見！ユーモラスな“かたち”	H21.7.5～9.12	60	7,812	130

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
22年度	特別企画展「わくわくミュージアム-ちょっと不思議で楽しい“やきもの”」	H22.6.26～9.10	66	8,053	122
	特別企画展「近江に花開いたやきもの－街道とともに…」	H23.3.1～3.31	27	1,889	70
23年度	特別企画展「近江に花開いたやきもの－街道とともに…」	H23.4.1～4.17	15	1,307	87
	特別企画展「陶芸を楽しむ“グ・ル・メ”な、やきものたち」	H23.6.30～12.11	142	20,019	141
25年度	特別企画展「あれもやきもの これもやきもの ー陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス20年のあゆみー」	H25.6.18～9.23	85	8,947	105
	特別企画展「現代イギリスの陶芸～バーナード・リーチから若手作家まで」 /特別企画展「信楽焼の美ー炎がつくり出す野趣溢れる肌合い」	H25.3.8～3.30	20	1,385	69
26年度	特別企画展「現代イギリスの陶芸～バーナード・リーチから若手作家まで」 /特別企画展「信楽焼の美ー炎がつくり出す野趣溢れる肌合い」	H26.4.1～6.22	73	8,323	114
	特別企画展「集まれ!奇想天外な“やきもの”たち」		78	9,978	128
27年度	特別企画「土・祈り・イマジネーション…岡本太郎の言葉とともに」展	H27.6.14～9.23	88	14,974	170
28年度	特別企画展「インサイド×アウトサイドー陶芸の森アート・クルーズ」	H28.6.19～9.23	83	6,314	76
	特別企画「“うつわ”ドラマチック」展	H29.3.11～3.31	18	1,414	79
29年度	特別企画「“うつわ”ドラマチック」展	H28.4.1～6.11	62	6,217	100
	特別企画「十人陶色ー豊かな色の世界」展	H29.6.20～9.24	84	7,056	84
	特別企画「ジャズスピリットを感じて…熊倉順吉の陶芸×21世紀の陶芸家たち」展	H30.3.10～3.31	19	1,003	53
30年度	特別企画「ジャズスピリットを感じて…熊倉順吉の陶芸×21世紀の陶芸家たち」展	H30.4.1～6.17	67	5,773	86
	特別企画「世界の形象土器」展	H30.6.24～9.24	77	6,615	86
	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～3.31	18	1,437	80
元年度	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～R元.6.9	78	8,645	110
	特別企画「交流と実験ー新時代の〈やきもの〉をめざして」展	R元.6.18～9.6	69	4,552	66
合 計			4,005	611,138	153

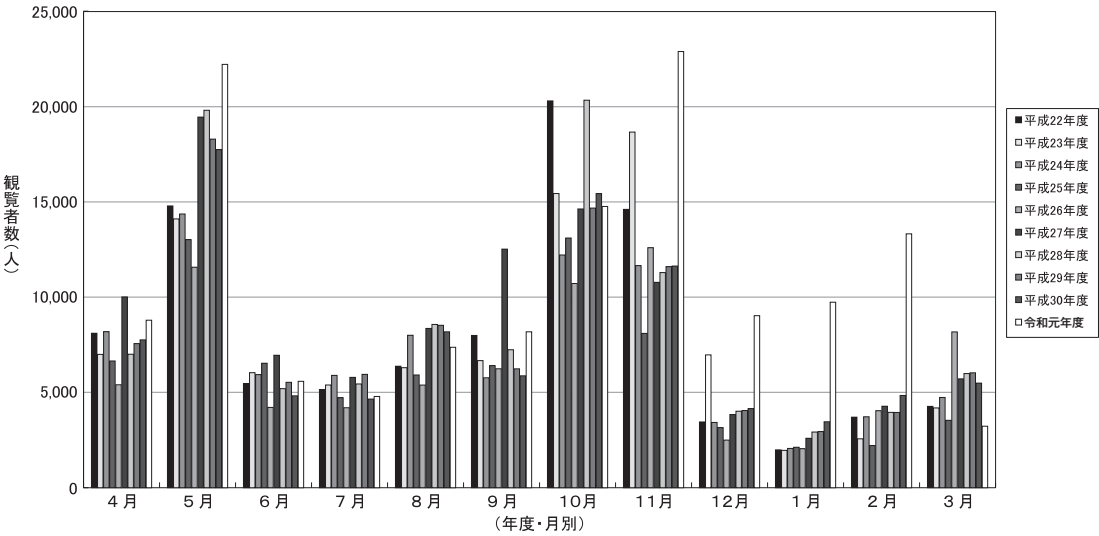
特別展・公募展

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
3 年度	おしゃべりなティポット展	H4.1.5～2.11	32	4,265	133
	近江のやきもの展	H4.3.20～3.31	10	2,786	279
4 年度	近江のやきもの展	H4.4.1～5.10	35	10,943	313
	現代イタリア陶芸展	H4.10.10～11.23	39	8,389	215
5 年度	熊倉順吉とその仲間たち	H5.3.20～3.31	10	1,355	136
	熊倉順吉とその仲間たち	H5.4.1～5.30	52	9,058	174
	八木一夫が出会った子供たち	H5.9.4～10.31	50	7,840	157
6 年度	エイドリアン・サックス展	H6.3.20～3.31	10	1,180	118
	エイドリアン・サックス展	H6.4.1～6.5	57	6,724	118
	近江のやきもの展	H6.9.20～11.27	60	12,094	202
7 年度	現代イギリス陶芸展	H7.3.19～3.31	11	1,300	118
	現代イギリス陶芸展	H7.4.1～5.28	50	7,494	150
	トブカブ宮殿の名品展	H7.10.21～11.19	26	10,650	410
8 年度	凜ー現代の陶芸美	H8.3.23～3.31	8	1,774	222
	凜ー現代の陶芸美	H8.4.1～5.19	42	12,445	296
	明治のやきもの	H8.9.29～11.24	49	14,794	302
9 年度	画家たちのやきもの	H9.3.15～3.31	14	2,580	184
	画家たちのやきもの	H9.4.1～5.25	48	11,053	230
	バーナード・リーチ展	H9.9.20～10.26	32	11,125	348
10年度	つくり手たちの原像展	H10.3.21～3.31	9	1,918	213
	つくり手たちの原像展	H10.4.1～5.31	53	10,782	203
	セーブル名品展	H10.7.11～9.6	50	11,407	228
11年度	なんてき・れ・いなんて不思議展	H11.3.20～3.31	10	1,892	189
	なんてき・れ・いなんて不思議展	H11.4.1～5.23	46	12,417	270
	やきものの20世紀	H11.10.2～11.28	50	14,147	283
12年度	アール・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.3.19～3.31	11	1,866	170
	アール・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.4.1～5.14	38	8,514	224
	「熊倉順吉ジャズの響きをやきものにした作家」	H12.9.23～12.17	74	9,155	124
	「イタリア陶磁器の伝統と革新ージノリ展」	H13.3.18～3.31	12	1,418	118

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
13年度	「イタリア陶磁器の伝統と革新－ジノリ展」	H13.4.1～5.20	43	10,730	250
	「ドイツ陶芸の100年－アール・ヌーヴォーから現代作家まで」	H13.5.27～7.8	37	6,234	168
	「大信楽展～焼締めの美への憧れとその軌跡～」	H13.10.2～11.25	48	11,195	233
14年度	特別展「スイスの陶芸－ルネッサンスから現代まで－」	H14.7.9～9.8	54	8,005	148
	特別展「暮らしに美を求めて－陶磁器試験場の技術とデザイン」	H14.9.15～11.24	61	8,552	140
15年度	特別展「桃山陶に魅せられた七人の陶芸家－陶片に学んだ技と美」	H15.8.30～10.13	39	7,698	197
	特別展「ロシア・アヴァンギャルドの陶芸－モダンデザインの実験」	H15.10.21～11.30	37	6,514	176
16年度	特別展「デンマーク王室の陶磁コレクション－ロイヤル・コペンハーゲン」	H16.8.8～11.14	85	15,261	180
	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン－フィンランドのアラビア窯」	H17.3.19～3.31	11	1,706	155
17年度	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン－フィンランドのアラビア窯」	H17.4.1～6.12	63	13,586	216
	特別展「湖国を彩るやきもの－滋賀の陶芸家たち」	H17.10.2～12.18	67	10,330	154
	特別展「人のかたち－もうひとつの陶芸美」	H18.3.18～3.31	12	1,104	92
18年度	特別展「人のかたち－もうひとつの陶芸美」	H18.4.1～6.25	75	8,431	112
	特別展「近江やきものがたり」	H18.10.1～12.17	67	9,737	145
	特別展「ようこそ！たぬき御殿へ－おもしろき日本の狸表現」	H19.3.17～3.31	12	2,482	207
19年度	特別展「ようこそ！たぬき御殿へ－おもしろき日本の狸表現」	H19.4.1～6.3	56	13,301	238
	特別展「ジャポニズムのテーブルウェア－西洋の食卓を彩った“日本”－」	H19.10.2～12.24	73	9,025	124
	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20.3.15～3.30	14	1,960	140
20年度	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20.4.1～6.29	80	12,935	162
	特別展「世界に誇る和製テーブルウェア－オールド・パタケと懐かしの洋食器」	H20.7.6～9.15	62	10,141	164
21年度	特別展「没後50年 北大路魯山人」	H21.9.19～12.13	75	23,496	313
	特別展「ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新－」	H21.3.13～3.31	16	1,340	84
22年度	特別展「ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新－」	H22.4.1～6.17	68	8,389	123
	特別展「しがらきやき－直方の茶陶 春斎の壺－」	H22.9.18～12.12	82	14,004	171
23年度	特別展「ウィリアム・ド・モーガン－楽しい生活を彩るタイルと陶器」	H23.4.23～6.19	50	6,501	130
	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.3.3～3.31	25	2,192	88
24年度	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.4.1～7.6	84	11,222	133
	特別展「明治・大正時代の日本陶磁－産業と工芸美術－」	H24.7.14～8.26	43	5,511	128
	特別展「しがらきやきⅡ－大西忠左と勅旨の名工たち－」	H24.9.6～12.16	88	12,055	137
	特別展「フランス印象派の陶磁器1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.3.9～3.31	20	1,390	69
25年度	特別展「フランス印象派の陶磁器1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.4.1～6.9	61	6,955	114
	特別展「酒器の玉手箱」	H25.10.2～12.15	66	8,179	124
26年度	特別展「やきものって何ダ？－陶芸美術館8館の名品に学ぶ」	H26.10.5～12.14	61	7,459	122
	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.3.7～3.31	21	8,562	408
27年度	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.4.1～6.22	59	31,418	533
	特別展「信楽への眼差し」	H27.10.4～12.13	61	8,614	141
	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今－伝統と革新」	H28.3.12～3.31	17	1,425	84
28年度	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今－伝統と革新」	H28.4.1～6.12	63	6,124	97
	特別展「珠玉の湖東焼」	H28.10.1～12.11	65	7,704	119
29年度	特別展「粋な古伊万里－江戸好みの器デザイン」	H29.10.1～12.17	67	6,517	97
30年度	特別展「信楽に魅せられた美の巨匠たち」	H30.10.6～12.20	65	7,588	117
元年度	特別展「北大路魯山人 古典復興－現代陶芸をひらく」	R元.9.14～12.1	67	17,004	254
	特別展「リサ・ラーソン－創作と出会いをめぐる旅」	R2.3.25～3.31	6	1,747	291
合 計			3,214	585,688	182

信楽産業展示館 年度別・月別観覧者数

年 度	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
3～21年度	入場者数	146,827	232,449	117,274	160,756	178,226	126,559	210,159	208,861	60,045	49,150	73,642	120,340	1,684,288	305
	開催日数	458	479	462	413	505	455	456	464	439	440	459	496	5,526	
22年度	入場者数	8,110	14,794	5,468	5,153	6,379	7,995	20,309	14,614	3,453	1,988	3,704	4,271	96,238	306
	開催日数	26	27	26	27	26	26	31	29	23	23	24	27	315	
23年度	入場者数	7,001	14,114	6,040	5,394	6,302	6,674	15,446	18,673	6,974	1,962	2,569	4,190	95,339	309
	開催日数	26	27	26	27	26	26	26	26	23	23	25	28	309	
24年度	入場者数	8,193	14,371	5,938	5,899	8,004	5,774	12,219	11,661	3,428	2,063	3,726	4,739	86,015	276
	開催日数	26	27	26	28	30	26	26	26	23	23	24	27	312	
25年度	入場者数	6,655	13,025	6,536	4,727	5,920	6,409	13,111	8,103	3,154	2,125	2,216	3,540	75,521	245
	開催日数	26	27	26	26	28	24	29	26	23	23	24	26	308	
26年度	入場者数	5,406	11,578	4,217	4,200	5,390	6,245	10,722	12,601	2,501	2,049	4,043	8,181	77,133	251
	開催日数	26	28	25	27	27	25	27	26	23	23	24	26	307	
27年度	入場者数	10,018	19,459	6,955	5,794	8,364	12,527	14,636	10,784	3,839	2,596	4,279	5,717	104,968	341
	開催日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308	
28年度	入場者数	7,009	19,817	5,201	5,448	8,573	7,245	20,346	11,295	4,017	2,924	3,956	5,994	101,825	330
	開催日数	26	26	26	27	26	26	29	26	23	23	24	27	309	
29年度	入場者数	7,566	18,303	5,534	5,952	8,528	6,243	14,683	11,606	4,054	2,948	3,953	6,034	95,404	312
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
30年度	入場者数	7,763	17,752	4,825	4,655	8,186	5,876	15,441	11,639	4,152	3,463	4,844	5,492	94,088	307
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
元年度	入場者数	8,795	22,227	5,586	4,792	7,374	8,186	14,767	22,901	9,033	9,740	13,330	3,230	129,961	454
	開催日数	26	27	26	26	27	25	27	26	23	23	24	6	286	
合 計	入場者数	223,343	397,889	173,574	212,770	251,246	199,733	361,839	342,738	104,650	81,008	120,262	171,728	2,640,780	307
	開催日数	718	747	720	680	775	711	730	726	670	671	700	744	8,592	



信楽ホール・会議室利用件数

(単位：回)

催 事 内 容	3～23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	計
式 典・ 総 会 等	174	4	2	3	4	3	7	3	4	204
芸能・ 音楽発表会等	486	9	15	10	14	13	10	5	9	571
講演会・シンポジウム等	87	1	2	3	3	2	9	3	4	114
研 修・ 映 画 会 等	136	4	5	7	4	1	2	2	4	165
計	883	18	24	23	25	19	28	13	21	1054

沿 革 と 記 録

- 昭和60年（1985年） 4 月
- 陶芸の森設置の検討（商工労働部商工課経済対策係）
- 昭和61年（1986年） 3 月
- 滋賀県立陶芸の森整備基金条例の公布（基金10億円）
- 平成元年（1989年） 3 月
- 建築工事着手
- 7 月
- 公園工事着手
- 平成2年（1990年） 4 月
- 財団法人 滋賀県陶芸の森設立
- 6 月
- 竣工・プレ世界陶芸祭開催（6月2日～6日）
- 平成3年（1991年） 4 月
- 世界陶芸祭開催（4月20日開幕）
- 5 月
- 世界陶芸祭中止（5月15日閉場）
- 7 月
- 平常業務再開（7月20日）
- 平成4年（1992年） 7 月
- 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業開始
- 平成7年（1995年） 10月
- 開設5周年記念シンポジウム「今日のうつわを考える－用と美の対立を超えて」開催
- 平成11年（1999年）
- オランダのフェンロ市立美術館で初めて海外での陶芸の森のコレクション「日本の現代陶芸－前衛の動向－」展を開催
- 平成13年（2001年） 10月
- 開設10周年記念イベント鼎談「土と炎と創作と－21世紀の陶芸を見すえて－」開催（10月7日）
 - 10周年記念展として陶芸館で特別展「第信楽焼展－焼締めの美への憧れとその軌跡」を開催
- 平成14年（2002年） 1 月
- 陶芸館入館者数60万人記録
 - 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受け入れ者の延べ人数が500人を超える
 - 信楽産業展示館入館者数100万人記録

平成16年（2004年） 10月

- 所在地の信楽町を含む近隣5町が合併し、甲賀市となる
- 文部科学省「子どもの居場所づくり」キャンペーン事業「本物と出合うー森・もり！やきもの大作戦」開始

平成17年（2005年） 3月

- 中世穴窯／金山遺跡の再現事業で「金山再現窯」完成

平成18年（2006年） 4月

- 指定管理者制度に基づき財団法人滋賀県陶芸の森が滋賀県立陶芸の森の指定管理者となる

6月

- 創立15周年記念特別企画展「信楽を訪れた594人の陶芸家たち展」を開催

平成19年（2007年）

- 陶芸の森企画巡回展「魅せられる…今、注目される日本の陶芸」開催、以後国内2会場終了後、フランス、アメリカにて開催。

7月

- 『近江やきものがたり』京都新聞出版センターより出版

11月

- 天皇皇后両陛下を御迎えする

平成22年（2010年）

- 開設20周年記念特別展「しがらきやきー直方の茶陶 春斎の壺ー」を開催
- 開設20周年記念シンポジウム「芸術・産業・観光から 活力あるしがらきの未来を考えるーやきものが信楽を創造するー」を開催
- 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受け入れ者の延べ人数が800人を超える

平成24年（2012年） 4月

- 公益法人制度改革により公益財団法人滋賀県陶芸の森に移行

平成25年（2013年）

- 陶芸館累計入館者数100万人達成

平成27年（2015年） 10月

- 開設25周年事業として、「25周年記念事業ー国際陶芸ワークショップ・シンポジウム アーティスト・イン・レジデンスを視点として「信楽から世界を見る 世界から信楽を見る」を開催。特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン」展等を開催。フレデリック・マイヤーガーデンズ&スカルプチュアパーク（アメリカ、ミシガン州）との共同の公募展「伝統と革新ー日本陶芸の今」をアメリカにて開催。創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受け入れ者の延べ人数が1,000人を超える

平成28年（2016年） 10月

- 国際シンポジウム 関西アーティスト・イン・レジデンスin 信楽「アーティスト・イン・レジデンスの可能性とその評価」を開催
- 文化庁補助事業として、海外のレジデンス機関への陶芸家の派遣をはじめる

平成29年（2017年）

- 陶芸館累計入館者数120万人達成
- つちっこプログラム累計参加者数10万人達成
- 信楽長野地区の商店街の中に陶芸の森地域連携拠点として、「FUJIKI」をオープン

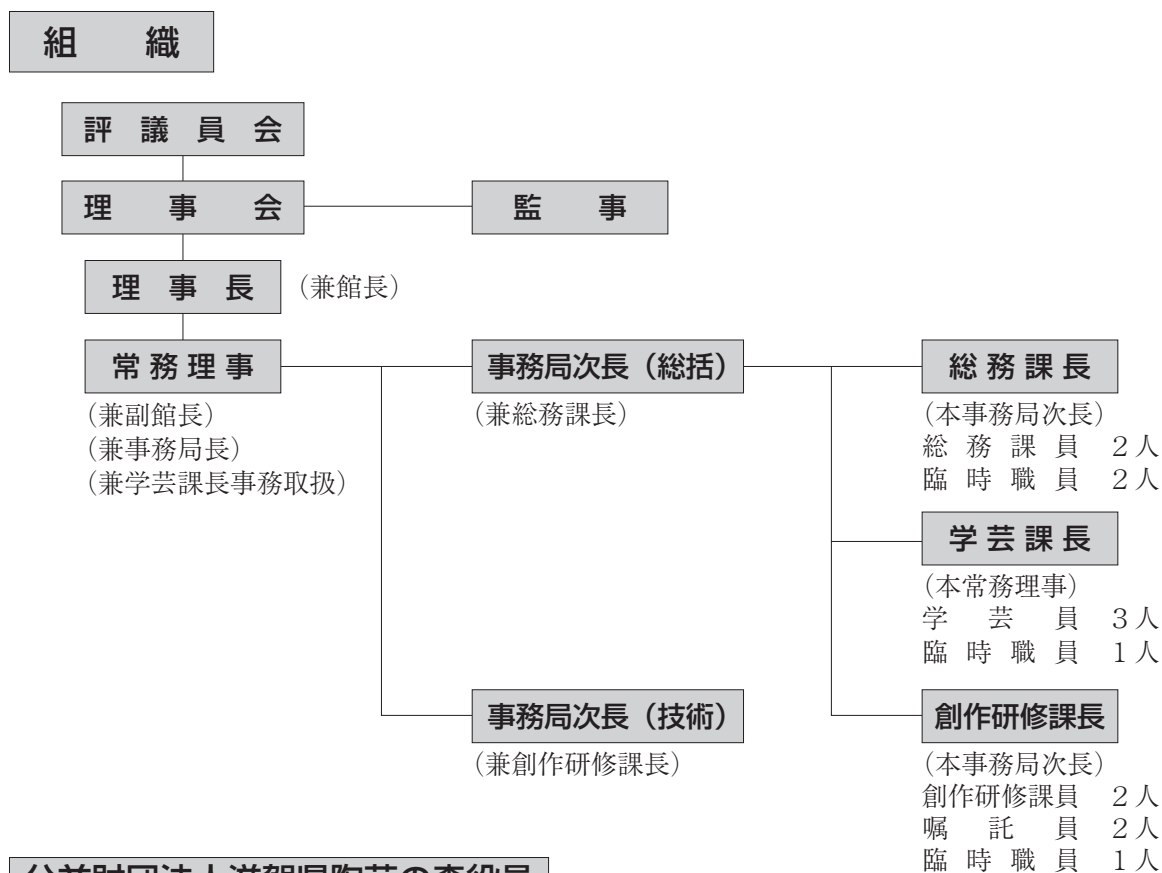
平成30年（2018年）

- 信楽産業展示館累計入館者数240万人達成

令和元年（2019年）

- 陶芸の森への年間入園者数（448,557人）が、入園者の計測を開始した平成15年以降で過去最大となった

組 織・名 簿



公益財団法人滋賀県陶芸の森役員

公益財団法人滋賀県陶芸の森 評議員

役 職	現 職 名	氏 名
評 議 員	滋 賀 県 商 工 観 光 労 働 部 長	森 中 高 史
評 議 員	甲 賀 市 産 業 経 済 部 長	中 島 昭 彦
評 議 員	愛 知 県 陶 磁 美 術 館 副 館 長	神 崎 か ず 子
評 議 員	岐 阜 県 現 代 陶 芸 美 術 館 顧 問	榎 本 徹
評 議 員	日 本 工 芸 会 理 事	神 農 巖
評 議 員	信 楽 陶 器 工 業 協 同 組 合 理 事 長	大 原 耕 造
評 議 員	信 楽 陶 器 卸 商 業 協 同 組 合 理 事 長	今 井 智 之
評 議 員	甲 賀 市 商 工 会 信 楽 支 部 長	森 幹 雄
評 議 員	株 式 会 社 京 都 新 聞 社 滋 賀 本 社 代 表	藤 田 治 久
評 議 員	株 式 会 社 TM オ フ ィ ス 代 表 取 締 役	殿 村 美 樹

(令和2年3月31日現在)

公益財団法人滋賀県陶芸の森 理事・監事

役 職	現 職 名	氏 名
理 事	滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課長	天 川 隆 男
理 事	滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場長	川 澄 一 司
理 事	甲賀市産業経済部商工労政課長	松 下 泰 也
理 事	公益財団法人秀明文化財団専務理事	石 丸 正 運
理 事	滋賀次世代文化芸術センター代表	斎 藤 俊 信
理 事	信 楽 陶 芸 作 家 協 会 会 長	神 崎 継 春
理 事	信 楽 陶 器 工 業 協 同 組 合 理 事	奥 田 隆 次
理 事 長	滋 賀 県 立 陶 芸 の 森 館 長	松 井 利 夫
常 務 理 事	同 副 館 長	森 野 泰 起
監 事	滋 賀 銀 行 信 楽 支 店 長	駒 井 靖 也
監 事	一般社団法人滋賀県中小企業診断士協会監事	大 谷 武 重

(令和2年3月31日現在)

滋賀県立陶芸の森収蔵品収集審査会委員（任期 令和元年10月15日～令和3年10月14日）

榎本 徹	岐阜県現代陶芸美術館 顧問
洲鎌 佐智子	京都府京都文化博物館 学芸課長補佐・主任学芸員
畑中 章良	MIHO MUSEUM 学芸部長
守屋 雅史	神戸松蔭女子学院大学 教授
不動 美里	姫路市立美術館 副館長兼学芸課長
橘 倫子	今日庵茶道資料館 学芸課長

滋賀県立陶芸の森収蔵品価格評価委員（令和2年3月末現在）

大長 智広	京都国立近代美術館 研究員
梶山 博史	中之島香雪美術館 学芸課長
花井 素子	岐阜県現代陶芸美術館 学芸員
横谷 賢一郎	大津市歴史博物館 学芸員
藤田 篤実	現代美術 艸居
片山 雅英	片山道具店

滋賀県立陶芸の森ゲスト・アーティスト選考委員

洲鎌 佐智子	京都府京都文化博物館学芸課長補佐・主任学芸員
外館 和子	多摩美術大学教授・工芸研究者
神崎 継春	信楽陶芸作家協会会長
松井 利夫	館長
杉山 道夫	事務局次長（技術）兼創作研修課長
三浦 弘子	学芸課専門学芸員

滋賀県立陶芸の森スタジオ・アーティスト選考委員

森野 泰起	事務局長兼学芸課長
杉山 道夫	創作研修課長
松波 義実	創作研修課主査
三浦 弘子	学芸課専門学芸員

公益財団法人滋賀県陶芸の森職員	(令和2年3月31日現在)
-----------------	---------------

理 事 長	松井 利夫
-------	-------

(兼館長)	
-------	--

常務理事	森野 泰起
------	-------

(兼副館長兼事務局長兼学芸課長)	
------------------	--

事務局次長（総括）	武村 絹子
-----------	-------

県派遣職員

(兼総務課長)	
---------	--

事務局次長（技術）	杉山 道夫
-----------	-------

(兼創作研修課長)	
-----------	--

【総務課】

課 長	武村 絹子
-----	-------

県派遣職員

(本事務局次長)	
----------	--

副 課 長	樋口 久子
-------	-------

主 事	町田 博美
-----	-------

【創作研修課】

課 長	杉山 道夫
-----	-------

(本事務局次長)	
----------	--

主 査	松波 義実
-----	-------

指 導 員	安藤 祐輝
-------	-------

嘱 託 員	田尾 晃
-------	------

嘱 託 員	後藤 武久
-------	-------

【学芸課】

課 長	森野 泰起
-----	-------

(本副館長兼事務局長)	
-------------	--

専門学芸員	三浦 弘子
-------	-------

専門学芸員	大槻 倫子
-------	-------

専門学芸員	鉤 真一
-------	------

**令和元年度
滋賀県立陶芸の森年報**

The Shigaraki Ceramic Cultural Park
Annual Report 2019

制作／発行 公益財団法人滋賀県陶芸の森

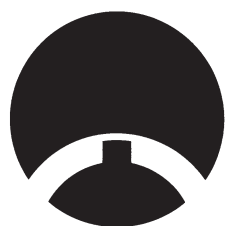
〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7

t e l (0748)83-0909

f a x (0748)83-1193

発 行 日 令和2年10月

アインズ株式会社



陶芸の森
The Shigaraki Ceramic
Cultural Park